

創立 70 周年記念誌



公益財団法人
大田区体育協会



創立70周年記念誌



体育協会のマークの解説

昭和44年4月「大田区体育会」から「大田区体育協会」への名称変更を記念すると同時に、組織の充実、発展のシンボルマークとして、鷲のはばたきにも似た大田区のマークを、古代ギリシャでのアポロの神の霊木としての月桂樹の葉でつつみ、団結、飛躍、名誉、賞賛などの意を表すものとして考案されました。財団法人化以降も継承され、今日公益財団法人大田区体育協会となっても使い続けています。

目 次

創立70周年を祝して

挨拶	理事長	7
祝辞	大田区長	8
祝辞	大田区議会議長	9

体育協会概要

歴代会長・理事長	13
団体の変遷	13
現役員	14
組織図	15

10年間のあゆみ

10年間の主な出来事	19
10年間の事業	20
都民体育大会10年のあゆみ 成績	34

加盟団体のあゆみ（10年間）

アーチェリー協会	41
合気道連盟	42
アマチュアレスリング協会	43
居合斬道連盟	44
インディアカ連盟	45
ウエイトリフティング協会	46
エアロビック連盟	47
空手道連盟	48
弓道連盟	49
クレー射撃連盟	50
ゲートボール協会	51
剣道連盟	52
硬式野球連盟	53
ゴルフ連盟	54
サイクリング連盟	55
サッカー協会	56
柔道会	57
障がい者スポーツ指導者研究会	58
少林寺拳法連盟	59
水泳協会	60
スキー連盟	61
スポーツ少年団本部	62
相撲連盟	63
ソフティテニス連盟	64
ソフトテニス連盟	65
ソフトボール連盟	66

卓球連盟	67
ダンススポーツ連盟	68
釣魚会連盟	69
テニス連盟	70
トライアスロン連合	71
なぎなた連盟	72
軟式野球連盟	73
馬術連盟	74
バスケットボール連盟	75
バトン協会	76
バドミントン協会	77
バレーボール協会	78
ハンドボール協会	79
フォークダンス協会	80
武術太極拳連盟	81
ボウリング連盟	82
ボクシング連盟	83
ミニテニス連盟	84
嶺町体育会	85
民踊連盟	86
ライフル射撃協会	87
ラジオ体操連盟	88
陸上競技協会	89
ワンダーフォーゲル協会	90

表彰

文部科学大臣表彰	93
東京都等表彰	93
大田区体育協会表彰【体育功労者】	94
大田区体育協会表彰【体育優良団体】	97
大田区体育協会表彰【永年勤続功労者】	98
大田区体育協会表彰【スポーツ功労者】	98

体育協会創立70周年記念

式次第	101
表彰者名簿	
体育協会特別功労賞（団体）	102
体育協会特別功労賞（個人）	102
永年勤続特別功労者	102
スポーツ特別功労賞（団体）	102
実行委員会	103

編集後記	103
------	-----

創立70周年を祝して

挨拶

祝辞



挨拶

公益財団法人 大田区体育協会
理事長 野川 春夫

公益財団法人大田区体育協会は創立70周年を迎えました。ひとえに大田区民、各加盟団体、大田区、区議会、区教育委員会、協賛企業、東京都、都教育委員会、都体育協会のご支援の賜物と感謝申し上げます。終戦の翌年、京都を中心とする京阪神地域において国民体育大会が開催され、その2年後の昭和23年3月に大田区体育会が結成されました。昭和44年4月に大田区体育協会に改称され、さらなる充実と発展を目指して昭和59年1月から財団法人、平成25年4月には、公益目的のための事業運営により一層努めるべく「公益財団法人大田区体育協会」として新たなスタートをきりました。

少子高齢化社会が加速する中、スポーツは、少数の選ばれし者(選手)の競技スポーツだけではなく、老若男女を問わず、障害の有無に係わらず、ライフステージに合わせ、生活の質(QOL)の向上と、体力・健康の維持向上を目的とした生涯スポーツへの取組みが、現在益々重要となっています。

本協会は、区民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康増進のために健康体操教室、夏休み・子ども体育塾、親子健康教室事業を実施しています。子どもの運動嫌いやスポーツ嫌いを作らないための年少者スポーツ育成の事業として、子ども野外活動、スポーツバイキング、少年少女卓球大会などの自主事業の充実を図り展開しています。

一方、指定管理者として大森スポーツセンター及び大田スタジアムの管理運営を堅実に担い、多くの参加者で活気あふれる様々な自主事業を実施しています。また、区の受託事業として、区民スポーツ大会、区民スポーツまつり等を区と緊密な連携のもとに開催し、区民がスポーツに親しみ、スポーツを通じた区民交流の場づくりにも努めています。

さて、競技スポーツの成果として特筆されることは、「都民体育大会」10年間の総合成績です。女子の部においては、第62回の準優勝以外は9回すべてで優勝し、男子の部においても、優勝5回、準優勝2回、男女のダブル総合優勝も5回という輝かしい戦績を残しています。この活躍ぶりを大田区民の皆様にも是非とも知っていただきたいものです。この素晴らしい成果は、各加盟団体の役員・選手の皆様の普段からのご精進とトレーニングの賜物といえます。先達の諸先輩の永年に渡るご尽力と多くの関係者のご支援によるものと深謝申し上げます。

70周年の節目の年に(公財)日本体育協会が名称変更するなど、体育協会に求められる社会的・経営的役割などが刻一刻と変化しています。ポスト2020東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れて、地域の課題解決を担う組織としての役割も求められます。本協会の役職員一同は、区民の皆様の健康・スポーツ環境の充実に加え、各加盟団体の益々の活躍と発展を支えていけるよう、全力で努力する所存です。

今後も、関係各位におかれましては、本協会の活動により一層のご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げます。



祝 辞

大田区長 松原忠義

公益財団法人大田区体育協会創立70周年おめでとうございます。

大田区体育協会は、昭和23年3月に大田区体育会が結成されたのが出発となっております。その大田区体育会は、戦後間もない世情混沌とした焦土の中で、スポーツ、レクリエーションの振興と体位の向上並びに文化の発展に寄与することを目的として設立されました。

昭和44年4月に大田区体育協会に名称を改め、昭和59年1月には、関係者のご尽力、多くの方々のご援助とご努力の結晶で財団法人となりました。その当時の加盟団体数は35団体でした。その後、公益法人制度の見直しにより平成25年4月から公益財団法人として、役員の構成や執行体制も大きく変わる中で新たな船出となりました。加盟団体も50団体と発展増加してまいりました。

このように変遷する中、体育協会が長きにわたり区のスポーツ事業の一翼を担い、区民がスポーツと関わる中心的役割を果たしてきましたことに謝意を表すところです。

また、都民体育大会では、平成22年度の第63回から平成29年度の第70回まで女子は総合優勝8連覇中という輝かしい成績を残しており、平成24年度には男女が総合優勝し、平成28・29年度にも男女総合優勝という素晴らしい成績で大田区の名を大いに高めております。

体育協会の発展の歩みは、スポーツ、レクリエーションを愛する心とみんなで楽しむ心を持ち熱情を注いでこられた多くの方々の多大なるご協力の賜物といえます。大田区のスポーツの発展に寄与された先輩諸氏に対して厚く感謝申し上げます。

さて、大田区は、平成24年6月30日の大田区総合体育館のオープンセレモニーにおいて、スポーツ健康都市宣言を行いました。これは、スポーツを通じて豊かで健康的な生活を営み、まちの賑わいと活力を増していくことを願い宣言したものです。

引き続き、区と体育協会がしっかりと手を携え、少子高齢社会の中、誰もがずっと元気で生き生きと暮らせるまちを目指し、ライフステージに応じたスポーツ活動の場の提供やスポーツにチャレンジしやすい環境づくりを行い、「スポーツ健康都市おおた」をつくりたいと考えております。

3年後には、東京で56年ぶりのオリンピック・パラリンピックが開催されます。「国際都市おおた」としてスポーツで世界とつながる絶好の機会に、体育協会と連携・協力をさらに深めて夢と感動を織りなすスポーツの祭典を盛り上げていきたいと考えています。

体育協会が大田のスポーツ振興により一層の力を発揮され、益々発展されますことを祈念して、私からのご挨拶といたします。



祝 辞

大田区議会議長 大森 昭彦

公益財団法人大田区体育協会が、創立70周年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

大田区体育協会は昭和23年に設立されて以来、区民のスポーツ、レクリエーション活動の推進役として、その環境作りに大きく貢献されてきています。こうした活動を支えてこられた協会・連盟の皆様のご努力に対して、あらためて深く敬意を表するものでございます。

健康に対する区民の意識が高まっている現在、体力や健康の保持を目的としたスポーツに対するニーズはますます増加していくものと思われます。こうした中、体育協会はヨガ教室などの健康教室をはじめ、幼児とその保護者を対象とした親子体操教室、区民が様々なスポーツに取り組む契機となるように一日で様々なスポーツを体験できる事業の実施など、工夫を凝らした自主事業を展開していると伺っています。また、大田区が主催する区民スポーツ大会や区民スポーツまつり、各種スポーツの初心者教室など、広く区民のスポーツ活動に関わる事業の実施に携わっており、区のスポーツ施策の推進役としての役割を果たすことが期待されています。

そして今日、健康意識の高まりとともに、区民の方々の関心は競技スポーツだけではなく、生涯スポーツにも向けられています。

大田区体育協会におかれましては、引き続き、区民の皆様のニーズを把握する中で、競技スポーツの発展とともに生涯スポーツの更なる充実を図っていただきますようお願い申し上げます。

大田区議会といたしましても、区民の皆様がスポーツを身近な場所で、気軽にできる地域社会の実現に向けて、今後も努力してまいります。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会まであと3年となり、最高の競技を目の当たりにできる場面がめぐってきます。あらゆるスポーツに親しみ、スポーツが持つ力を感じるよい機会と思っています。

大田区体育協会におかれましては、70年の歩みを礎にして、益々のご発展をされますとともに、会員皆様方のご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

体育協会概要

歴代会長・理事長
団体の変遷
現役員
組織図

歴代会長・理事長

歴代	氏名	期間
初代会長	東 俊郎	昭和23年5月～昭和30年3月
第二代会長	近藤 貫一郎	昭和30年4月～昭和32年12月
第三代会長	代田 朝義	昭和34年4月～昭和49年3月
第四代会長	塚田 章臣	昭和49年4月～昭和51年3月
第五代会長	福井 正吉	昭和51年4月～昭和53年3月
第六代会長	清田 亮造	昭和53年4月～昭和57年3月
第七代会長	古岡 勝	昭和57年4月～平成6年3月
第八代会長	西野 善雄	平成6年4月～平成25年3月
初代理事長	西野 善雄	平成25年4月～平成27年5月
第二代理事長	遠藤 久	平成27年5月～平成29年5月
第三代理事長	野川 春夫	平成29年5月～

団体の変遷

名称	期間
大田区体育会	昭和23年5月～昭和44年3月
大田区体育協会	昭和44年4月～昭和58年12月
財団法人 東京都大田区体育協会	昭和59年1月～平成12年4月
財団法人 大田区体育協会	平成12年4月～平成25年3月
公益財団法人 大田区体育協会	平成25年4月～

公益財団法人への移行について

民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し、様々な問題に対応するため、公益法人制度改革関連三法が平成20年12月に施行され、公益法人についての制度が抜本的に改正されました。これに伴いそれまでの公益法人は平成25年11月末までに公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人、一般財団法人のいずれかに移行申請を行うことができ、この期限までに移行しないと解散したものとみなされることとなりました。

こうした中、当協会は公益目的事業を行うことを主たる目的とする公益財団法人としての認定を受けるため、事業内容・財務内容、組織体制など、さまざまな見直しを行いました。そして東京都知事あてに認定申請を行い、その結果、平成25年3月25日に申請が認可され、これを受けて平成25年4月1日に法人登記を行い、公益財団法人としての第一歩を踏み出しました。

公益財団法人に移行して5年が経過しようとしています。財団時代の経験も活かし、加盟団体との連携をさらに深めて、今まで以上にスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、区民の皆さんの心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与することに努めてまいりますので、今後とも多くの皆様のお力添えを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

名誉会長・名誉顧問

	氏名	備考
名誉会長	松原忠義	大田区長
名誉顧問	西野善雄	(公財)大田区体育協会 元理事長 前大田区長

公益財団法人大田区体育協会役員

1 理事

	氏名	所属
理事長	野川春夫	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科特任教授
専務理事	柏原順史	大田区体育協会事務局長 (大田区観光・国際都市部参事)
理事	池亀富士雄	大田区スポーツ少年団
	石坂欣也	大田区ソフトテニス連盟
	桑田健秀	NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット理事長
	小山英之	大田区ワンダーフォーゲル協会
	鈴木孝司	大田区観光・国際都市部スポーツ推進課長
	千葉謙吾	大田区田園調布地区自治会連合会会長
	波田野治之	大田区軟式野球連盟

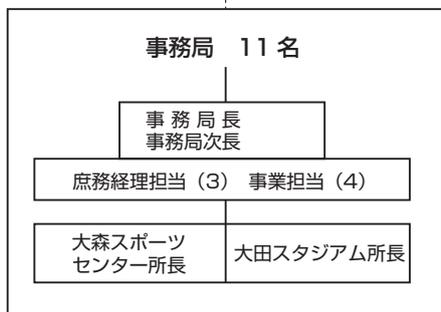
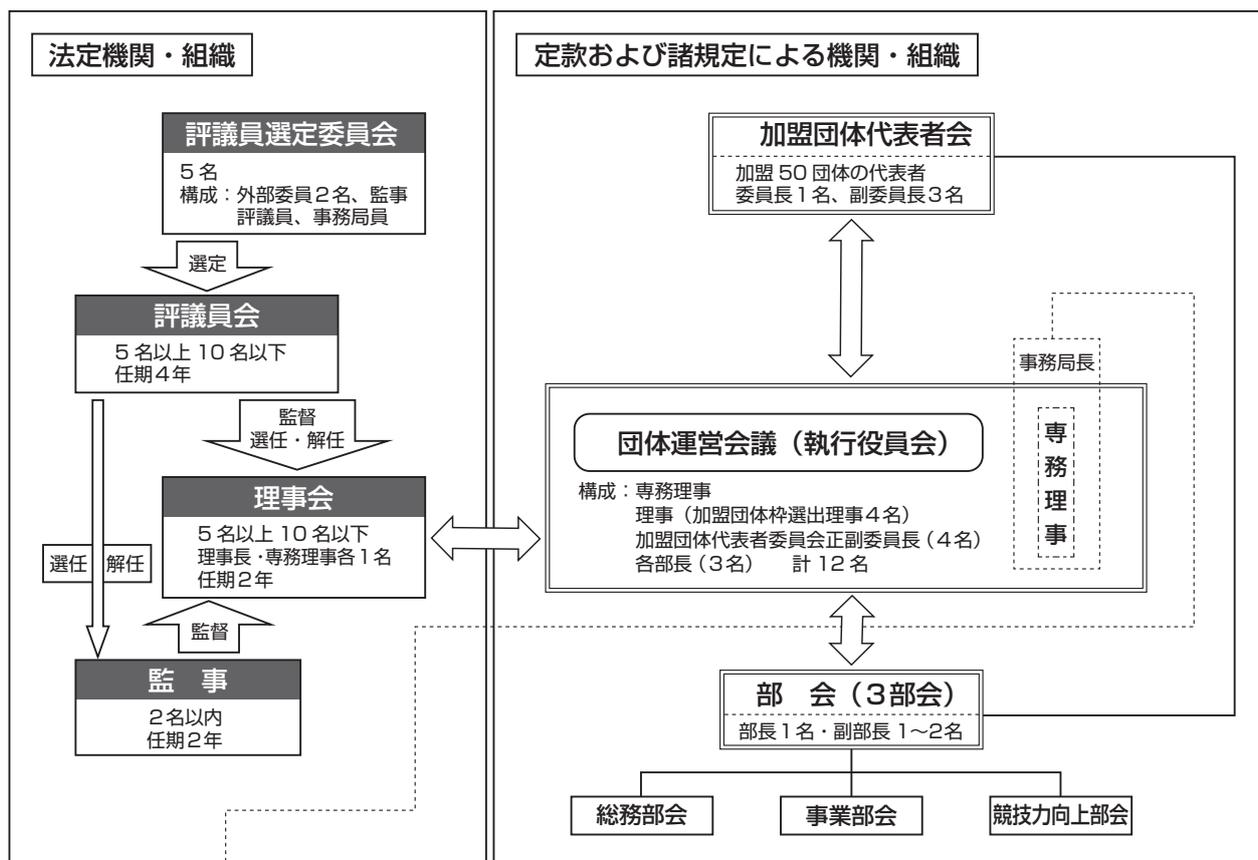
2 監事

	氏名	所属
監事	室中道雄	室中公認会計士事務所 公認会計士
	松原敏彦	大田区スポーツ推進委員協議会会長

公益財団法人大田区体育協会評議員

	氏名	所属
評議員	赤津洋一	全日本空輸株式会社
	殖田友子	桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授
	宇野二郎	大田区卓球連盟
	黒崎あつみ	(一社)田園調布グリーンコミュニティー
	佐藤元子	大田区居合斬道連盟
	鈴木隆之	大田区議会議員
	大後栄治	神奈川大学人間科学部教授
	田中信男	大田区バレーボール協会
	譚 昕	インターナショナル・ママsalon
	横屋正幸	キヤノン株式会社

公益財団法人大田区体育協会組織図



加盟団体(50団体)		
アーチェリー協会	障がい者スポーツ指導者研究会	バスケットボール連盟
合気道連盟	少林寺拳法連盟	バトン協会
アマチュアレスリング協会	水泳協会	バドミントン協会
居合斬道連盟	スキー連盟	バレーボール協会
インディアカ連盟	スポーツ少年団本部	ハンドボール協会
ウエイトリフティング協会	相撲連盟	フォークダンス協会
エアロビック連盟	ソフティテニス連盟	武術太極拳連盟
空手道連盟	ソフトテニス連盟	ボウリング連盟
弓道連盟	ソフトボール連盟	ボクシング連盟
クレー射撃連盟	卓球連盟	ミニテニス連盟
ゲートボール協会	ダンススポーツ連盟	嶺町体育会
剣道連盟	釣魚会連盟	民踊連盟
硬式野球連盟	テニス連盟	ライフル射撃協会
ゴルフ連盟	トライアスロン連合	ラジオ体操連盟
サイクリング連盟	なぎなた連盟	陸上競技協会
サッカー協会	軟式野球連盟	ワンダーフォーゲル協会
柔道会	馬術連盟	

10年間のあゆみ

10年間の主な出来事

10年間の事業

都民体育大会成績

10年間の主な出来事

平成 20年 2008	1月	創立60周年記念式典、祝賀会を開催し併せて記念誌を発行	
	3月	大田区体育館 閉館	
	6月	第61回都民体育大会 7年ぶりの男女総合優勝	
	7月	ラジオ体操80周年記念 NHK夏期巡回「ラジオ・みんなの体操」実施（平和の森公園） 「ラジオ体操の歌」を大森第5小学校の児童が歌い上げた。	
平成 21年 2009	4月	大田区スポーツバトン協会 体育協会に加盟（47番目） *スポーツバトン協会は平成25年4月「バトン協会」に改名	
平成 23年 2011	1月	大田区武術太極拳連盟 体育協会に加盟（48番目）	
平成 24年 2012	5月	第1回大田スポーツサミット開催	
	6月	大田区総合体育館オープン	
		大田区がスポーツ健康都市宣言を行う	
		第65回都民体育大会 4年ぶりの男女総合優勝	
7月	国民体育大会プレ大会を開催		
平成 25年 2013	4月	公益財団法人 大田区体育協会としてスタート 初代理事長に西野善雄氏就任	
	6月	第66回都民体育大会 2年連続男女総合優勝	
	10月	第68回国民体育大会（第13回全国障害者スポーツ大会） スポーツ祭東京2013開催 大田区では正式競技：カヌースプリントが行われました。	
平成 26年 2014	4月	NPO法人大田区障がい者スポーツ指導者研究会 体育協会に加盟（49番目）	
		大田区ソフティテニス連盟 体育協会に加盟（50番目）	
平成 27年 2015	5月	第2代理事長に遠藤 久氏就任	
平成 28年 2016	6月	第69回都民体育大会 3年ぶりの男女総合優勝	
平成 29年 2017	5月	第3代理事長に野川春夫氏就任	
	6月	第70回都民体育大会 2年連続男女総合優勝	
平成 30年 2018	1月	創立70周年記念式典、祝賀会を開催し併せて記念誌を発行	

体育協会事業・都民体育大会の結果は別途記載

10年間の事業

健康体操教室

【はつらつ体操教室】 平成24年7月から

実施時期：通年

対象：高校生以上

内容：運動不足の解消やシェイプアップを目的としたものです。

【さわやかシェイプアップ教室】 平成25年4月から

対象：おおむね40歳以上

内容：ストレッチと筋力トレーニングを目的としたものです。

【ヨガ教室】 平成29年4月から

実施時期：通年

対象：高校生以上

内容：心身と呼吸を合わせて全身を動かし、ヨガのポーズを覚えて自身の体をコントロールするものです。

実施場所：田園調布せせらぎ公園 多目的室



夏休み・こども体育塾

平成24年7月から

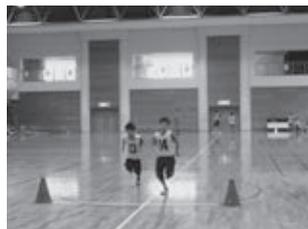
実施時期：7月下旬

対象：小学生（1年生から6年生）

内容：体育の苦手な子ども達に専門のトレーナーが、ダッシュ、ボール投げ、跳び箱、マット運動をわかりやすく楽しく教えます。

「走る、投げる、跳ぶ」などの基本動作を習得し、運動を好きになる子を育てます。

実施場所：大森スポーツセンター



◀走る



▲投げる



◀跳ぶ

親子体操教室

【ママとベビーの体操教室】 平成26年7月から

実施時期：通年

対象：首がすわってから歩きだすまで（おおむね1歳まで）の子どもと母親

内容：ふれあい遊び、母親の身体ほぐし（ストレッチ）親子でエクササイズをするなど親子のスキンシップを図ります。

【よちよち親子体操教室】 平成26年7月から

実施時期：通年

対象：歩き始めてからおおむね2歳までの子どもと母親

内容：ふれあい遊び、音楽を使って身体を動かす、道具を使つての体操、親子ふれあいマッサージなどで親子のスキンシップを図ります。

実施場所：エセナおおた



ママとベビーの体操教室



よちよち親子体操教室

指導者講習会

平成26年11月から加盟団体の競技者及び指導者などを対象として競技力向上と健康維持、増進に寄与することを目的に体育協会競技力向上部会が主管し開催されています。

実施回数：年3回程度

実施場所：消費者生活センター 大集会室（No.6の実施場所：入新井集会室）

No.	実施年月	講師氏名	内 容 (テーマ)
1	平成26年11月	近内 圭太郎	選手とコーチのトレーナーとして ～結果が出ない選手には原因がある～
2	平成27年2月	新田 幸一	現場で明日から使える体幹トレーニング
3	平成27年9月	嵯峨 慈子	緊張の中でもパフォーマンスを発揮していく選手のために
4	平成27年11月	新田 幸一	体幹トレーニングをどのように現場で活用していくか
5	平成28年2月	蔵本 理枝子	スポーツ医学のトピックスとよくある痛みのセルフエクササイズ
6	平成28年9月	大後 栄治	コーチング ～主観のズレ幅を小さくする～
7	平成28年11月	椎橋 聡子	スポーツと栄養 ～パフォーマンスアップのための食事術は～
8	平成29年2月	永井 正之	今日から使える！ わかりやすいテーピング
9	平成29年6月	椎橋 聡子	スポーツ栄養と熱中症対策 ～強い体作りのための食事と正しい水分補給～
10	平成29年11月	永井 正之	指導者のための正しいテーピング



体幹トレーニングの実技



「スポーツと栄養」の講義



テーピングの実技

少年少女卓球大会

第1回は、昭和60年3月に大田区体育協会の育成部が主管で池上文化センターにおいて開催しました。その後、池上小学校、新宿小学校と移行し現在は、大森スポーツセンターで行っています。

平成25年の第29回大会から卓球連盟に委託し実施しています。

実施時期：11月の上旬～中旬の日曜日

対 象：小学生3年～6年

内 容：男女別、学年別（人数が少数の場合は、混合）でリーグ戦を行ない、成績上位の選手がトーナメント戦で順位を決めます。卓球を通して子どもの交流の場と応援する家族とのふれあいの場を提供します。

実施場所：大森スポーツセンター 健康体育室



子ども野外活動教室

昭和60年7月から大田区体育協会の育成部が主管で始めました。

「友情と思いやり」をテーマに団体生活を通じて、規律や仲間との協力、奉仕の精神等を体験し、食事も自分達の手で作り、集団生活でのふれ合いと、楽しさを学びます。

公益財団になってからは、事業部会が事業を引き継いでいます。

名称は、「少年少女野外活動教室」でしたが、平成28年度から「こども野外活動教室」と事業名を変更しています。

実施時期：7月下旬から8月上旬の土曜日・日曜日

対象：小学生3年～6年

内容：1泊2日の日程で、飯ごう炊さんやキャンプファイヤー、ハイキング、野菜収穫など普段の生活では、経験できないことを学びます。

実施場所：野辺山学園（平成23年から）

平成22年までは、伊豆高原学園で実施



ハイキング



飯ごう炊さん



「ゆりーと」も特別参加

スポーツバイキング

平成25年6月から始まった事業で体育協会事業部会が主管しています。

1回目は、「インディアカ教室&大会」を開催しましたが、平成26年6月の開催から「こどもスポーツバイキング」として実施しました。その時の種目は、卓球、バドミントン、バトントワリング、フリスビーでした。

平成27年6月の開催から名称を「スポーツバイキング」とし子どもに限らず誰もが参加できるようになりました。

平成29年6月の開催から「玉入れ」の種目も加わりました。これからも区民がスポーツをはじめのきっかけとなるよう種目を増やしていきます。

実施時期：6月下旬の日曜日

対象：小学生以上

内容：卓球、バドミントン、ポッチャ、フライングディスク、玉入れなど複数種目を体験できます。

実施場所：大森スポーツセンター



少年少女ドッジボール大会

平成2年から財団法人当時の育成部の事業として開催していました。

平成20年6月に大森スポーツセンターで開催された大会の参加者は190人でしたが、平成24年6月開催の大会が最後で、91人の参加者でした。

平成25年からは、事業部会により柔らかいフリスビーを使って行うドッチビーの普及に努めています。



少年少女ミニバスケットボール大会

平成13年から財団法人当時の育成部の事業として開催されました。

平成14年度から東京都体育協会のジュニア育成地域推進事業として引き続き育成部による運営が行われました。平成25年の公益財団後には、体育協会主催事業からバスケットボール連盟に委託をして継続されました。

平成26年度からは区民スポーツ大会のバスケットボール少年の部として引き継がれ、毎年熱戦が繰り広げられています。



少年少女バドミントン大会

平成15年11月に大田区体育館で、財団法人当時の育成部が、小学生を対象に教室と大会を開催したのが始まりです。体育協会では、年少者スポーツ育成事業として、この他に、ミニバスケットボール、卓球大会、野外活動教室などを開催し、子どもたちが、各種のスポーツを体験することにより、生涯スポーツとして続けてもらうことがねらいです。

育成部からバドミントン協会に主管が変遷する中で、平成25年12月からは、ジュニア育成地域推進事業の一環として実施しています。



ジャイアンツアカデミー

4月から3月まで週1回開催しています。読売ジャイアンツのコーチ・選手OBの方々があいさつや礼儀などのマナー指導とともに年齢に合わせた指導をしています。

幼 児 コ ー ス…野球を通じて運動の楽しさを知る。

小学1・2年コース…簡単な基礎技術を学ぶ。

小学3・4年コース…基礎技術に習熟する。

小学5・6年コース…実践に必要な技術を習得する。

アカデミーの練習を通じて、たくさんの友達と野球の楽しさを学んでいます。

実施場所：平和島公園野球場



区民スポーツ大会総合開会式

区民スポーツ大会総合開会式は毎年9月第一日曜日に、体育協会に加盟する団体が一同に会して、会場は、大田区体育館、大森スポーツセンター、現在では大田区総合体育館で開催しています。

民踊連盟、フォークダンス協会、バトン協会の公開演技に始まり、大森第四中学校吹奏楽部の演奏に合わせて、1000人を超える選手団が入場行進をします。ユニホーム姿の行進は圧巻で、各団体の紹介と大会への意気ごみを披露し、秋季大会に向け選手宣誓を行ないます。

この場において大田区のスポーツの普及と発展に貢献された方々に「大田区体育協会表彰状」を贈呈しています。



ラジオ体操指導者養成講習会

昭和61年から大田区ラジオ体操連盟が主管しています。

区民の健康づくりと体力の増進を図ることを目的としてラジオ体操を広く地域住民の方々に普及するために実施しています。

実施時期：7月上旬

対 象：16歳以上

内 容：元「NHKラジオ体操」指導者を招きラジオ体操を希望する地域・小学校PTA関係者の方々を対象に3日間行っています。3日間、すべて出席した方には、修了証を差上げています。受講者は、地域の「夏休みラジオ体操会」で活躍しています。

実施場所：大田区総合体育館または大森スポーツセンター



区民スポーツまつり

毎年「体育の日」に開催しています。昭和59年から始まったこの事業も平成20年には、記念の第25回を迎え、参加者は、10,920人でした。

平成24年度の第29回からは、会場に大田区総合体育館も加わり45会場に広がりました。参加者も16,000人となっています。

平成29年度の第34回では、新しい施設「大森東水辺スポーツ広場ビーチバレー場」も会場に加わり、ビーチバレー体験、ビーチスポーツ体験会も行ないました。47会場、参加者も約17,000人となり区民がスポーツを楽しむきっかけとなるまつりです。



グラウンド・ゴルフ体験教室
(東調布公園野球場)



こども乗馬 (多摩川ガス橋緑地)



野球 (軟式・硬式)・ソフトボール
(大田スタジアム)



カヌー体験 (大森ふるさと浜辺公園)



ビーチスポーツ体験 (ビーサン飛ばし)
(大森東水辺スポーツ広場ビーチバレー場)



少林寺拳法教室
(大森スポーツセンター)



オリンピック・パラリンピック種目にトライ
車イス バasketボール (大田区総合体育館)

大田区体育協会会報「ひろば」

大田区体育協会の広報誌として総務部会が主管し年2回、3月と9月に発行しています。

3月号は、翌年度の事業計画、予算、体協・大森スポーツセンター・大田スタジアムの事業案内、区民スポーツ大会、9月号は都民体育大会の成績、加盟団体の活動などを紹介し、体育協会の活動全般をPRしています。

平成20年9月発行の第51号からA4判カラーで印刷し、平成29年9月発行の第65号から紙面の構成を見直し、紙面のビジュアル化を進め、よりわかりやすい広報誌を目指しています。



OTAふれあいフェスタ

大田区主催の「OTAふれあいフェスタ」は、11月上旬に「地域のふれあい」「交流の輪」を基本テーマにしており、大田区体育協会は、このイベントに平成7年11月からブースを出展しています。

最初の出展では、「スポーツ相談コーナー」を設け体育協会の事業PRをしました。あわせて「ダーツで遊ぼう的あて競技」を行いました。

「ダーツで遊ぼう」は、現在も引き継がれ、来場の区民の方々に楽しんでいただいております。「“スポーツ大田”のご案内 スポーツのことなら大田区体育協会」の横断幕の下で加盟団体の紹介など体育協会のPRを行っています。

平成29年11月のOTAふれあいフェスタでは、体育協会と加盟団体の広報活動を強化しました。

各加盟団体が活躍しているパネルの展示及び団体への連絡名簿を配布して加入促進を図りました。

また、オリンピック・パラリンピック東京大会の機運を醸成するため、リオパラリンピックなどのビデオを上映しました。

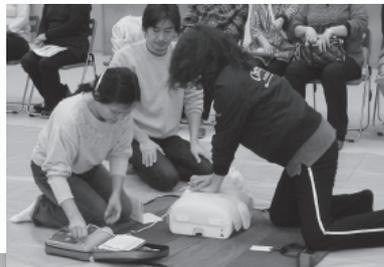
二日間合わせて、約1000人の方に体育協会や加盟団体関連のものしりクイズとスポーツ体験のアンケートに協力いただきました。ダーツ競技の景品として、ビニールボール、なわ跳びを配布して軽運動のきっかけづくりとしました。



普通救命講習会

大田区体育協会の事業部会が主管しています。スポーツ大会の運営に携わる加盟団体の方々を対象にスポーツ活動中に適切な応急活動がとれるように大森消防署の指導により2月に大森スポーツセンターで実施しています。

不測の事態に備えて、心肺蘇生等の技術を身につけるもので、平成18年2月の講習会からAED（自動式対外除細動器）の使い方も行ない、年々参加者も増加しています。



大田スポーツサミット

平成24年6月の大田区総合体育館オープンの際に「大田区スポーツ健康都市宣言」が発表されました。それを契機として、区民がスポーツを通じて健康で豊かに暮らし、賑わいと活力を増していくことを願い、生涯スポーツを推進していくため「スポーツでまちの元気向上委員会」を設置して、基調講演とシンポジウムで構成された「スポーツサミット」を開催しました。

第1回	平成24年(2012年) 5月	基調講演 「スポーツが大田のまちを元気にする」 元伏見工業高校ラグビー部監督	山口 良治 氏
第2回	平成25年(2013年) 5月	基調講演 「夢があるから強くなる」 日本サッカー協会最高顧問	川淵 三郎 氏
第3回	平成26年(2014年) 7月	基調講演 「80歳のエベレスト挑戦」 プロスキーヤー・クラーク記念国際高校校長	三浦 雄一郎 氏
第4回	平成27年(2015年) 7月	基調講演 「夢・実現への挑戦」 佐倉アスリート倶楽部(株) 代表取締役	小出 義雄 氏
第5回	平成28年(2016年) 7月	基調講演 「スポーツから学んだ人生のたからもの」 ミズノ(株) ミズノ スイムチーム・コーチ	寺川 綾 氏
第6回	平成29年(2017年) 7月	基調講演 「夢を叶える思考力」 コマツ柔道部助監督	谷本 歩実 氏

スポーツの力
夢があるから強くなる
大田スポーツサミット 2012

■日時 2012年5月19日(土)
開演 13:30 開演後 12:00~17:30

■会場 大田区民プラザ 大ホール
東京都大田区下丸子南1丁目
大田区民プラザ1F

■定員 500名(先着)
■無料
■当日会場へ

スポーツが大田のまちを元気にする
大田スポーツサミット
2013 5.18土
夢があるから強くなる
大田スポーツサミット 2013

■開演 13:00
開演後 12:30~17:30

■会場 大田区民プラザ 大ホール
東京都大田区下丸子南1丁目
大田区民プラザ1F

■定員 500名
■無料
■当日会場へ

大田スポーツサミット2014
三浦雄一郎氏
基調講演
7月19日(土)
開演 13:30 開演後 12:00~17:30

大田区民プラザ 大ホール
東京都大田区下丸子南1丁目
大田区民プラザ1F

■定員 500名(先着)
■無料
■当日会場へ

「80歳のエベレスト挑戦」
シンポジウム「スポーツに引退はない」

大田スポーツサミット2015
小出義雄氏
基調講演
「夢・実現への挑戦」
7月18日(土)
開演 13:30 開演後 12:00~17:30

大田区民プラザ 大ホール
東京都大田区下丸子南1丁目
大田区民プラザ1F

■定員 500名(先着)
■無料
■当日会場へ

シンポジウム「ハードに火をつける!!」

大田スポーツサミット2016
寺川綾氏
基調講演
「スポーツから学んだ
人生のたからもの」
~わたしのオリンピック~
7月9日(土)
開演 13:30 開演後 12:30~17:30

大田区民プラザ
大ホール
東京都大田区下丸子南1丁目
大田区民プラザ1F

■定員 500名(先着)
■無料
■当日会場へ

シンポジウム「オリンピックへの扉」

大田スポーツサミット2017
谷本歩実氏
基調講演
「夢を叶える思考力」
~何事も「実現」する~
7月15日(土)
開演 13:30 開演後 12:30~17:30

大田区民プラザ
大ホール
東京都大田区下丸子南1丁目
大田区民プラザ1F

■定員 500名(先着)
■無料
■当日会場へ

シンポジウム「夢を叶える思考力」

春季・夏季区民スポーツ大会

毎年4月から8月に下記内容でスポーツ大会を実施しています。

(期日・会場は29年度)

種 目	期 日	会 場
アーチェリー	6月	平和の森公園アーチェリー場
合気道演武	4月	南馬込文化センター 体育室
アマチュアレスリング	5月	洗足区民センター 体育室
居合斬道	6月	大田区民プラザ 体育室
インディアカ	4月	大森スポーツセンター
エアロビクス	5月	池上会館 集会室
空手道	6月	大森スポーツセンター
弓 道	4月	大田区総合体育館 弓道場
クレール射撃	5月	千葉県成田射撃場
ゲートボール	5月	六郷橋緑地ゲートボール場
剣 道	6月	大田区総合体育館
ゴルフ	4月	神崎カントリークラブ
サッカー	3月～7月	多摩川緑地サッカー場ほか
柔 道	5月	大森スポーツセンター
水 泳	9月	平和島公園プール
相 撲	5月	平和の森公園 相撲場
ソフトテニス	8月	大森スポーツセンター
ソフトテニス (一般)	4月	六郷橋緑地庭球場
ソフトテニス (小学生)	4月	六郷橋緑地庭球場
ソフトテニス (中学生)	5月	六郷橋緑地庭球場
ソフトテニス (女性・60歳以上)	5月	多摩川田園調布緑地広場庭球場
ソフトボール	4月～6月	ガス橋緑地野球場 6～8号面
卓 球 (小・中・高校生)	4月	大森スポーツセンター
卓 球 (一般)	4月	大森スポーツセンター
ダンススポーツ	8月	大森スポーツセンター
釣 魚 (シロギス)	5月	三浦半島「金田湾」
テニス (シングルス)	3月・4月	本羽田公園庭球場ほか
軟式野球	3月～6月	大田スタジアム・多摩川緑地野球場
区民ハイキング	4月	横須賀市「大楠山」
馬 術	4月	多摩川ガス橋緑地
バスケットボール (一般・シニア)	5月・6月	大森スポーツセンター・大田区総合体育館
バスケットボール (小学生)	5月・6月	大田区総合体育館
バドミントン (中学生)	4月	大森スポーツセンター
バドミントン (一般)	4月	大森スポーツセンター
バトントワリング	8月	大森スポーツセンター
バレーボール (一般・9人制)	4月・5月	大森スポーツセンター
バレーボール (中学生・6人制)	5月・6月	大森スポーツセンター
ハンドボール	5月	大森スポーツセンター
武術太極拳	6月	大田区総合体育館
ボウリング	4月	平和島スターボウル
ミニテニス (ダブルス)	5月	大森スポーツセンター
民 踊	4月	大田区民センター 音楽ホール
ライフル射撃 (小口径)	4月	神奈川県伊勢原射撃場
ライフル射撃 (大口径)	5月	埼玉県長瀬総合射撃場
陸上競技	4月	都立大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
レク・フォークダンス	5月	池上会館 集会室
【スポーツ奨励事業】		
自転車走行会	6月	ガス橋→東高根森林公園ほか→ガス橋
玉入れ競技	5月	大森スポーツセンター

秋季・冬季区民スポーツ大会

毎年9月から翌年3月に下記内容でスポーツ大会を実施しています。

(期日・会場は29年度)

種 目	期 日	会 場
アーチェリー	11月	平和の森公園 アーチェリー場
合気道演武	10月	南馬込文化センター 体育室
アマチュアボクシング	11月	ゴールドジム・サウス東京
アマチュアレスリング	10月	洗足区民センター 体育室
居合斬道	12月	大田区民プラザ 体育室
インディアカ	11月	大森スポーツセンター
エアロビクス	9月	池上会館 集会室
空手道	11月	大森スポーツセンター
弓 道	9月	大田区総合体育館 弓道場
クレー射撃	9月	千葉県成田射撃場
ゲートボール	9月	六郷橋緑地ゲートボール場
剣 道	11月	大森スポーツセンター
ゴルフ	10月	ロイヤルスター CC
サッカー	9月～12月	多摩川緑地サッカー場 ほか
柔 道	10月	大森スポーツセンター
少林寺拳法演武	9月	大森スポーツセンター
スキー競技	1月	南魚沼市「五日町スキー場」
相 撲	9月	平和の森公園 相撲場
ソフティテニス (ダブルス)	3月	大森スポーツセンター
ソフトテニス (一般)	9月	六郷橋緑地庭球場
ソフトテニス (小学生)	8月	六郷橋緑地庭球場
ソフトテニス (中学生)	10月	六郷橋緑地庭球場
ソフトボール	9月～11月	ガス橋緑地野球場 6～8号面
卓 球 (小・中・高校生)	9月	大森スポーツセンター
卓 球 (一般)	9月	大森スポーツセンター
卓 球 (レディース・シニアラージボール)	9月	大森スポーツセンター
ダンススポーツ	1月	大森スポーツセンター
釣 魚 (カワハギ)	10月	三浦半島「油壺沖」
テニス (ダブルス)	9月・10月	本羽田公園庭球場ほか
なぎなた	11月	大田区民プラザ 体育室
軟式野球	8月～11月	大田スタジアム・多摩川緑地野球場
ハイキング (区民)	10月	三浦半島「武山」
馬 術	11月	綾瀬市「綾瀬乗馬クラブ」
バスケットボール (一般・シニア)	9月・10月	大森スポーツセンター
バスケットボール (中学生)	12月	大森スポーツセンター
バドミントン (中学生)	9月	大田区総合体育館
バドミントン (一般)	9月	大田区総合体育館
バドミントン (団体戦)	11月	大森スポーツセンター
バレーボール (一般・6人制)	10月	大田区総合体育館
バレーボール (中学生・6人制)	12月	大森スポーツセンター
ハンドボール	11月	大森スポーツセンター
武術太極拳	11月	大森スポーツセンター
ボウリング	10月	蒲田イモンボウル
ミニテニス (ダブルス)	11月	大森スポーツセンター
民 踊	11月	大田区民ホールアブリコ 大ホール
ライフル射撃 (小口径)	10月	神奈川県伊勢原射撃場
ライフル射撃 (大口径)	9月	埼玉県長瀬総合射撃場
陸上競技	9月	都立大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
レク・フォークダンス	11月	池上会館 集会室
【スポーツ奨励事業】		
自転車走行会	10月	ガス橋→次太夫堀公園ほか→ガス橋
オリエンテーリング	11月	弘法山
玉入れ競技	11月	大森スポーツセンター

ジュニア育成地域推進事業

平成18年度から（公財）東京都体育協会が地域スポーツの振興を目的として行っている事業です。大田区体育協会が受託するかたちで実施しています。

小・中・高校生の各種スポーツのレベルアップを図るため強化練習会などを開催しています。

平成29年度 ジュニア育成地域推進事業

No.	事業名	実施時期	実施場所
1	ジュニア陸上競技記録会（小学3年～中学生）	8月	大井ふ頭中央海浜公園
2	ジュニア選抜ソフトボール大会（小学5.6年）	11月	平和島公園野球場
3	小学生ソフトテニス強化練習（3年以上）	7月	高畑小学校
4	中学生ソフトテニス強化練習	12月	矢口中学校
5	高校生ソフトテニス強化練習	7月	東京高等学校
6	大田 Eggs ジュニア卓球教室（小学生）	4月～3月	雪谷文化センター
7	ジュニア育成ボート体験教室（小学3年～中学生）	7月	多摩川ガス橋下河川敷
8	ジュニアゴルフ大会（小学生～高校生）	8月・12月	千葉県 長南パブリック
9	ジュニア柔道強化練習（小学生～高校生）	4月～2月	つばさ総合高等学校
10	ジュニア剣道強化練習（小学生～高校生）	8月	出雲中学校
11	ジュニア女子サッカー強化練習（小学生女子）	10月	静岡県 時之栖スポーツセンター
12	大田ジョニア選抜サッカー大会（小学生男子）	12月	立正大附属中学園
13	少年少女バドミントン大会（小学生）	12月	大森スポーツセンター
14	ジュニアカヌー教室（小学生～高校生）	6月～8月	ふるさとの浜辺海浜公園
15	ジュニア軟式野球交流大会（小学生）	10月	多摩川緑地野球場



ジュニア サッカー



ジュニア 剣道



ジュニア ソフトテニス

シニアスポーツ振興事業

（公財）東京都体育協会が高齢者のスポーツ実施率の向上を図り、健康維持・増進に寄与することを目的として行っている事業です。平成24年度から大田区体育協会が受託するかたちで実施しています。60歳以上の方々を対象に、競技会・講習会などを開催しています。

平成29年度 シニア育成振興事業

No.	事業名	実施時期	実施場所
1	シニアウォーキングフェスタ	8月	嶺町文化センター
2	シニアソフトテニス	10月	大田区総合体育館
3	シニア卓球競技会	11月	大森スポーツセンター
4	ジョイフルスローピッチソフトボール競技会	12月	ガス橋緑地グラウンド
5	障がい者・シニア向けストレッチ体操講習会	30年2月（予定）	大森スポーツセンター

スポーツ教室

平成29年度 初心者スポーツ教室

種 目	対 象	会 場	期 間
水 泳	15歳以上	矢口区民センター・温水プール	4月6日～6月1日 8日間
		平和島公園水泳場・屋内プール	10月6日～12月1日 8日間
弓 道	15歳以上	総合体育館・弓道場	5月11日～7月13日 10日間
卓 球	15歳以上	大森スポーツセンター・アリーナ	5月11日～6月29日 8日間
テ ニ ス	15歳以上	多摩川六郷橋緑地・庭球場	10月7日～11月25日 8日間
ソ フ ト テ ニ ス	15歳以上	大森スポーツセンター・アリーナ	9月7日～10月5日 5日間
ミ ニ テ ニ ス	15歳以上	蒲田小学校・体育館	5月13日～6月10日 5日間
グラウンド・ゴルフ	15歳以上	ふれあいはずぬま・運動場	5月15日～5月19日 5日間
ラージボール 卓球	15歳以上	大森スポーツセンター・アリーナ	9月7日～10月26日 8日間

※テニス教室は、雨天が続き会場が使用できない期間があったため、平成30年1月13日～3月24日に延期し本羽田公園庭球場で開催予定。



平成29年度 小・中学生スポーツ教室

種 目	対 象	会 場	期 間
剣 道	小学生1年 ～中学生3年生	萩中集会所・体育室	5月11日～12月14日 (毎週木曜日) 27日間
		大森西区民センター・体育室	5月12日～12月8日 (毎週金曜日) 27日間
		馬込区民センター・体育室	5月12日～12月8日 (毎週金曜日) 27日間
		多摩川小学校・体育館	5月12日～11月10日 (毎週金曜日) 27日間
		洗足池小学校・体育館	5月13日～11月11日 (毎週土曜日) 27日間

大田区から受託する区立スポーツ施設の管理運営に関する事業

大田区体育協会は、平成18年度から指定管理者として、大森スポーツセンター・大田スタジアムの管理運営を行っています。

大森スポーツセンター

【自主事業】健康体育室、トレーニングルームを利用して、体操教室を開催しています。

平成29年度 トレーニングルーム 各種教室

コース名		日程		教室名	対象
公 募	がっつりコース (全10回を4クール)	火曜日	午前	ソフトエアロ	15歳以上
		木・金曜日		シェイプアップエアロⅠ・Ⅱ	15～59歳
		木曜日	午後	筋トレ・で・スリム	
	いきいきコース (全10回を4クール)	月曜日	午後	健康マット体操	60歳以上
		火曜日		いきいき体操	
		水曜日		はつらつリズム体操	
		木曜日		リズム・で・筋トレ	
		金曜日		足腰元気体操	
	ゆったりコース (全8回を4クール)	火曜日	午前	リフレッシュヨガ90分/かんたんヨガ	15歳以上
		水曜日		太極拳	
		木曜日		優雅なフラダンス	
	ベビーコース	月曜日	午前	ベビーとママのすくすく体操	3か月～1歳未満
月曜日		チャレンジ親子体操		2～3歳	
木曜日		なかよし親子体操		1～2歳	
自 由	当日参加コース	火・木曜日	夜間	ピラティス/仕事帰りのヨガ	15歳以上
		水曜日	午前	やさしいヨガ	
		水曜日	午後	ストレッチ&筋トレ	おおむね60歳以上
		土曜日		スーパーボディシェイプ	15歳以上
		日曜日		ボクシングエクササイズ	



いきいき体操



筋トレでスリム



親子体操

大田スタジアム

【自主事業】 スタジアムを利用して、次の事業を開催しています。

平成29年度 実施事業

事業名	日程	内容	対象
ジャイアンツメソッド 野球教室	・ 4月 午前・午後 各1回開催 ・ 12月 午前・午後 各1回開催	読売ジャイアンツの選手OBや、大学で豊富な競技経験を持つジャイアンツアカデミー講師による、野球を楽しむ・親しむとともに親子・家族で参加できるイベントです。	幼稚園年中～ 小学生・保護者
夏休み大田区 少年少女早朝野球大会	7月20日 ～8月31日	参加チームを募り、リーグ戦形式で大会を実施します。 夏休み期間の規則正しい生活習慣の醸成を図ります。	区内在住の 小学生・中学生
大田スタジアム ランニング教室 ～ゆっくり走れば速くなる～	平成30年2月10日(土) 予定 午前・午後各1回開催	国内外の、数々の大きなレースに出場経験を持つ、元長距離選手を講師に招き、講義と実技を行います。 ランニング初心者の方もお気軽に参加できます。	・ 午前の部 小学生4年生 ～中学生 ・ 午後の部 16歳以上



ジャイアンツメソッド野球教室



夏休み大田区少年少女早朝野球大会



大田スタジアムランニング教室



ユニホーム姿のはねぴよん © 大田区

都民体育大会10年のあゆみ 入賞種目・成績

第61回 (平成19年8月～平成20年6月)

正式競技	男子の部 (総合優勝)	女子の部 (総合優勝)
優勝	弓道・フェンシング	
準優勝	テニス・ソフトボール・アーチェリー	陸上競技・バスケットボール・卓球・ソフトボール
3位	陸上競技・ソフトテニス	スキー・テニス・ボウリング
4位	ボウリング	
5位	バレーボール・ライフル射撃(混成)・ソフトテニス	
6位	ダンススポーツ(混成)	なぎなた
8位	サッカー・馬術(混成)・クレ射撃(混成)	水泳
公開競技	男子の部	女子の部
優勝	少林寺拳法	
準優勝	ハンドボール	
3位	ローラースケート	ゴルフ
4位		少林寺拳法
8位		フェンシング

大会参加者数(役員・コーチ・選手) 436人

第62回 (平成20年8月～平成21年6月)

正式競技	男子の部 (総合4位)	女子の部 (総合準優勝)
優勝	ダンススポーツ(混成)	
準優勝		スキー
3位	バレーボール	バスケットボール・ソフトテニス・ソフトボール
4位	ライフル射撃・空手道	
5位	ソフトテニス・卓球・軟式野球・ソフトボール	陸上競技・テニス
6位	陸上競技・馬術	ボウリング
7位	クレ射撃	
8位	水泳	
公開競技	男子の部	女子の部
優勝	少林寺拳法	
準優勝	ローラースケート	
3位	ハンドボール	
4位		少林寺拳法
5位		ハンドボール

大会参加者数(役員・コーチ・選手) 526人



第61回 7ぶり男女総合優勝

第62回 開会式で選手宣誓を行う
大田区の高野 哲史選手(弓道連盟)

第63回（平成21年8月～平成22年6月）

正式競技	男子の部（総合準優勝）	女子の部（総合優勝）
優勝	テニス	バレーボール・ソフトボール
準優勝	アーチェリー・ダンススポーツ（混成）	スキー・テニス
3位	バレーボール・クレール射撃	バスケットボール・ソフトテニス
4位	弓道・ライフル射撃	陸上競技
5位	ソフトテニス	ボウリング
6位	陸上競技・馬術・ゲートボール	
7位	クレール射撃	
8位	駅伝	水泳

公開競技	男子の部	女子の部
優勝	少林寺拳法	
準優勝	ローラースケート	
3位	ハンドボール	
5位		少林寺拳法

大会参加者数（役員・コーチ・選手）539人

第64回（平成22年8月～平成23年6月）

正式競技	男子の部	女子の部（総合優勝）
優勝	ソフトボール・ダンススポーツ（混成）	ゴルフ・陸上競技・テニス・ソフトボール
準優勝	陸上競技	バレーボール
3位	卓球	スキー
4位		なぎなた
5位	バスケットボール	バスケットボール
6位	弓道	弓道

公開競技	男子の部	女子の部
準優勝	ローラースケート	
8位	少林寺拳法	

移行競技	男子の部	女子の部
優勝		空手道

大会参加者数（役員・コーチ・選手）517人



第63回 女子総合優勝に貢献したソフトボールとバレーボールのメンバーを囲んで 解団式



第64回 男女アベック優勝ソフトボールのメンバーを囲んで 解団式

第65回 (平成23年8月～平成24年6月)

正式競技	男子の部 (総合優勝)	女子の部 (総合優勝)
優勝	弓道・ダンススポーツ (混成)	テニス・バスケットボール
準優勝	駅伝競走・陸上競技・テニス・ゲートボール	スキー・ソフトボール
3位	サッカー	ゴルフ・陸上競技・バレーボール・卓球
5位	バドミントン・ソフトボール・柔道・ボウリング	ソフトテニス
6位	アーチェリー	なぎなた
8位	水泳	
公開競技	男子の部	女子の部
3位		ハンドボール
5位	ハンドボール	
6位	少林寺拳法	
移行競技	男子の部	女子の部
優勝		空手道

大会参加者数 (役員・コーチ・選手) 508人

第66回 (平成24年8月～平成25年6月)

正式競技	男子の部 (総合優勝)	女子の部 (総合優勝)
優勝	ゴルフ・サッカー・ダンススポーツ (混成)	弓道
準優勝	バスケットボール	ゴルフ・陸上競技・バスケットボール・ボウリング・ゲートボール
3位	駅伝競走・陸上競技・テニス・柔道	スキー・バレーボール・ソフトボール
4位	馬術・弓道	テニス
5位	卓球・ソフトボール・剣道	
6位	ボウリング	
7位	クレー射撃	
8位	フェンシング・空手道	なぎなた
公開競技	男子の部	女子の部
5位		ハンドボール
6位		少林寺拳法
8位	ローラースケート・少林寺拳法	

大会参加者数 (役員・コーチ・選手) 525人



第65回 男女総合優勝



第66回 開会式で選手宣誓をする
大田区の奥山律子選手 (テニス連盟)

第67回（平成25年8月～平成26年6月）

正式競技	男子の部（総合3位）	女子の部（総合優勝）
優勝	弓道・ダンススポーツ	ゴルフ・テニス・ソフトボール
準優勝	駅伝競走	バスケットボール・なぎなた・ボウリング
3位	バレーボール・軟式野球・クレ射撃	スキー
4位	ライフル射撃	
5位	サッカー・テニス・ボウリング	
6位	陸上競技	陸上競技
8位	馬術	弓道
公開競技	男子の部	女子の部
1位	ローラースケート	
2位	少林寺拳法	少林寺拳法
5位	ハンドボール	

大会参加者数（役員・コーチ・選手）537人

第68回（平成26年8月～平成27年6月）

正式競技	男子の部（総合準優勝）	女子の部（総合優勝）
優勝	サッカー・弓道・アーチェリー・ダンススポーツ	
準優勝	ボウリング	スキー・バスケットボール・ソフトボール
3位	バスケットボール	テニス・バレーボール・ソフトテニス・なぎなた
4位		ゴルフ
5位	空手道	陸上競技
6位	駅伝競技・フェンシング・クレ射撃	ボウリング
7位		水泳
8位	水泳・陸上競技・軟式野球	
公開競技	男子の部	女子の部
3位	ローラースケート	ハンドボール・フェンシング・少林寺拳法
4位	少林寺拳法	
5位	ハンドボール	
移行競技	男子の部	女子の部
準優勝		空手道

大会参加者数（役員・コーチ・選手）524人



第67回 開会式で選手宣誓をする大田区の綾野晃志郎選手（ダンススポーツ連盟）



第68回 都民大会解団式／鏡割り

第69回（平成27年8月～平成28年6月）

正式競技	男子の部（総合優勝）	女子の部（総合優勝）
優勝	ソフトボール・アーチェリー・ダンススポーツ（混成）	スキー
準優勝	ボウリング	テニス・バスケットボール・ボウリング
3位	サッカー・テニス・剣道	ゴルフ・バレーボール・ソフトテニス
4位	クレール射撃	
5位	陸上競技・バレーボール・バスケットボール・軟式野球・馬術・バドミントン・空手道	卓球
6位	水泳・弓道	弓道
8位	駅伝	陸上競技
公開競技	男子の部	女子の部
優勝	ローラースケート	
準優勝	少林寺拳法	少林寺拳法
3位		ハンドボール
4位		フェンシング

大会参加者数（役員・コーチ・選手）523人

第70回（平成28年8月～平成29年6月）

正式競技	男子の部（総合優勝）	女子の部（総合優勝）
優勝	アーチェリー・ダンススポーツ（混成）	スキー・テニス・ソフトテニス・ボウリング
準優勝	水泳・陸上競技・弓道・剣道・ボウリング	ゴルフ・バスケットボール・ゲートボール
3位	駅伝・馬術・ソフトボール	
5位	サッカー・バスケットボール・軟式野球・柔道	陸上競技
7位	フェンシング	水泳
8位	ゴルフ	バレーボール
公開競技	男子の部	女子の部
準優勝	少林寺拳法	少林寺拳法
3位	ローラースケート	
8位	ハンドボール	ハンドボール
移行競技	男子の部	女子の部
優勝		空手道

大会参加者数（役員・コーチ・選手）533人



第69回 都民体育大会 閉会式
男女総合優勝



第70回 開会式で選手宣誓をする大田区の
遠山芳恵選手（バスケットボール連盟）

加盟団体のあゆみ
(10年間)

大田区アーチェリー協会

団体概要

設 立 昭和60年 8月
 体協加盟 昭和60年 8月
 会 長 水野 洋
 理 事 長 大東 洋一郎
 事 務 局 〒145-0064
 大田区上池台5-38-21
 星野 芳輝
 TEL 090-8727-5199

登録会員数 15名

HP :

http://www008.upp.so-net.ne.jp/Otaku_Archery/

10年間のあゆみ

アーチェリー協会設立当時の信念でもあるアーチャーとして、各々切磋琢磨し、技術向上をめざし、実力を競い合うスタイルを脈々と受け継ぎ変えることなく現在に至っています。

アーチェリーに対するスタンスは、アーチャー個人で違ってはいますが、生涯スポーツとして楽しむことを第一と考え、日々練習に励んでいます。

スポーツには、見て楽しむ競技と参加して楽しむ競技がありますが、アーチェリーは後者。故に当アーチェリー協会は老若男女を問わずに、協会員全員が現役アーチャーでいることが最大の誇りです。

10年間の主な記録

平成20年	都民体育大会	男子	2位
平成22年	都民体育大会	男子	2位
平成24年	都民体育大会	男子	6位
平成27年	都民体育大会	男子	優勝
平成28年	都民体育大会	男子	優勝
平成29年	都民体育大会	男子	優勝



今後の展望

昭和60年に発足した当アーチェリー協会は、平成25年で30年を迎え、より一層の充実した協会であるために、次の課題に取り組んでいく所存です。

- 1 初心者に対して常に扉を開き、年齢・性別・体格・体力に関係なく楽しめるスポーツであることを理解・普及していく。
- 2 これからの高齢化社会であっても生涯スポーツとして、いつまでも楽しく続けていけるように指導のあり方を工夫していく。
- 3 会員相互の交流を通して会員同士の意識の向上を図り、明るく楽しく活動できる協会として、さらなる努力を惜しまない。



年間行事予定表

- 5月 都民体育大会参加
- 6月 春季区民スポーツ大会
- 11月 秋季区民スポーツ大会



大田区合気道連盟

団体概要

設立 昭和60年4月
 体協加盟 平成5年4月
 会長 尾崎 响
 理事長 木村 憲弘
 事務局 〒143-0024
 大田区中央5-18-1
 尾崎 响
 TEL 03-3755-1258
 登録団体数 6団体
 登録会員数 500名

10年間のあゆみ

大田区合気道連盟は昭和60年4月、大田区内における青少年の体力づくりと非行化防止に貢献する事を目的として設立されました。発足当時は大田区合気道会と合気道八起会の二団体でしたが、その後、仲池合気道同好会、(財)合気会西馬込道場、大森第三中学校合気道、東急セミナーBE雪谷が加わり6団体となり、会員数も500人を超えるまでに発展しています。

合気道について少し説明させていただきます。合気道は開祖・植芝盛平翁が多くの武道の奥義を極め、精神的な修業を納められて創始した武道です。合気道が現代武道として大きく発展したのは戦後になってからです。合気道は試合形式を取っておりません。勝負を超越した武道ですから、攻撃技はありません。相手が打って来たり取りに来た瞬間に相手の側面から死角に入り、一瞬にして相手を制する武道です。「合気道は武道にして舞なり」「合気道は動く座禅」と表現されるように稽古を通して気を練り、精神的な修業を大事にします。ですから合気道は小さなお子さんから高齢者まで、無理なく出来る武道なのであります。

大田区合気道連盟は平成5年3月29日、(公財)大田区体育協会の39番目の団体として承認され、正式に加盟しました。毎年4月と10月に演武大会を開催する一方、「区民スポーツまつり」等で「親子の合気道教室」コーナーを開設し、PRにつとめています。また、大田区合気道連盟は東京都合気道連盟に加盟している団体で、大田区を代表する団体でもあります。現在、東京都合気道連盟は都内にある(公財)合気会の公認160道場で構成されています。

年1回、演武大会が開催されています。また、年2回、指導者講習会が行なわれています。平成20年4月尾崎响会長が全日本合気道連盟の理事長に就任しました。「連盟の活性化」「加盟団体の拡充」「青少年の育成」のビジョンを掲げ、精力的に行動されています。

今後の展望

※大田区合気道連盟の団体と稽古時間

- 大田区合気道会 (師範・尾崎 响)
場所 = 南馬込文化センター・体育室
時間 = 日曜日 午前9:00~12:00
- 合気道八起会 (師範・山田陽也)
場所 = 貝塚中学校・格技室
時間 = 土曜日 午後7:00~9:00
日曜日 午前9:00~12:00
- 仲池合気道同好会 (師範・嶺岸正樹)
場所 = 大森第十中学校・体育館
時間 = 木曜日 午後7:00~9:00
土曜日 午後7:00~9:00
場所 = 大森第八中学校・体育館
時間 = 火曜日 午後7:00~9:00
- 西馬込合気道会 (師範・尾崎 响)
場所 = 馬込中学校・体育室
時間 = 土曜日 午前9:00~12:00
- 大森第三中学校合気道会 (師範・尾崎 响)
場所 = 大森第三中学校・ホール
時間 = 火曜日 午後7:00~8:30
- 東急セミナーBE雪が谷合気道 (師範・尾崎 响)
場所 = 東急セミナーBE雪が谷
時間 = 金曜日 午後6:40~7:40

年間行事予定表

- 4月 大田区合気道連盟春季演武大会
- 5月 全日本合気道演武大会
- 6月 指導者講習会
- 7月 少年合気道練成大会
- 8月 暑中稽古
- 9月 区民スポーツ大会・総合開会式
- 10月 大田区合気道連盟秋季演武大会
区民スポーツまつり・合気道教室
東京都合気道連盟演武大会
- 11月 全国合気道指導者研修会
- 1月 鏡開き式
- 2月 指導者講習会

大田区アマチュアレスリング協会

団体概要

設 立 昭和35年 5月
 体協加盟 昭和35年 5月
 会 長 宮田 信章
 理 事 長 小林 正文
 事 務 局 〒144-0051
 大田区西蒲田 4-13-1
 里見 徹
 TEL 090-7738-8944
 登録団体数 一般の部 1 団体
 登録会員数 一般の部 20名

10年間のあゆみ

オリンピックでの日本選手の活躍やメディアに取り上げられる事により競技人口の増加傾向がみられ、大田区大会の参加者も増加し、現在春・秋の大会で100名を越すレスラーが参戦している。競技は男子フリースタイルでプロ、アマ問わず年齢の枠もなくし参加者の門戸を広げている。大会では、本協会の競技理念としてスポーツマンシップ、フェアプレーの精神を尊重し競技中に選手を負傷させない事を本大会のローカルルールとして会場が一丸となって楽しめるステージを創り出している。

本協会のテーマである「生涯スポーツ」としてのレスリング競技普及を目標に日々の自己管理、向上心、フェアネス、相手への敬意に心掛けて活動している。



10年間の主な記録

東京都体育協会より平成28年5月28日「生涯スポーツ優良団体」で表彰される。

今後の展望

2004年のアテネオリンピックから女子が正式種目になり、4大会でメダルを量産し、その活躍により女子レスラーも増加している。近い将来、女子大会の開催も実現させたいと考えている。また、競技人口の底辺拡大のため少年少女レスラーの強化、育成にも取り組んでいかなければならない。



年間行事予定表

春・秋の区民スポーツ、レスリング大会開催

春 5月第4日曜日

秋 10月第4日曜日

年1回 少年少女レスリング大会



大田区居合斬道連盟

団体概要

設立 昭和58年12月
 体協加盟 昭和60年8月
 会長 古岡 孝
 理事長
 事務局 〒144-0051
 大田区西蒲田6-14-5
 佐藤 元子
 TEL 090-3335-1447
 登録会員数 40名
 H P : <http://iaigiri.net/>

30年間のあゆみ

昭和55年1月 無双流居合斬道創始
 宗家 故古岡 二刀齋
 昭和60年4月 大日本古武道連盟創始
 理事長 故古岡 二刀齋
 平成8年4月 大日本居合道連盟改め国際居合斬道
 連盟へ改称創始
 平成8年11月 台湾台北
 居合斬道大会開催
 平成9年9月 山形県居合神社 奉納演武
 平成10年12月 無双流居合斬道創始20周年記念
 平成12年6月 米国コロラド州デンバー
 米国支部道場開き
 平成13年1月 米軍横田基地将校クラブにて無双流
 居合斬道演武
 平成13年9月 新潟県魚沼市根小屋
 針宗山永林寺 故古岡 二刀齋
 記念碑建立除幕式 無双流居合斬道
 演武
 平成15年8月 米国カルフォルニア州サンディエゴ
 米国居合斬道大会
 平成16年4月 韓国支部 韓国居合斬道大会、昇段
 審査会
 平成17年9月 無双流居合斬道初代宗家
 居合斬同連盟会長
 古岡 二刀齋 死去
 平成18年12月 大田区体育協会加盟20周年記念大会
 無双流居合斬道2代目宗家襲名
 平成28年12月 大田区体育協会加盟30周年記念大会

今後の展望

居合道は、室町時代永禄年間
 に林崎甚助重信を開祖とする。
 林崎甚助は、親の仇を打
 つために三尺三寸の長刀をもつて、九寸五分の小刀
 についてくるのを止めるという修行を行い居合を大
 成させたという。心技体を修練し、礼に始まり礼に
 終わる。武道の持つよさを伝承され、また、後世に
 伝えていく。

修練された芸事は美しいものである。居合もまた
 大和魂の籠ると言われる日本刀をもつて演武する美
 しさを宿している。

一方で、居合では、斬るという事はしない。あく
 までも型の世界である。古岡二刀齋は、より実践的
 な居合を求め無双流居合斬道を開祖した。真剣をも
 つて畳を斬る技は迫力に満ちている。

外国人の方々を指導していると外国人の方は、日
 本人以上に実に礼儀正しく清々しいものが漂ってい
 る。

東京オリンピックを控えて外国人もますます訪れ
 る事が予想される。

今後も体育協会の一員としてスポーツ大会などを
 通じて大田区民の皆様をはじめとして日本の伝統武
 道的一端に触れて頂く機会を作っていきたい。

年間行事予定表

毎年 春・秋（6月・12月）

大田区区民スポーツ大会 居合斬道大会、昇段審査会
 毎年 9月第2土曜日・日曜日

新潟県針宗山永林寺、無双流居合斬道奉納演武



大田区インディアカ連盟

団体概要

設 立 平成10年 4月
 体協加盟 平成12年 6月
 会 長
 理 事 長 高井 貞太郎
 事 務 局 〒143-0024
 大田区中央 8-4-7
 後藤 健一
 TEL/FAX 03-6410-9695
 Eメール xyz.1127peco@yahoo.co.jp
 登録団体数 5 団体
 登録会員数 120名

10年間のあゆみ

平成12年 4月 3日、(財)大田区体育協会へ加盟申請書提出（7団体にてスタート）。

同年 6月 1日 (財)大田区体育協会加盟申請承認され、3名を体育協会幹事・評議員として派遣しました。

平成13年 8月 26日、普及審判員認定講習会開催25名受講、受験。

同年10月 8日第18回大田区民スポーツまつりに初めて参加（以降毎年参加、現在に至る）。

平成18年 9月 3日、平成18年度大田区体育協会体育優良団体として表彰されております。

インディアカ教室



10年間の主な記録

平成20年以降、春・秋（4月、10月）年2回交流大会を開催しており、毎回50～60チームの参加で参加人員250～300名になり盛況の大会となっております。

また日本インディアカ協会、東京インディアカ協会主催の各種大会等にも参加し、毎回好成績を収めております。

前述以外にも、各市区町主催大会、近隣県主催大会に積極的に参加し、技術向上・交流に役立っております。

今後の展望

ドイツで生まれたインディアカが生涯スポーツとして日本に入って半世紀が過ぎました。

いつでもどこでも誰でもが気軽に楽しめるスポーツとして入ってきたインディアカも、徐々にではありますが国内でも普及してきました。

若年層の目的はチャンピオンスポーツであるだろうし、高齢者層の目的とするスポーツは生涯に渡ってスポーツを継続して楽しみたいというように目的が違ってきてますが、スポーツを楽しみたいという気持ちには変わりありません。

若年層と高齢者との（共通点）をどれだけ多くしていくかが今後の課題であり、永遠の取り組むべきテーマだと考えております。

また会員の高齢化が進んでおりますが、会の活性化を計るべく新会員の入会を推進しております。

年間行事予定表

- 春季・秋季区民スポーツ大会、インディアカ大会開催。
- 10月（体育の日）、区民スポーツまつり参加。
- 連盟主催交流大会、年3～4回開催予定。
- 日本インディアカ協会、東京都インディアカ協会主催大会参加（年5回開催）。
- 近隣大会への参加。

大田区ウエイトリフティング協会

団体概要

設 立 昭和37年 4月

体協加盟 昭和38年 9月

会 長 松原 秀典

理 事 長 保井俊一郎

事 務 局 〒143-0015

大田区大森西1-2-8-607 鈴木 清方

登録会員数 31名

10年間のあゆみ

当協会は設立50年越える歴史のある団体として活動してきました。

その間、年2回開催の区民スポーツ大会を中心に、区民スポーツまつりにも参加しています。

会員、大会参加者からは、国民体育大会、全日本マスターズ大会などの全国大会を初め、世界マスターズ大会で日本代表として活躍する選手を輩出してきました。

平成19年度には、東京都教育委員会表彰を団体として受賞しました。

区民スポーツ大会参加選手実績（春季・秋季）

62回大会（平成21年度）	75名
63回大会（平成22年度）	84名
64回大会（平成23年度）	61名
65回大会（平成24年度）	51名
66回大会（平成25年度）	121名
67回大会（平成26年度）	104名
68回大会（平成27年度）	73名
69回大会（平成28年度）	97名



大田区エアロビック連盟

団体概要

設 立 平成10年 4月30日
 体協加盟 平成10年 8月 1日
 会 長 松本やよひ
 理 事 長 田村 弥生
 事 務 局 〒145-0066
 大田区南雪谷4-9-2 松本方
 TEL 03-3727-8613

登録団体数 1 団体

登録会員数 40名

H P : Facebook 大田区エアロビック連盟

10年間のあゆみ

インストラクターの田村です。エアロビクスとの出会いからお話します。

当時大人気だったTV番組「スター誕生」のオーディションに行き、テレビ出演まで進み、グランドチャンピオンを受賞してしまいました。あの頃はアイドル時代ですが所属した事務所では、菅原洋一さんのディナーショーに出演させて頂いたり、宮川泰さんのコンサートにゲストボーカルとして出演させて頂きました。事務所のレッスンとしてジャズダンスを習わされたのですが、ダンススクールでの友達がエアロビクスのインストラクターをしていたことで、フィットネス業界と関わることになりました。続けるにはインストラクターになれば良いと思い、資格を取りました。当時は音楽活動がメインでしたがインストラクター業を続けているうちに歌うことと似ている！ 声を出すこと、身体の使い方、テンションを上げて生徒さんをリードしていくことは、ライブでどうやってお客様を盛り上げていくか、と同じ。

出会った頃のエアロビクスは若い人に限定されるようなスポーツクラブ・スタジオレッスンの花形でしたが、私には若干の疑問がありました。年齢層を問わず、誰でもが楽しんで、健康に有意義なスポーツでなければいけない。基本は歩くこと。無理なく自分のペースで！続けることが大切！そして何より楽しくないと！あれから21年が過ぎ、また10年前からは90歳の高齢の方も参加できる、椅子体操プログラムのレッスンも始めました。笑顔の絶えない楽しい内容でありながら・・・全身を使って筋肉を刺激していき、最後は大きな声を出して腹筋強化とスト

レス発散を目的としたものです。エアロビクスは多くの人が一諸に楽しめる素晴らしいスポーツです。これからも受け入れて頂けるよう、活動を続けて参ります。

10年間の主な記録

平成23年 9月 大田区体協より永年勤続功労者表彰
 山本 直子
 平成27年 9月 大田区体協より体育功労者表彰
 田村 弥生
 平成28年10月 東京都スポーツ功労者表彰
 松本やよひ

今後の展望

エアロビクスは有酸素運動のひとつです。徐々に心拍数を上げ下げすることで心肺機能・持久力を高め、筋コンディショニングやストレッチにより全身の筋肉を維持・発達させながら無駄な脂肪は落としていくという優れスポーツですが、最近は人気が下がり、区民大会の参加者は下降線・横這い状態です。参加者を増やしたい、が課題です。

年間行事予定表

5月 春季区民スポーツ大会

9月 秋季区民スポーツ大会

10月 区民スポーツまつり

毎週水曜日 矢口区民センター

ソフトエアロビクス 13:15~14:15

椅子体操 14:30~15:15

区民スポーツ大会春季エアロ



大田区空手道連盟

団体概要

設立 昭和42年3月
 体協加盟 昭和45年3月
 会長 今松 光典
 理事長 内藤 正幸
 事務局 〒144-0055
 大田区仲六郷3-12-7-502
 中村 尚睦
 TEL 03-5703-8993
 登録団体数 11団体
 登録会員数 480名（小・中学生290名含）

10年間のあゆみ

空手道連盟の節目の年、結成50周年を迎える。

これまで会長、名誉会長として連盟をご指導いただいた伊藤昭先生も74歳となられ、第一線を後輩にゆだねられた。また、長年にわたり会長を勤めていただいた斉藤美代吉先生、事務局を支えていただいた奥東隆先生が他界され、ひとつの時代の終わりを感している。そうした中、連盟の役員も若い世代へと移行するとともに、三団体が新しい仲間として参加し新しい大田区空手道連盟を迎えようとしている。また、悲願であったオリンピックの正式種目に空手道が選ばれ東京大会から競技が開催される。若い空手の選手たちが増える中、大きな目標が出来大変うれしい事と思っています。現、今松光典会長がスペインの世界大会で準優勝を飾ったように選手たちの奮闘を期待したい。

大田区の近年の区民スポーツ大会は、小中学生を中心とした大会となり、未来の若手選手を育てる大事な大会となっている。また、区民スポーツまつりも同じような傾向であり、生涯スポーツとしての役割と世界で羽ばたく選手を育てるため、連盟一丸となり奮闘する決意である。

10年間の主な記録

《都民体育大会》

- ・第62回大会 第4位
- ・第64回大会 女子優勝

(女子の部・新設)

- ・第65回大会 女子優勝（二連覇）
- ・第66回大会 男子8位
- ・第68回大会 女子準優勝 男子5位

- ・第69回大会 男子5位
- ・第70回大会 女子優勝

今後の展望

連盟としては、区民に幅広く親しまれながら、健全な生涯スポーツと青少年育成をめざすとともに世界で活躍する選手の輩出をはかりながら、武道としての空手道を目指し、次の課題に取り組んでいく。

1. 次世代を担う小中学生の底辺の拡大をはかるために、区民スポーツ大会や区民スポーツまつり等を組織的に取り組む。
2. 未加入団体の連盟への参加を呼びかけ、連盟の活性化と組織の充実を図る。
3. 審判員の確保と育成のため、審判講習会を開催する。
4. 各会派との交流を図りながら強化練習を組み全日本、国際大会などで活躍する選手の育成強化に取り組む。

年間行事予定

- 4月 総会・都民大会強化練習・結団式
- 5月 理事会・都民大会
- 6月 区民スポーツ大会春季空手道大会
- 7月 東京都小中学生大会・シニア大会
- 9月 審判講習会・東京都選手権大会
- 10月 区民スポーツまつり
- 11月 区民スポーツ大会秋季空手道大会
- 12月 全日本選手権大会
- 3月 都民大会選手監督選考・国際セミナー



大田区弓道連盟

団体概要

設立 昭和27年4月
 体協加盟 昭和27年4月
 会長 小山 孝昭
 理事長 古田 健一
 事務局 〒143-0014
 大田区大森中2-2-18-704
 山口 忠重
 TEL 03-5493-8578

登録団体数 2団体

登録会員数 224名

HP：大田第一支部ホームページ「ゆみびより」

<http://www.hws6.spaags.ne.jp/otaichi/>



10年間のあゆみ

諸先輩方の労苦の上に連綿として活躍を続けて来た大田区弓道連盟も既に65年間の歴史を持ちます。

平成18年を迎える頃、長年懸案の第一京浜国道(15号線)の拡幅計画がいよいよ具体化し、梅屋敷公園の大部分の取壊しが決定となると園内の弓道場解体も当然日程に上りました。加えて隣接する京急電鉄の高架化工事に関連して道場を高架下に設置する案なども囁かれ、大田区弓道人の不安と心痛は極まりつつありました折あたくも建設以来40年を経て老朽化した大田区体育館の新規建替え計画が明らかになり、区弓連としては新体育館への弓道場併設要望の方針を決定。全員一丸となって行政および教委関係者への具体的な提案と要請を粘り強く推進し続けました。その結果、平成24年(2012年)6月に大田区総合体育館別館内の弓道場完成をみるに至り、将来にわたる大田区弓道の新たな礎を築き得ました。

年間行事一覧にみるように様々な事業を実施していますが、特に初心者弓道教室には毎年数十名の応募者があって修了後の定着率も高く、区弓連会員の主力となっています。この傾向は今後もずっと続くものと思われま

10年間の主な記録

都民体育大会

平成19年5月 男子の部 3位
 平成20年5月 男子の部 優勝(通算4回目)
 平成24年5月 男子の部 優勝(通算5回目)
 平成25年5月 女子の部 優勝(通算2回目)
 平成26年5月 男子の部 優勝(通算6回目)
 平成27年5月 男子の部 優勝(通算7回目)
 平成29年5月 男子の部 準優勝

国民体育大会

平成22・26・27・29年 女子の部 吉村智子

全日本選手権大会

平成25年 女子の部 沼里恵子
 平成29年 女子の部 田島いづみ

全日本遠的選手権大会

平成19年 畝本孝志 三村 聡
 平成20年 小山孝昭 畝本孝志
 平成22・23年 畝本孝志
 平成24年 畝本孝志 藤岡典子
 平成25年 畝本孝志 中嶋一貴 藤岡典子
 平成27年 張間 憲 小山孝昭
 平成28年 畝本孝志

今後の展望

弓道は現今の世相を反映して、社会スポーツ、生涯スポーツ活動の面が重要視されるようになって来ています。「礼に始まり、礼に終わる」は全ての武道スポーツの基本ですが、老若男女が礼を媒介として一堂に集い、切磋琢磨して技を磨き、体力・気力作りに励む姿勢は人間形成の観点からも大切な基本が宿っているものと考えます。

単に的中でてるだけではない。弓道の持つ奥深い効用は、五十年後、百年後にも続く人作りを展望しています。

年間行事予定表

1. 区民スポーツ大会・弓道(春季、秋季)
2. 初心者弓道教室開講 毎年5月開始
3. 都民体育大会・弓道
4. おおたスポーツ健康フェスタ・弓道体験コーナー
5. 都民生涯スポーツ大会・弓道
6. 区民スポーツまつり「和弓でのあて」コーナー
7. シニア健康スポーツフェスティバル東京・弓道
8. 新年射会
9. 区民弓道遠的大会(6月、3月)
10. 区内親善射会 毎月1回
11. 全日本弓道連盟、東京都弓道連盟、東京都弓道連盟第二地区に関係する各種大会、審査、研修会、講習会など

大田区クレ－射撃連盟

団体概要

設 立 昭和36年8月
 体協加盟 昭和37年4月
 会 長 板倉 幹夫
 理事長 飯島 保道
 事務局 〒146-0095
 大田区多摩川 2-22-9
 板倉 幹夫 方
 TEL 03-3759-2201

登録団体数

登録会員数 63名

H P : <http://www56.biglobe.ne.jp/ocpsf/>

10年間のあゆみ

大田区体育協会の創立70周年記念、おめでとうございます。

当連盟も体育協会に加盟して、50年以上の半世紀が過ぎました。

あまり馴染のないクレ－競技の説明をします。

クレ－射撃競技は、散弾銃を使用してルールに適合した放出機より皿状の標的を（クレ－ピジョン）を射撃して破碎された数を得点として競う競技です。

その競技の歴史は、古くヨーロッパを起源として、凡そ百年近い昔より行われ、現在に引き継がれています。競技には、トラップ射撃とスキート射撃があり、スキート射撃の歴史は、少々浅いが、トラップ射撃とは別にアメリカで考案され現在に至っています。

散弾銃は、狩猟に用いられますが、所持するには、銃刀法で規制されていますので、所持する人も増加が見込めず、散弾銃の事件などを契機として取締も厳しくなっています。

このような中で、会員もこの10年間減少傾向にあります。このような状況で、当連盟は、区民スポーツ大会や都民体育大会などを運営、参加をし活動しております。都民体育大会では、後記のとおり成績をあげております。銃の規制という厳しい環境の中でも、なんとか会員が一丸となってクレ－競技に努めているところです。



◀トラップ射撃待機姿勢



▼スキート射撃の待機

10年間の主な記録

【都民体育大会の成績】

- 61回（平成20年度）8位
- 62回（平成21年度）7位
- 66回（平成25年度）7位
- 67回（平成26年度）3位
- 68回（平成27年度）6位
- 69回（平成28年度）4位

今後の展望

狩猟及び射撃スポーツは、欧米では非常に盛んなスポーツであるが、残念ながら日本では、所持規制が厳しい為一般に浸透せずマイナーな域を出ない競技です。

オリンピックを始め世界選手権、アジア大会、ワールドカップ、国内に於いても国民体育大会等の正式種目であり過去、現在共に世界で活躍する日本人も多いです。

近年、人里にも熊、猪その他、外来種を含む鳥獣が増えすぎて被害が増大し駆除に頭を悩ませている地方自治体も多いが、ジビエ料理も一般的に成りつつある現在、狩猟スポーツに依る野外鳥獣生存数の適正も考え、是非愛好者を募りたいものです。

年間行事予定表

- 体育協会の年間行事に参加
- 春秋2回の区民杯°-ツ射撃大会を開催
- 他に年2回連盟主催射撃大会
- 都民大会、連盟対抗戦の各団体競技に出場

大田区ゲートボール協会

団体概要

設立 昭和57年 5月
 体協加盟 昭和57年 9月
 会長 橋見 久夫
 理事長 西山 きみ
 事務局 〒145-0074
 大田区東嶺町25-11
 高橋 渥 方
 TEL 03-3754-2266

登録団体数 28クラブ

登録会員数 198名

10年間のあゆみ

平成22年7月 南関東地域ジュニアゲートボール大会を大田スタジアムで行う
 平成22年12月 西山實理事長逝去
 平成24年4月 創立30周年記念式典を東急イン大森で行う
 平成24年11月 創立30周年記念大会 大田スタジアム 都内20チームとの招待試合
 平成26年9月 故西山副会長追悼杯大会が都内90チーム集合し、駒沢オリンピック公園球場にて行われ、大田区より多くのチームが参加した
 平成27年5月 総会にて協会のより活性化と底辺拡大に向け協会運営を毎月定例化 常任理事会にて起案・理事会にて事業の具体化・実施等へ
 平成29年11月 都聴覚障害者連盟主催のゲートボール大会が大田区にて開催され大田区の審判団と役員が運営に協力

10年間の主な記録

区民スポーツ大会 各大会の優勝チーム

平成18年 春 入新井 桜
 秋 下丸子ことぶき会
 平成19年 春 羽田ふれあい会
 秋 千東百寿会
 平成20年 春 南一長寿会
 秋 道々橋長寿会
 平成21年 春 宮本六寿会
 秋 道々橋長寿会
 平成22年 春 高畑明朗会
 秋 道々橋長寿会

平成23年 秋 道々橋長寿会
 平成24年 春 下丸子ことぶき会
 秋 南一長寿会
 平成25年 春 フタバクラブ
 秋 すずらんGBクラブ
 平成26年 春 羽田長寿会
 秋 赤とんぼ
 平成27年 春 南三クラブ
 秋 南一シニアクラブ
 平成28年 春 赤とんぼ
 秋 南一シニアクラブ
 平成29年 大森第一東寿会
 すずらんGBクラブ

今後の展望

創立以来永年ご尽力されてきた故西山前理事長の念願だった区民の愛好者仲間を若年層まで……裾野を広げる事業を今後も引き続き行うため協会全員の力を結集していきたい。

年間行事予定表

1. 総会
2. 常任理事会
3. 理事会
4. 事業
(競技大会)
- ①大田区労連ゲートボール春・秋大会
- ②トリプル競技大会 (平和島・六郷土手会場)
- ③大田区春・秋季ゲートボール大会
- ④大森警察ゲートボール大会 (主管)
- ⑤親善旅行 (白子温泉ゲートボール場) 年2回
- ⑥都内地区招待ゲートボール大会
- ⑦城南ブロックゲートボール大会
- ⑧オール東京選手権GB大会
- ⑨レディース大会
(派遣・協賛)
- ①大田区子どもガーデンパーティー (平和島)
- ②都民体育大会結団式
- ③城南ブロック総会出席
- ④都民体育大会解団式
- ⑤大田区スポーツ大会総合開会式
- ⑥大田区スポーツまつり (多摩川会場)
- ⑦O T Aふれあいフェスタ (平和島)
- ⑧東京ゲートボール連合・会議等参画
(研修)
- ①審判研修会実技 (六郷土手)
- ②審判研修会ルール (集会室等)
- ③審判員1級・2級取得試験参加
- ④審判員3級試験参加

大田区剣道連盟

団体概要

設立 昭和28年4月
 体協加盟 昭和28年4月
 会長 中村 槐二
 理事長 島村 照男
 事務局 〒145-0062
 大田区北千束1-8-14
 川名 賢充
 TEL 03-5726-8142
 登録団体数 48団体
 登録会員数 級会員 約400名
 有段者会員 621名
 HP : <http://ota-kenren.net/>

10年間のあゆみ

平成21年11月、相生剣友会・都南剣友会・全日本剣道連盟少年剣道教室奨励賞受賞。

平成23年4月、西岡寛治・中村槐二・湯川岩雄・荒川春男が都剣連60周年表彰、11月大田区剣道連盟60周年記念大会挙行、12月大田区剣道連盟60周年記念式典を行う。平成24年5月、豊村東盛八段が剣道範士を授与、大田剣連師範として全剣連の重要指導事項を講習会で伝達し正しい剣道の普及を図る。医師である大久保康一副会長に医務担当として試合、稽古に於ての怪我等にアドバイスを頂き安全対策の向上を図る。平成26年4月、会則を改定し、剣道理念に沿った解かり易い会則に修正した。平成27年、西岡寛治会長勇退、名誉会長に就任、中村槐二理事長が会長に、島村照男副理事長が理事長に就任、三役会議を構成し問題点と将来の方向性を見出す。

10年間の主な記録

平成20年7月全国家庭婦人大会都A組優勝、9月寛仁親王杯八段選抜大会、豊村東盛3位、10月城南四区親善試合、大田剣連優勝、平成21年4月、全日本選抜八段大会、豊村東盛ベスト8。9月都民生涯スポーツ大会優勝、12月都剣道形大会、三段以下の部ベスト8。平成22年5月、都女子年齢別親善大会70歳以上の部優勝、9月都民生涯スポーツ大会、準優勝、平成23年4月全日本選抜八段大会、豊村東盛第3位、11月城南四区親善試合、大田剣連優勝、平成24年3月、東京都少年剣道大会Bチーム準優勝、9月都青年大会、男子3位、9月都民生涯スポーツ

大会3位、平成25年9月都民生涯スポーツ大会、優勝、9月都青年大会、女子第3位、10月シニアスポーツ大会、荒川春男、優勝、11月城南四区親善大会優勝。平成26年7月、全日本都道府県対抗女子大会、飯田通子、宮坂七海出場、9月都青年大会女子、優勝。27年1月、都剣道形大会準優勝、8月都剣道形大会、六・七段の部、準優勝、9月都青年大会、女子優勝、9月都民生涯スポーツ大会、優勝、9月城南四区大会、大田剣連優勝3連覇、平成28年、3月都少年大会Aチーム3位、5月都民体育大会3位、5月都女子年齢別大会、有川薫3位、7月全日本都道府県対抗女子大会、荻津麦子ベスト8、9月、都青年大会女子の部優勝3連覇、9月都民生涯スポーツ大会優勝2連覇

今後の展望

少子化の影響に依る会員減は危惧されるが、女子会員の増加でそれを充分補っている、元々大田剣連は女子剣士の活躍は素晴らしく、女子高段者の指導員も多い、女子特有の優しさ、粘り強さ、親しみ易さで若年女子層に慕われている事が女子会員の増加の一因に成っており厳しい中にも楽しみを見いだしていると思われる。若年層強化を図り講習会、稽古会を増やしたいが、大田区には武道専用道場が無い為、50名から80名位の稽古会、講習会開催に苦勞している。高校の体育館開放を期待しているがセキュリティ等の問題で現在は借用出来ない現状である。青少年健全育成、地域社会への貢献を目差しており再考を願いたい、年間を通して毎日曜、祝日に朝稽古会に借用している雪谷中学校体育館のお陰で毎年多数の高段者を輩出しております。しかしながら老朽化が進んでおり心配しております。

年間行事予定表

5月	初段～三段審査会・連盟定例役員会
6月	大田区春季区民スポーツ大会
8月	ジュニア、指導者、城南ブロック講習会
9月	一級審査会
10月	城南四区親善大会、段別試合
11月	初段～三段審査会、 大田区秋季区民スポーツ大会
12月	四支部親善試合
2月	宿泊研修会
3月	一級審査会・指導者講習会 朝稽古会、毎日曜・祝日

大田区硬式野球連盟

団体概要

設立 昭和50年4月
 体協加盟 昭和58年7月
 会長 村岡 康二
 理事長 長島 守明
 事務局 〒236-0035
 神奈川県横浜市金沢区大道2-8-20
 長島 守明
 TEL 045-784-3553 (070-3668-0402)

登録団体数 4 団体
 登録会員数 中学部 200名・小学部 50名
 HP : <http://sharku-boys.jimbo.com/>

10年間のあゆみ

各チーム（所属連盟）の継続した活動から、大田区での硬式野球は、リトルリーグ・リトルシニアリーグ・ボーイズリーグ・ポニーリーグと4団体で活動し、実績もさることながら全国的に見てもトップクラスの力量に成長することが出来ました。大田区主催の行事（土手の清掃等）や体育協会主催の行事（野球まつり・スポーツまつり）又、各種研修会においても各団体が積極的に参加し少年硬式野球の魅力にも繋ぐ事が出来ました。又、各チーム独自の開催の野球教室や体験会の開催で硬式野球の発展に尽力を尽くし、青少年育成も含み今後とも更なる発展に繋げて行く所存です。

10年間の主な記録

〈大田リトルリーグ〉

平成19年 2度目の全国選抜大会出場

平成29年 東京連盟春季大会第三位

〈大田シニアリーグ〉

平成15・16年 日本選手権大会 2年連続ベスト8

平成29年 東京支部夏季大会 準優勝

〈大田水門ボーイズ〉

平成24年～ 東日本選抜大会5年連続出場

平成27年 東日本選抜大会ベスト4

全国大会出場 春季選抜～3回 夏季選手権～1回

平成26年 横浜市長旗大会 優勝

平成27年 板橋区長杯 優勝

〈羽田アンビシャス〉

平成24年 関東連盟秋季大会ベスト8

平成26年 第38回関東連盟春季ポニー大会 優勝

平成27年 全日本選手権大会ベスト8

今後の展望

少子化に伴う、野球離れが目立ち年々野球人口減少傾向が見られる様になり野球の魅力が薄れてきた感がするので、現在の4団体が協力して、この現象に何とか歯止めをうたねばならない。例えば体験会開催参加の学童の従来5年生～6年生対象を今年度からは3年生以上に変更し、低学年にターゲットを絞り、現在優先的にお借りしているグラウンドで月に2回程度継続的に野球教室を開催し親子で参加できる簡単なボール遊び等の企画を立案し各団体でのHPでの呼びかけ、区報や体協の媒体も活用しながら野球の魅力を呼びかけていきたい。

年間行事予定表

※各団体下記のような活動を実施いたします。

2月～春季全国大会支部予選大会

3月～春季全国大会

4月～関東大会予選

5月～関東大会

6月～ジャイアンツカップ予選大会

8月～日本選手権大会

ジャイアンツカップ大会

各地方大会の開催

9月～新チームによる大会

10月～秋季大会

東日本選抜大会

11月～各地方大会



大田区ゴルフ連盟

団体概要

設立 平成6年4月
 体協加盟 平成8年8月
 会長 古岡 伸
 理事長 大久保 二郎
 事務局 〒143-0022
 大田区東馬込1-24-13
 川本 百合子
 TEL 03-3776-7296

登録会員数 400名
 男子 320名
 女子 80名

10年間のあゆみ

始めに、貴協会におかれましては、めでたく創立70周年を迎えられました事、心より御祝い申し上げます。

私共も貴協会に加盟以来21年を経過した事を考えますと役員一同協力して事に当って来た結果と改めて感激しております。

当初の加盟人数よりは減ってはおりますが、年4回行われる大会は、以前にも増して好評で良い雰囲気の中楽しく行われています。

10月の都民体育大会には、選ばれた男女5名づつが大田区の代表としてお力になれるよう懸命に頑張っております。

又、毎年11月に平和島で行われる「OTAふれあいフェスタ」で新加盟者の募集とバザーに依る運営資金の獲得に向けて役員全員努力しています。以前は初心者のゴルフ教室やパター戦等行っていましたが、エリアの縮小により中止しております。

貴協会の御指導のもと、ジュニア育成強化にも副会長田中誠プロを始めとして男女役員が指導して講習会を開催しております。

今後も私共協力し合って、競技としての技術の向上は勿論の事、区民の皆様にも認めて頂けるゴルフ連盟として末永く運営に努力してまいります。

10年間の主な記録

東京都民体育大会 団体戦		男子	女子
第64回	平成22年8月		1位
第66回	平成24年10月	1位	2位

第67回	平成25年10月	18位	1位
第68回	平成26年10月	11位	4位
第69回	平成27年10月	9位	3位
第70回	平成28年10月	8位	2位

今後の展望

新規加盟者募集の広報活動を充実させる事、ジュニアの為の講習会や競技会を定期的で開催する。会員の高齢化と共に、大会開催のバス送迎の必要性等、健全なスポーツとして、楽しみながら体位向上も計れるゴルフの存続の為に気を新たにして運営に努力してまいります。貴協会の御指導の程、何卒末長く宜しくお願い申し上げます。

年間行事予定表

3月	ジュニア講習会
4月	大田区春季区民スポーツ大会
7月	大田区アマチュアゴルフ選手権
8月	ジュニア講習会
10月	東京都民体育大会
10月	大田区秋季区民スポーツ大会
1月	大田区新年スポーツ大会



大田区サイクリング連盟

団体概要

設 立 昭和27年12月
 体協加盟 昭和27年12月
 会 長 田淵 裕一
 理 事 長 佐藤 桂一
 事 務 局 〒145-0065
 大田区東雪谷3-25-13
 木藤 国照
 TEL 03-3728-8753
 登録会員数 59名

10年間のあゆみ

当連盟は、戦後間もない昭和27年の設立である。当時、自転車は貴重な交通手段の一つであり、貴重な財産であったはずである。自動車の数も少なく、街中を爽快に疾走していた先人が、グループで走ることに楽しさを見出し、大きな輪となった。これが、大田区サイクリング連盟の礎となったのではないだろうか。何せ、今から65年も前の出来事なので、詳しいことはわからない。

さて、この10年間の出来事であるが、これは、どこの連盟でも抱えている問題であろうと思われるが、役員の高齢化と役員になり手がいないという問題である。

多摩川のサイクリングロードに行くと、若者が高そうなロードバイクにまたがり、疾走している姿を見かける人も多いと思う。若者だけではない。中年から高齢者まで、自転車走行を楽しんでいる者は多い。我々の仲間の中には、輪行（自転車を電車などである目的地まで運び、そこで走ること）で一日80キロも走る70歳以上の強者もいる。しかしである。仲間同士で楽しむことはあっても、組織に入って活動してくれる人たちは少ない。そんな時代になった。

当連盟では、この10年間で会長が3人変わった。会長が変わっただけではない。連盟の存亡に危機が訪れたのだ。6年前に、事務担当者が辞めたからだ。どこの連盟も同じだと思うが、事務担当者はある程度の事務処理能力が必要だ。体育協会との事務手続きもあるし、連盟内部の事務処理もある。事務担当を簡単に引き受けてくれる者はいない。事務担当がいなければ組織の存続は難しい。連盟解散という判断もされた。しかし、60数年続いた組織を潰すわけにはいかない。



当時の体育協会の数名の理事さんが動いた。事務担当者がようやく見つかった。そして、解散の危機は免れた。

ということもあったが、何とか連盟としての活動を続けることができている。

今後の展望

連盟の役割は、自分だけがただ楽しむことではない。サイクリングの面白さや安全に自転車に乗る方法など、区民に広めて行くことが重要な役割だと認識している。先日行われた春の自転車走行会には、警視庁池上警察署の交通安全課の方々に来ていただき、講和をいただいた。手軽な乗り物だが、反面とても危険な乗り物でもある。毎年行う走行会を中心に、これらのことを伝えたい。

年間行事予定

<春季走行会>

6月の第一日曜日 雨天の場合は次週の日曜日
 ガス橋下集合→東高根森林公園→多摩川せせらぎ館
 <秋季走行会>

10月の第一日曜日 雨天の場合は次週の日曜日
 ガス橋下→宝来公園→九品仏→次太夫堀公園



大田区サッカー協会

団体概要

設立 昭和35年4月1日
 体協加盟 昭和35年
 会長 大前 卓也
 理事長 草刈 勝
 事務局 〒146-0082
 東京都大田区池上1-29-8 (桜印刷内)
 FAX 03-5700-2860

登録団体数	一般部	1部	10チーム
		2部	25チーム
	シニア部	1部	10チーム
		2部	8チーム
		3部	8チーム
		O50	7チーム
		女子部	10チーム
	ユース部	10チーム	
	Jrユース部	10チーム	
	少年部	U-12	49チーム
		Jr	52チーム
	プリティ (少女)	2チーム	

登録会員数 約4500名

HP : <http://www.tokyo-ohita-fa.com/>

10年間のあゆみ

大田区サッカー協会は、2020年東京オリンピックの年、60周年を迎えます。この10年、各カテゴリーを網羅した組織に発展して来ました。特筆すべきは都民大会での2回の優勝です。少年部でサッカーをはじめた大田っ子たちが、社会人となり大田区代表選手として活躍しております。また、シニアの競技人口が増加。一般部からシニア部への移行、オーバー50リーグの新設に至りました。

10年間の主な記録

都民体育大会

平成24年度 第3位
 平成25年度 優勝
 平成26年度 第5位
 平成27年度 優勝
 平成28年度 第3位
 平成29年度 第5位

その他の大会においても各部の代表選手が好成績をおさめております。



平成27年度 優勝 (平成27年6月7日)

今後の展望

生涯スポーツとして、幅広い年齢層が競技を楽しむ環境づくりが更なる発展の課題となります。

年間行事

- ① 各部の大会の開催と運営
- ② 審判 (新規、更新) 指導者講習会の開催
- ③ 区民スポーツまつりへの協力
- ④ 各部のセレクションによる代表選考及び強化
- ⑤ ジュニア育成地域推進事業

4月 総会・都民体育大会 (大田区代表選手派遣)
 7月 区市町選手権大会 (一般クラブチーム)
 10月 区民スポーツまつり (サッカー教室)
 11月 4級審判員更新講習会
 1月 4級審判員新規取得講習会
 D級指導者取得講習会
 東京カップ (天皇杯予選・一般クラブチーム)

主な主催大会

一般部	1部・2部リーグ戦
シニア部	1～3部リーグ戦
オーバー50	リーグ戦
女子部	ママリーグ戦 フットサル大会
ユース	武田杯
Jrユース部	ジュニアユースリーグ戦 ジュニアユース大会
少年部	U12リーグ戦 (5・6年生主体) ジュニアリーグ戦 (4年生) 2年生・3年生ロータリー大会 1年生大会 会長杯 (6年生) 大田区長杯 (6年生お別れ大会) 榎木杯 (少女U10・U12)

大 田 区 柔 道 会

団体概要

設 立 昭和24年1月15日

体協加盟 昭和24年1月

会 長 吉井 利夫

理 事 長 阿部 達夫

事 務 局 〒144-0034

大田区西糞谷4-14-11 吉井利夫方

TEL 03-3742-2966

登録団体数 27団体

登録会員数 一般 約100名

少年 約300名

10年間のあゆみと主な記録

- ① 平成20年10月、「生涯スポーツ優良団体」として文部科学大臣表彰、受賞。
10月、全日本形競技大会で、古式の形（取）佐藤良吉（北区）、（受）米重清光が優勝。
大田区柔道会創立60周年記念・第61回秋季柔道大会開催（大森スポーツセンター）。記念誌完成。
- ② 平成21年12月、東京都24地区対抗柔道大会で、42年振りに大田区チーム1部優勝。
- ③ 平成22年10月、全日本形競技大会で、古式の形（取）井上康彦（栃木）、（受）米重清光が優勝。
12月、東京都24地区対抗柔道大会で、大田区チーム1部準優勝。
- ④ 平成23年5月、安全指導講習会（講師は浅野哲男氏。大田区生活センター）開催。
- ⑤ 平成24年7月、城南地区柔道高段者大会兼段別大会開催（大森スポーツセンター）。
8月、全国高等学校柔道大会で、日体荏原高等学校が団体戦準優勝。
- ⑥ 平成25年10月、全日本形競技大会で、古式の形（取）井上康彦（栃木）、（受）米重清光が準優勝。
11月、世界ベテランズ柔道選手権大会（アブダビ）で、宮本功三、73kg級（M3クラス。40～44歳）3年連続の優勝。
- ⑦ 平成26年12月、東京都24地区対抗柔道大会で、大田区チーム2部準優勝。
- ⑧ 平成27年12月、東京都24地区対抗柔道大会で、大田区チーム1部準優勝。
- ⑨ 平成28年3月、全国高等学校柔道選手権大会（日本武道館）の団体戦で、日体荏原高等学校、初優勝。

3月、同大会の81kg級で、藤原崇太郎（日体荏原高等学校）、2連覇。

3月、醍醐敏郎十段、「大田区区民等特別表彰」（主催：大田区）を受賞。

8月、全国高等学校柔道大会（島根県立浜山体育館）で、日体荏原高等学校は団体戦で準優勝。

11月、IJF世界グランドマスターズ柔道選手権大会（アメリカ・フォートローダーデール）73kg級（M4クラス。45～49歳）で、宮本功三、優勝。

- ⑩ 平成29年7月、城南地区柔道高段者大会兼段別大会（大森スポーツセンター）開催。

今後の展望

少子高齢化と中堅・若手役員の不足。少ない子どもたちが何のスポーツを行うか。保護者（とくにお母さん）は何をもって自分の子どもにスポーツをやらせるのか。柔道がもつ礼儀正しさや自分の体を守る受身。それが柔道の魅力や素晴らしさとして伝わっているのだろうか。伝えている努力は見えているだろうか。仕事や生活に追われ、柔道を通しての教育や交流事業になかなか足を向けられなくなった中堅・若手役員候補。一緒に気持ちのよい汗を流し、自分が忘れかけていた柔道の素晴らしさをもう一度、感じてほしいものだ。

年間行事予定表

- ① 定期総会、常任理事会、昇段審査会・形講習会合同練習会、審判講習会など、開催。
- ②（5月）大田区春季柔道大会
- ③（5月）都民体育大会柔道競技派遣
- ④（6月）大田区柔道段別選手権大会
- ⑤（10月）大田区秋季柔道大会
- ⑥（11月）大田区道場対抗柔道大会
- ⑦（12月）東京都24地区対抗柔道大会派遣



**NPO法人
大田区障がい者スポーツ指導者研究会**

団体概要

設立 平成13年1月
 体協加盟 平成26年4月
 理事長 森 相子
 事務局 〒143-0015
 大田区大森西 4-6-19
 TEL 080-8877-4406
 登録会員数 32名

10年間の歩み

障がい者、高齢者、高齢により障がい者伴ってしまつた方々が日常生活にスポーツを楽しみ、スポーツで健康維持、体力増進に繋がる様に活動をしています。各福祉園、作業所、老人ホーム、クリニック、障がい者支援サポートピア、水泳、筋肉、筋力年齢テスト、大田区散策歩こう会、また、大田区区民スポーツまつり、O T Aふれあいフェスタなどの事業にも参加しています。25年大田区玉入れ競技を考案し、26年体育協会に加盟し「春季、秋季大会」を行っています。団体の目標でもある障がい者、高齢者、一般の人達とスポーツ競技で戦える楽しさを実現でき、うれしく思っています。昨年は大田区70周年記念笑顔この町からのイメージソングでストレッチ体操を考案し、28年スポーツ大会開会式で披露いたしました。29年今年度は小学校へ障がい者とスポーツの関わり方の講義と、大田区玉入れ競技を指導してきました。

今後の展望

障がい者、高齢者、健常者、児童、色々なスポーツを提供していきたいと思っています。

年間行事予定表

- 4月 歩こう会
各福祉園、老人ホーム、その他指導
- 5月 大田区玉入れ競技大会
スポーツ指導
- 6月 スポーツバイキング
高齢者ボケ防止体操指導
- 8月 各福祉園まつり手伝い
スポーツ指導
- 9月 区民スポーツ大会開会式参加
スポーツ指導
- 10月 区民スポーツまつり参加
スポーツ指導
- 11月 O T Aふれあいフェスタ
スポーツ指導
- 12月 大田区福祉作業所スポーツ指導
- 30年
- 1月 福祉作業所スポーツ指導
- 2月 大田区福祉作業所スポーツ指導
- 3月 スポーツ指導



大田区少林寺拳法連盟

団体概要

設立 平成11年2月
 体協加盟 平成13年12月
 会長 河津 章夫
 理事長 南 充広
 事務局 〒146-0093
 大田区矢口2-21-16-932
 南 卓
 TEL 03-3759-2828

登録団体数 7団体
 登録会員数 一般の部 85名 少年の部 30名

10年間のあゆみ

- ・平成11年2月 所属6団体で大田区少林寺拳法連盟を発足する。
- ・平成20年5月 第61回都民大会11名出場
- ・平成20年9月 第61回区民秋季スポーツ大会
- ・平成20年10月 第25回区民スポーツまつり
- ・平成20年11月 全国大会：岡山 12名出場
- ・平成20年12月 大森第十中学校総合学習授業
- ・平成21年5月 第62回都民大会10名出場
- ・平成21年7月 国際大会：バリ 2名出場
- ・平成21年9月 第62回区民秋季スポーツ大会
- ・平成21年10月 第26回区民スポーツまつり
- ・平成21年10月 全国大会：青森 20名出場
- ・平成21年12月 大森第十中学校総合学習授業
- ・平成22年5月 第63回都民大会10名出場
- ・平成22年9月 第63回区民秋季スポーツ大会
- ・平成22年10月 第27回区民スポーツまつり
- ・平成23年1月 大森第十中学校総合学習授業
- ・平成23年5月 第64回都民大会 2名出場
- ・平成23年9月 第64回区民秋季スポーツ大会
- ・平成23年10月 第28回区民スポーツまつり
- ・平成24年5月 第65回都民大会 2名出場
- ・平成24年9月 第65回区民秋季スポーツ大会
- ・平成24年10月 第29回区民スポーツまつり
- ・平成24年12月 全国大会：神奈川 6名出場
- ・平成25年5月 第66回都民大会 3名出場
- ・平成25年9月 第66回区民秋季スポーツ大会
- ・平成25年10月 第30回区民スポーツまつり
- ・平成26年5月 第67回都民大会 6名出場
- ・平成26年9月 第67回区民秋季スポーツ大会
- ・平成26年10月 第31回区民スポーツまつり
- ・平成26年11月 全国大会：埼玉 4名出場
- ・平成27年5月 第68回都民大会 9名出場
- ・平成27年9月 第68回区民秋季スポーツ大会
- ・平成27年10月 第32回区民スポーツまつり

- ・平成28年5月 第69回都民大会 10名出場
- ・平成28年9月 第69回区民秋季スポーツ大会
- ・平成28年10月 第33回区民スポーツまつり
- ・平成28年10月 全国大会：大分 2名出場
- ・平成29年5月 第70回都民大会 10名出場

10年間の主な記録

- ・平成20年11月 全国大会：岡山
男子マスターズの部 最優秀賞(大上×野辺組)
- ・平成23年5月 第64回都民大会 男子8位
- ・平成24年5月 第65回都民大会 男子6位
- ・平成26年5月 第67回都民大会 男女共に2位
- ・平成26年11月 全国大会：埼玉
男子マスターズの部 最優秀賞(大上×野辺組)
- ・平成27年5月 第68回都民大会 男子4位、女子3位
- ・平成28年5月 第69回都民大会 男女共に2位
- ・平成29年5月 第70回都民大会 男女共に2位

今後の展望

少林寺拳法は創始70周年を今年迎え、東京進出60周年を迎えます。

少林寺拳法を創始した宗 道臣・初代師家によって、1947年10月四国多度津町に誕生しました。少林寺拳法を創始した動機は、戦争の敗戦の中で悲劇を感じ、「すべては人の質にある」ことを悟り、戦後の荒廃した日本で、青少年の育成に身を投じることを決意され、少林寺拳法と言う「人づくりの道」が誕生したのです。

少林寺拳法の目的とするところは、修行を通じて、自信と勇気と行動力を習得し、思いやりと正義感を養うことを目標にし、本当に強い人間を育てることにあります。強さだけではなく、少林寺拳法の本当の強さ(うぬぼれでない自信)優しさ、行動力を持って地域社会に貢献出来ること、平和で豊かな社会をつくる事を目的として、少しでも、多くの方に少林寺拳法の良さを知って頂き、青少年の育成に力を注いで行くことです。

また、大田区体育協会の力を借りながら、大田区少林寺拳法連盟の発展に務めてまいりたいと考えます。



2016年9月区民秋季スポーツ大会



2016年10月区民スポーツまつり

年間行事予定

- 5月 都民体育大会
- 7月 少林寺拳法東京都大会
- 8月 全日本少年少女少林寺拳法錬成大会
- 9月 大田区秋季区民スポーツ大会少林寺拳法演武大会
- 10月 大田区民スポーツまつり
- 10月 スポーツ少年団大会

大田区水泳協会

団体概要

設立 昭和26年7月
 体協加盟 昭和27年4月
 会長 川戸 慎一
 理事長 鈴木 耕司
 事務局 〒146-0093
 大田区矢口2-12-1-402
 稲葉 幸子
 TEL 03-3759-6512
 登録会員数 67名

10年間のあゆみ

当協会は昭和26年に水泳愛顧者等諸先輩により設立されてから、今年で66年を迎えます。10年前と同様に当協会の使命でもある「国民皆泳」「生涯水泳」の普及に力を入れてまいりました。

水泳教室の充実や都民体育大会への選手派遣、区民大会、スポーツ祭り実施などが主な活動です。

年間を通じて行われる水泳教室では初心者から上級者まで専門指導を行い、近年は会員数も増え中学生からの幅広い年代で活気溢れる教室となっております。

ここ数年の教室では、時代に沿った最新水中カメラを使用し会員各自の泳ぎを確認するビデオ上映会等を実施し、より一層の泳力向上に努めています。

健康のため、泳力向上のため、タイム更新など目的は様々ですが、皆で一緒に楽しく泳ぐことで継続的に水泳を続けることが一番の目標です。

また、協会設立当初から66回開催を数える区民水泳競技大会（区民スポーツ大会）では、屋外プールでの様々なコンディションの中毎年多数の新記録を樹立し、老若男女の参加者で賑わいをみせております。

当大会は日本水泳連盟のルールに則り行われていますが、ここ10年間でも高速水着の普及と廃止、最近ではバタフライ完全水没禁止など泳法ルールも年々変化しております。

また、男女混合リレーが新種目となり、昨年度より当大会でも実施されました。

今後も、新ルールの普及や周知に努めながら、より魅力ある大会づくりを目指したいと思っております。

10年間の主な記録

都民体育大会夏季大会水泳競技会における成績

平成19年（第61回大会）	女子8位
平成20年（第62回大会）	男子8位
平成21年（第63回大会）	女子8位
平成23年（第65回大会）	男子8位
平成26年（第68回大会）	男子8位 女子7位
平成27年（第69回大会）	男子6位
平成28年（第70回大会）	男子2位 女子7位



今後の展望

- 1 都民体育大会の選手発掘及び、大会順位の向上を目指す
- 2 「区民皆泳」・「生涯水泳」の使命を果たすべく一層の努力に努める。

年間行事予定表

4月	初心者水泳教室
7月	都民体育大会（水泳競技）選手団派遣
8月	都民生涯スポーツ大会
9月	大田区民水泳競技大会（区民スポーツ大会）
10月	初心者水泳教室 スポーツまつり
年間	水泳教室（初心者～上級）



大田区スキー連盟

団体概要

設立 昭和23年 3月

体協加盟 昭和23年 4月

会長 狩野 公明

理事長 高橋 弘樹

事務局 〒336-0837

埼玉県さいたま市桜区田島6-1-2-401

工藤 諭

TEL 048-863-0977

登録団体数 4 団体

登録会員数 男子 120名

女子 55名

10年間の歩み

大田区民スキー大会の主管と都民体育大会への選手派遣が主な事業です。

・区民大会 <区民スポーツ大会(冬季)>

平成20年～24年は六日町ミナミスキー場にて開催していましたが、スキー場の都合や雪不足のため会場を平成25年から五日町スキー場に変更しました。大会は回転競技2本の合計タイムで競います。参加資格は区内在住、在勤、在学者（高校生以下及び学連登録者は除く）です。

クラス分けは男子1部35歳未満、2部35歳～45歳未満、3部45歳～55歳未満、4部55歳～65歳未満、5部65歳以上、女子1部30歳未満、2部30歳～40歳未満、3部40歳以上で実施しています。



・都民体育大会成績

第61回（平成20年） 女子 3位

第62回（平成21年） 女子 2位

第63回（平成22年） 女子 2位

第64回（平成23年） 女子 3位

第65回（平成24年） 女子 2位

第66回（平成25年） 女子 3位

第67回（平成26年） 女子 3位

第68回（平成27年） 女子 2位

第69回（平成28年） 女子優勝

第70回（平成29年） 女子優勝

*残念ながら男子は、この10年間入賞なしです。



今後の展望

スポーツの多様化、雪国へ行かなくてはできないスキーの特殊性、高額な用具などからスキー離れ、スキー人口の減少が続いています。区民大会においても若いクラスの参加者は男女とも10人未満です。スキー環境は厳しい状況ですが、連盟は多くの区民の参加を求め、競技に限らずスキースポーツの楽しさ・魅力を普及するため体制を再構築したいと考えています。連盟に加入しないでサークルや個々で活動しているスキーヤーも多くいますので個人会員の加入の促進や、子供のころから雪に慣れるよう、スキーやボードで「滑る」楽しさを実感してもらうため子供向けのスキー教室などを開催し、スキー人口の底辺拡大を図りたいと思います。

年間行事予定

1月 大田区民スキー大会主管

3月 都民体育大会冬季スキー大会選手派遣

大田区スポーツ少年団本部

団体概要

設立 昭和49年11月
 体協加盟 昭和49年11月
 本部長 稲岡 弘子
 事務局 〒143-0016 大田区大森北4-16-5
 (公財)大田区体育協会内
 TEL 03-5471-8787
 山口 範昭 (自宅 TEL 03-3741-3089)
 登録団体数 16団体
 登録会員数 指導者 123名 団員 452名

10年間(直近)のあゆみ

大田区スポーツ少年団本部は創設以来日本スポーツ少年団の創設理念を基に心身ともに健全な少年を育成するため、活動してきました。

平成24年には、日本スポーツ少年団の創設50周年記念表彰にて六郷スポーツ少年団と大森ファイターズスポーツ少年団が優秀団に、指導者表彰では29名が功労者として表彰されました。平成25年には、東京都スポーツ少年団の創設50周年記念表彰にて、指導者23名が表彰されました。平成26年には、大田区スポーツ少年団創設40周年記念式典を盛大に実施致しました。平成28年には、東京都スポーツ少年団より、六郷スポーツ少年団、大田区なぎなたスポーツ少年団、南蒲レイカーズスポーツ少年団の3団が永年活動優秀団として表彰されました。

現在の登録単位団(16団)を紹介いたします。

軟式野球：

六郷スポーツ少年団

大森ファイターズスポーツ少年団

ゼットタイガー少年野球クラブスポーツ少年団

なぎなた：大田区なぎなたスポーツ少年団

ミニバスケットボール：

南蒲レイカーズスポーツ少年団

多摩川ミニバスケットボールスポーツ少年団

開桜MBCスポーツ少年団

リトルスターズスポーツ少年団

羽田レッドウィングススポーツ少年団

蓮沼ミニバスケットボールスポーツ少年団

バドミントン：

池上ジュニアクラブスポーツ少年団

水泳：矢口クレージークラブスポーツ少年団

少林寺拳法：

大田大森スポーツ少年団

少林寺拳法東京蒲田東スポーツ少年団

少林寺拳法大田洗足池スポーツ少年団

スポーツチャンバラ：

大田区護心スポチャンCBスポーツ少年団

10年間(直近)の主な記録

東京都競技別交流大会、東京都スポーツ少年団大会、城南ブロック競技別大会等に出場して好成績をおさめています。その中でも、上部の関東ブロック大会に出場した単位団を紹介いたします。

平成20年：大田空手道(空手)都選抜、池上ジュニアクラブ(バドミントン)都選抜

平成22年：大田空手道(空手)都選抜

平成23年：大田及び大森空手道(空手)都選抜

平成24年：池上ジュニアクラブ(バドミントン)都選抜

平成25年：大田空手道(空手)都選抜、リトルスターズ(ミニバスケットボール)

平成26年：大田空手道(空手)都選抜、池上ジュニアクラブ(バドミントン)都選抜

平成27年：ゼットタイガー(軟式野球)、池上ジュニアクラブ(バドミントン)都選抜、リトルスターズ・開桜MBC(ミニバスケットボール)

平成28年：大田空手道(空手)都選抜、池上ジュニアクラブ(バドミントン)都選抜、リトルスターズ(ミニバスケットボール)

今後の展望

各単位団の指導者と共に他地区団体との交流・情報交換を積極的に行い、子ども達に色々なスポーツを体験させ、スポーツの楽しさ、勝つ喜び、負ける辛さなどに触れて、健全な少年を育てるよう活動して行きます。

年間行事予定表

4月 役員会、総会

5月 城南ブロック競技別大会(軟式野球7月迄)

6月 東京都競技別交流大会
 スポー少年団指導者全国研究大会

7月 東京都競技別交流大会

9月 大田区体育協会 秋季 総合開会式

10月 大田区民スポーツまつり(体力テスト)

東京都スポー少年団大会

12月 中央・城南ミニバスケットボール大会

1月 東京都指導者研究協議会

2月 城南ブロック水泳記録会

大田区スポーツ少年団 団交流大会

毎月 指導者定例会(指導者協議会)

大 田 区 相 撲 連 盟

団体概要

設 立 昭和30年 9 月
 体協加盟 昭和30年 9 月
 会 長 中谷 人志
 理 事 長 奈良 繁夫
 事 務 局 〒144-0033
 大田区東糞谷6-8-7-607
 関口 貴光
 TEL 090-5412-5778

登録会員数 50名

H P : http://ota-sumou.cloud-line.com/_m/

10年間のあゆみ

当連盟は、元十両 郷錦の原田広次氏が昭和20年に開いた原田道場が元になっており、その後安藤道場となり、大田区相撲連盟として、発展してまいりました。

これまでの10年は、梅澤喜代造会長をはじめ、理事長及び理事のもと、わんぱく相撲への協力など青少年育成に寄与し、日本の国技であり文化でもある相撲の発展、普及に力を注いでおります。これまで、複数の大相撲力士が当相撲連盟から誕生しており、現在も現役力士として活躍しております。

平成28年6月には、当相撲連盟出身で元栃嵐の中谷健氏が代表の大田嵐連合道場を立ち上げ、新たな指導体制の構築を図り、大田区相撲連盟と共に歩んでおります。

また、これまでの稽古場でありました梅屋敷相撲場の閉鎖に伴い、平成29年4月には新たに平和の森公園内に室内型の土俵が誕生するとともに、大田区相撲連盟新会長に、アドバンストヘアーナカタニ代表の中谷人志氏が就任いたしました。



10年間の主な記録

平成22年4月 東京都中学生体重別選手権軽量級優勝
 平成23年4月 東京都中学生体重別選手権軽量級準優勝
 平成23年5月 わんぱく相撲大田区大会小学4.6年優勝
 平成26年4月 東京都中学生体重別選手権 軽量級準優勝
 平成26年4月 わんぱく相撲大田区大会小学6年優勝
 平成27年4月 東京都中学生大会 重量級優勝、軽量級女子優勝
 平成27年5月 わんぱく相撲大田区大会小学3、6年優勝
 平成27年10月 全国少年相撲大会団体ベスト16
 平成28年1月 白鵬杯 第3位 小学3年
 平成28年5月 わんぱく相撲大田区大会小学4年優勝
 平成28年6月 わんぱく相撲都大会 小学6年女子第3位
 平成28年9月 東京都女子相撲大会 小学6年準優勝、中学生準優勝
 平成28年12月 小学生優勝大会 全国大会進出 小学4年
 平成29年5月 わんぱく相撲4・5・6年都大会出場

今後の展望

大相撲人気が増える一方、相撲をやるという子どもは増える気配はありません。しかし、心技体を鍛え、単純明解かつ対戦相手に敬意を払う相撲ほど日本人に合ったものはないと思います。今後も一人でも多くの子どもが相撲に触れ、社会人になったときの生きる力を身に付けるべく日々稽古に精進してまいりたいと思います。

年間行事予定表

2月 白鵬杯出場
 5月 大田区春季区民スポーツ大会
 5～7月 わんぱく相撲
 7月 小中学生、青年等東京都大会
 7月 東京都総合相撲選手権
 8月 相撲部屋にて稽古
 8月 日本相撲協会進級式
 9月 女子相撲東京都大会
 9月 大田区秋季区民スポーツ大会
 9月 都社会人体重別選手権
 10月 全国少年相撲大会
 通年 相撲稽古・指導

大田区ソフティテニス連盟

団体概要

設 立 平成23年 6月
 体協加盟 平成26年 4月
 会 長 岩田 義弘
 事務局 〒143-0014
 東京都大田区大森中3-18-9
 岩田みちよ
 TEL 03-3762-5808
 登録団体数 9 団体
 登録会員数 200名
 H P : http://blog.livedoor.jp/ota_sofuren/

10年間のあゆみ

【大田区ソフティテニス連盟設立へ】

ソフティテニスは大田区発祥の体育館のバドミントンコートでプレイするニュースポーツで、ジュニアからシニアまで幅広く楽しめるスポーツです。

ソフティテニスを広めるため、それまで個別に活動していた各団体に声掛けをして、平成23年6月に大田区内の9団体を集い、ソフティテニスクラブ連絡会を発足しました。

当初は、社会教育委員会と体育指導員による協力で、年1回程度の大会が開かれていました。

平成26年1月に大田区ソフティテニス連盟と改め体育協会に加盟を申請し、同年4月に加盟いたしました。

体育協会加盟により、年2回（夏、冬）大会の開催、安定した会場の確保等ができるようになりました。



10年間の主な記録

当初から平成26年迄 年1回大会開催
 会場：出雲中学校と萩中小学校体育館
 大森スポーツセンター
 平成24年10月
 大田区総合体育館にて自主開催
 平成27年から現在
 夏、冬2回大会開催
 会場：大森スポーツセンター、大田区総合体育館

今後の展望

ソフティテニスは、生涯スポーツとしても大変向いていると思います。

年齢を問わずより多くの方に楽しんでいただく為に、初心者教室の開催、広報活動、他の地域への普及等に力を入れていきたいと思っています。



年間行事予定表

こらぼ大森地域スポーツクラブ指導員協力
 (H29年4月からH30年3月)
 東蒲小学校地域スポーツクラブ指導員協力
 (H29年4月からH30年2月)
 開桜小学校ソフティテニス教室運営
 (H29年7月からH30年2月)
 第70回区民スポーツ大会（春・夏季）開催
 ソフティテニス 主管 (H29年8月20日)
 大田区区民スポーツまつり運営
 (H29年10月9日)
 第70回区民スポーツ大会（秋・冬季）開催
 ソフティテニス 主管 (H30年3月11日)

大田区体育協会主催の各種行事等への参加・協力

大田区ソフトテニス連盟

団体概要

設 立 昭和23年 4月

体協加盟 昭和24年 4月

会 長 時任 宥幸

理 事 長 中村 光雄

事 務 局 〒146-0095

大田区多摩川 2-28-18-210

加藤 悟

TEL 03-3757-1708

登録団体数 25団体 小中学生は後援

登録会員数 433名 後援小中 423名

H P : www.ota-sta.seesaa.net

10年間のあゆみ

平成21年には、時任現会長が五代目会長に就任し、平成30年に創立70周年祝賀会を行う予定です。

1 都民体育大会女子16年振りの優勝

過去男子2回、女子1回の優勝のある都民大会、平成29年久し振りに、16年振りの優勝は平成30年に創立70周年行事に最高の花を添えてくれ、都民生涯スポーツ大会の24年から26年、全東京ママさん大会と連覇の活躍もありました。



2 若手育成強化への努力

平成18年に小中学生、19年に高校と東京都及び体育協会の力添えでジュニア育成地域推進事業に参加、減少の学校数や部員数の増加復活に力を注いだ10年。小中学生の区民大会単独開催を実現し、29年には、シニア（高齢者）の事業も開始し、まさに老若男女の生涯スポーツ育成に努めています。

近年、この事業の効果で、小中高の学生が全国

区での活躍を見せ、ここで育った子供達が大学卒業等し大田区に戻り貢献、今回の女子都民大会優勝の原動力となりました。近い将来には、男子も好成績が期待されます。

3 体育協会への協力

公益財団化で若返りを計った体育協会に当連盟石坂副理事長を理事に、中村理事長を競技力向上部会副部長に送り体育協会発展に協力します。

10年間の主な記録（平成20年～）

平成20年 創立60周年記念祝賀会挙行

21年 城南六区大会連盟主催で開催

〃 時任宥幸 会長に就任

〃 都民大会男子3位 女子5位入賞

23年 小・中学生区民大会開催実現

24年 都民生涯スポーツ大会優勝連覇

〃 時任会長東京都功労者都知事表彰受賞

27年 東京選手権に本間順、落合やよい優勝

28年 鈴木あきひろ都会議員連盟顧問に就任

29年 都民大会女子16年振りの優勝

30年 創立70周年祝賀会挙行予定

今後の展望

創始130年を迎え、生涯を通して楽しめるスポーツとして老若男女約700万人の愛好を抱える日本生れのソフト競技だけに、オリンピック種目を目指します。

学校のクラブ活動を始め、地域に根強く活動するクラブも多く、それだけに連盟の指導者責任も大きいものと推し進めてまいります。具体的には

1 生涯スポーツとしての普及、広報活動

(イ) ジュニア育成地域推進事業の強化利用

(1) 実施中の小学、中学、高校事業を充実する。

(2) 本年度より実施のシニア事業の成功

2 組織の強化

(イ) 自主事業の充実と参加者拡大

(1) 特に若手選手に運営参加を依頼する。

(2) 諸種目大会へ他区よりの参加と交流

(3) フェアプレー（マナー）の教育強化

年間行事予定

1. 区民スポーツ大会 春季秋季小中一般実施

2. 連盟自主事業大会 春秋計6大会実施

3. 派遣大会 都民大会他5大会実施

4. 地域推進事業 小中高シニア事業実施

5. 小学生・中学生強化 初心者教室等実施

大田区ソフトボール連盟

団体概要

設立 昭和45年 5月
 体協加盟 昭和45年 5月
 会長 坂本 安雄
 理事長 中村 誠
 事務局 〒144-0046
 大田区東六郷1-11-22-309
 中村 誠
 TEL 03-6822-1246

登録団体数 一般7団体
 少年少女4団体
 シニア4団体
 登録会員数 2,015名
 (うち小・中学生 500名)

H P : <http://otasoft.yokochou.com/>

10年間のあゆみ

平成21年の第78回春季大田区ソフトボール大会(第62回春季区民スポーツ大会)及び第79回秋季大田区ソフトボール大会(第62回秋季区民スポーツ大会)並びに少年大会は、「連盟創立40周年記念大会」の冠の基で実施しました。その記念式典・祝賀会は、平成22年1月30日(土)大田区産業プラザ4階コンベンションホールで盛況に行いました。

平成29年の秋季大会では、少年大会は、第96回となり、社会人は、第95回となります。これだけ大会を継続してこられたのも大田区、大田区教育委員会、体育協会をはじめ上部団体、加盟各チームや地域の関係者のご理解とご協力の賜物と感謝いたします。また、これまでの連盟役員らの奮励努力によるところも大きいものがあると思っています。

大会の参加チーム数は、平成21年当時は、社会人チームが64チームでしたが、平成29年大会では、47チームに減少しています。ただ、壮年クラス(39歳以上)のチームは、28チーム程度で横ばい状態です。女子の参加チームは、この10年間、変動がありません。少年のチーム数は、30チーム前後ですが、5年生以下の女子チームが減少がみです。平成21年の大会からは、ジョイフルスローピッチソフトボールのクラスも設け、誰でも安全に楽しくできるソフトボールの普及にも取り組んでいます。

このような中で、各チームの熱心な指導者や選手の努力もあり都民体育大会では、大田区の男女チー

ムの活躍には、目を見張るものがあります。

平成23年には、男女アベック優勝を成し遂げました。

10年間の主な記録

◆都民体育大会の成績

- 平成20年(第61回)
男子準優勝(BBC出雲) 女子準優勝(出雲ファイターズ)
- 平成21年(第62回)
男子5位(BBC出雲) 女子3位(出雲ファイターズ)
- 平成22年(第63回) 女子優勝(出雲ファイターズ)
- 平成23年(第64回)
男子優勝(BBC出雲) 女子優勝(出雲ファイターズ)
- 平成24年(第65回)
男子5位(BBC出雲) 女子準優勝(出雲ファイターズ)
- 平成25年(第66回)
男子5位(BBC出雲) 女子3位(出雲ファイターズ)
- 平成26年(第67回) 女子優勝(馬三ツツ愛好会)
- 平成27年(第68回) 女子準優勝(馬三ツツ愛好会)
- 平成28年(第69回) 男子優勝(BBC出雲)
- 平成29年(第70回) 男子3位(BBC出雲)

今後の展望

2020年東京オリンピックでは、女子のソフトボールが行われます。これを機にソフトボールの気運が盛り上がればうれしく思います。少年大会、ジュニア育成などで子どもたちが、継続して行っているスポーツであってほしいと願います。

前記の大会の壮年クラスは、定着しています。生涯スポーツの観点からも楽しく健康増進のためソフトボールの愛好者が増えることを望んでいます。

年間行事予定表

- 4月 春季大田区 区民スポーツ大会
- 4月 春季大田区少年ソフトボール大会
- 9月 秋季大田区 区民スポーツ大会
- 10月 大田区区民スポーツまつり
- 10月 秋季大田区少年ソフトボール大会
- 11月 ジュニア育成地域推進事業
(ジュニア選抜大会)
- 3月 評議員会



大 田 区 卓 球 連 盟

団体概要

設 立 昭和20年11月

体協加盟 昭和23年 3月

会 長 氏田 守

理 事 長 宇野 二郎

事 務 局 〒144-0051

大田区西蒲田5-3-21 めいこう内

池田 さわ

TEL 03-3736-0235

登録団体数 一般の部 250団体

登録会員数 一般の部 1567名

10年間のあゆみ

おかげさまで、250団体と会員数も大幅に増え、全国大会で結果を出し、行事や大会に多数参加載っております。大会を開催するに当り会場の確保に苦慮しております、此の状況が10年間改善されず今日至っています事は運営する役員達も考える所です。又、平成28年には、創立70周年記念祝賀会を多方面からご臨席戴き盛会にて行いました。

10年間の主な記録

平成17年 都民体育大会 女子第3位
城南六区親善卓球大会 優勝

平成18年 都民体育大会 女子準優勝
全日本クラブ卓球選手権
一般女子の部 第3位
全日本卓球選手権マスターズ
女子70才～74才の部 第3位
全国レディース2007女子準優勝

平成19年 都民体育大会 男子準優勝・女子準優勝
城南六区親善卓球大会準優勝
全日本卓球選手権マスターズ
女子70才～74才の部 第3位

平成20年 都民体育大会 女子準優勝
城南六区親善卓球大会 第3位

平成21年 全日本卓球選手権マスターズ
女子ハイセブンティの部 準優勝

平成22年 城南六区親善卓球大会 第3位
全日本クラブ卓球選手権
女子50代部 第3位

平成23年 都民体育大会 男子第3位
城南六区親善卓球大会 第3位
全日本クラブ卓球選手権大会

女子50代の部 第3位

平成24年 都民体育大会 女子第3位
全日本クラブ卓球選手権大会 第3位

平成25年 城南六区親善卓球大会 優勝
全日本クラブ卓球選手権大会 第3位

平成26年 城南六区親善卓球大会 準優勝
全日本クラブ卓球選手権大会
女子50代の部 第3位

平成27年 城南六区親善卓球大会 優勝

今後の展望

今後も、皆様に親しまれる連盟として、多くの方に愛されている卓球を皆様と共に、日頃みずからラケットを持ち体を動かし、時に観戦、応援して心から感動する楽しさを分かち合い広めて参りたいと展望しております。



会長 氏田 守

年間行事予定表

4月 春季区民スポーツ大会
レディース卓球チーム優勝大会

5月 卓球チーム優勝大会
都民体育大会

6月 前期リーグ戦
前期卓球新人優勝大会

7月 ダブルス卓球大会

8月 城南六区親善卓球大会

9月 秋季区民スポーツ大会

10月 秋季スポーツ大会レディース・シニアラージボール

11月 卓球チャレンジマッチ

12月 後期卓球新人優勝大会
ラージボール卓球大会

1月 卓球選手権大会

2月 後期リーグ戦

3月 会長杯争奪卓球大会



記念行事連盟役員

平成28年2月7日

大田区ダンススポーツ連盟

団体概要

設立 平成5年9月
体協加盟 平成7年4月
会長 熊谷 善徳
事務局 〒143-0024
大田区中央8-39-4
サンコーポ1階
TEL 03-3751-7455
登録団体数 10サークル
登録会員数 男子 98名
女子 113名

10年間のあゆみ

平成17年4月に16サークルの会員数が428名と最大の増加を見ましたが年々と国内の人口減少と合わせて高齢化の人口の増加が進みダンス界にも徐々に波が打ち寄せて参りました。

10年の間に会長職に携わってきた2名の人材を亡くしたことは大きなショックで記憶に新しく残された役員、会員が力を合わせて連盟を盛り上げております。

平成29年度の登録会員数は昨年度から26%も減少をし設立以来の減少を味わっております。

10年間の主な記録

毎年6月に開催されております春季都民体育大会ダンススポーツ大会は、平成18年度までは、公開競技でしたが13年度から17年度までの成績は連続で5回の優勝を果たしました。

平成19年度より春季都民体育大会がダンススポーツ大会が正式種目となりました。

平成19年度より平成29年度まで7年連続で優勝を樹立いたしました。

また、毎年9月に行われております都民生涯スポーツ大会にも毎年参加をしております。

今後の展望

連盟の会員増強も図らなければなりません、そこにはいろんな問題も抱えております。

会員の2/3が競技会で活躍しておりますが残り1/3はサークルでの活動を日々学び皆で楽しく正しく健康をモットーに練習を重ねております。

平成30年3月末日を持って大田区民センターが閉館となります。

大田区民センターを拠点として活動しておりますサークルには大きな打撃となっております。



年間行事予定表

- 4月：連盟周年パーティー
- 6月：都民体育大会春季大会参加
- 8月：区民春季スポーツ大会開催
- 9月：都民生涯スポーツ大会参加
- 10月：大田区スポーツ祭り参加
：三笠宮杯ダンススポーツ大会参加
- 11月：チャリティーダンスパーティー開催
- 1月：区民秋季スポーツ大会開催
- 3月：東京オープンダンス大会参加



大田区釣魚会連盟

団体概要

釣りを通して区民の健康増進と親睦を図るとともに水辺の環境保全に資する

設立 昭和26年1月

体協加盟 昭和26年4月

会長 原田 和彦

理事長 坂井 信春

事務局 〒146-0091

大田区鵜の木2-48-18

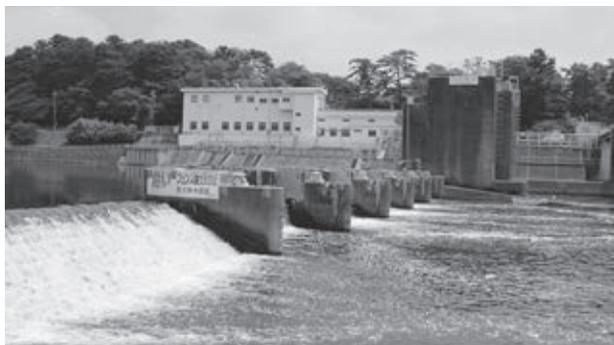
原田 和彦 TEL 03-3750-1270

登録団体数 3団体

登録会員数 60名

10年間のあゆみ

「多摩川にサケ、アユが戻った」ことに象徴される自然環境の改善はさらに進み、かつて洗剤の泡が吹雪のように舞っていた調布取水堰では、ここ数年アユの遡上が100万尾を下回らないほど安定し、多摩川でアユ釣り大会が開催できるのもあながち夢ではなくなってきました。



サケ、アユが遡上する調布取水堰

このように流入河川の浄化などによって東京湾の水質は目覚ましく改善されています。

この結果、休日の船宿には大勢の釣り客が回帰しテレビによる釣り番組が増加したこともあってか、女性アングラも目立つようになりました。

10年間の主な記録

東京都釣魚連合会に加盟する各会は、地域性などによりそれぞれ得意とする釣り物を持っています。

当会では、伝統的にシロギス・カワハギに特化し、東京都民カワハギ釣大会において直近4年間で3回も優勝したことが特筆されます。

平成28年度の主な成績と釣果を紹介します。

大会名	成績	氏名	記録
区民フナ	優勝	渡邊 員也	272g
都フナ選手権	16位	大田区団体	2.0kg
区民シロギス	優勝	坂井 信春	40尾
城南シロギス	優勝	吉川 昌雄	2.9kg
都民シロギス	4位	吉川 昌雄	3.0kg
都ハゼ選手権	14位	大田区団体	2.3kg
城南カワハギ	優勝	小川 一郎	13尾
都民カワハギ	優勝	淡路孝一郎	12尾
城南ハゼ	優勝	淡路孝一郎	118尾



大型！城南シロギス釣大会の一コマ

今後の展望

趣味の多様化や組織に入ることを嫌う世代が増え、当会も団体・会員数とも漸減していましたが、釣り環境の改善により釣り物・釣果も増えたことで趣味と実益のバランスの良さが評価され、ようやく上昇の機運が高まってきました。

今後は、ハゼ・シロギス・カワハギなどの江戸前釣りの良さをアピールするとともにルアー釣りにも取り組んでいきたいと考えています。

年間行事予定表

開催月	行事	場所
3月	区民フナ釣大会	水郷周辺
4月	東京都フナ釣選手権大会	水郷周辺
5月	区民スポーツシロギス釣大会	金田湾
6月	城南シロギス釣大会	金田湾
7月	都民シロギス釣大会	金田湾
9月	東京都ハゼ釣選手権大会	木更津
9月	城南カワハギ釣大会	劔崎沖
10月	区民スポーツカワハギ釣大会	油壺沖
10月	都民カワハギ釣大会	劔崎沖
10月	都民小ブナ釣大会	水郷周辺
11月	城南ハゼ釣大会	木更津沖

大田区テニス連盟

団体概要

設立 昭和57年10月
 体協加盟 昭和57年10月
 会長 久保 秀夫
 理事長 高橋 一行
 事務局 〒144-0045
 大田区南六郷1-31-23-402
 久保 秀夫
 TEL 03-3731-4686
 登録団体数 50団体
 登録会員数 1464名
 HP : <http://ootatennis.sakura.ne.jp/>

10年間のあゆみ

60周年頃の平成20年には連盟の組織も整い、都民大会優勝を目標に、ベテランの技術力向上と若手選手の育成を兼ねて、年数回、合同練習を行ってきました。

東京都23区テニス協会、東京都テニス協会に加盟して毎年区民大会優勝選手を23区チャンピオンシップに送り出し、東京都チャンピオンシップ（都知事杯）にも出場して優勝できるように連盟あげて応援しています。

大田区での大会は、区民スポーツ大会（シングルス・ダブルス）、連盟選手権（シングルス・ダブルス）、連盟加盟団体の親睦を兼ねた団体戦、技術力向上を目指したリーグ戦（男子36チーム・女子30チーム）を行っています。区民大会の参加者数は年々増えており、喜んでます。

都民体育大会では、毎年男子・女子共に活躍しており、特に近年は女子の活躍が目覚ましく、2011年、12年と二連覇し、その後も準優勝、優勝と健闘しています。最近では若手の成長も著しく、世代間の差も縮まってきました。

10年間の主な記録

23区チャンピオンシップ 優勝選手
 2009年 勝間 豊・長田祐治（ダブルス）
 2014年 小林穂高・野瀬優助（ダブルス）
 東京都チャンピオンシップ 優勝選手
 2012年 吉岡 舞（シングルス）
 2013年 吉岡 舞（シングルス）

奥山律子・鍋谷洋子（ダブルス）
 2014年 吉岡 舞（シングルス）
 小林穂高・野瀬優助（ダブルス）
 2015年 小林穂高・野瀬優助（ダブルス）

東京都民体育大会 優勝

2010年 男子チーム
 2011年 女子チーム
 2012年 女子チーム
 2014年 女子チーム
 2017年 女子チーム



今後の展望

テニス連盟はこれからもジュニアからシニアまで各世代の健康と技術の向上を目標に活動してまいります。

年間行事予定表

4月 都市対抗東京都代表選手選考会
 東京都チャンピオンシップ
 春季区民スポーツ大会（シングルス）
 5月 東京都民体育大会
 6月 連盟選手権（ダブルス）
 東京都ベテランリーグチーム対抗戦
 7月 リーグ戦第1戦
 8月 リーグ戦第2戦
 都民生涯スポーツ大会
 9月 初心者テニス教室
 秋季区民スポーツ大会（ダブルス）
 11月 連盟選手権（シングルス）
 リーグ戦第3戦
 12月 リーグ戦第4戦
 1月 23区役員交流会
 リーグ戦第5戦
 2月 団体戦
 23区チャンピオンシップ

大田区トライアスロン連合

団体概要

設立 平成10年5月

体協加盟 平成11年6月

会長 西野 善雄

理事長 行川 敏正

事務局 〒143-0015

大田区大森西6-15-6

行川方 大田区トライアスロン連合

TEL 03-3298-1422

登録会員数 一般：210人

ジュニア：1人

HP：<http://otatriathlon.web.fc2.com>

10年間のあゆみ

トライアスロンは1974年アメリカで初めて大会が開催された比較的新しいスポーツです。日本では1981年に皆生温泉で初めてのトライアスロン大会が開催されました。当時のトライアスロンは「限界に挑戦する」という印象が強く、特別な人たちのスポーツでした。

それから17年後の平成10年に、大田区トライアスロン連合が発足しました。当時、地域に多くのスポーツ施設が建ち始め、水泳、自転車、長距離走などの耐久系のスポーツを楽しむ愛好家が現れました。そのような人たちに支持され、トライアスロンは生涯スポーツとして、新たな一歩を踏み出しました。以来、大田区トライアスロン連合は、水泳とランニングの2種目を組み合わせた「アクアスロン」大会を「大田区民スポーツまつり」で開催し、入門大会として、生涯スポーツの一翼を担っています。

競技としてのトライアスロンも着実に進化し、2000年シドニーオリンピックから正式種目となり、2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、男女混合リレーを含め3種目、および、パラトライアスロンが開催されます。国内では、お台場で開催される日本選手権を筆頭に、2016年いわて国体から正式競技となり、全国で200を超えるトライアスロン大会が開催されています。大田区トライアスロン連合では、推奨大会を紹介したり、審判員を育成するなど、競技の普及に貢献しています。

大田区では、城南島にて東京・江戸前トライアスロン大会を開催しています。2010年に始まったこの大会は、今年で7回目を迎えます。東京都トライア

スロン連合の主催大会で、大田区体育協会の後援を受け、大田区トライアスロン連合は中心的な立場で運営しています。トライアスロンは「大自然の中で戦う競技」という印象があるかもしれませんが、実際には違います。競技を安全に運営するには、整備された公園と道路、そして、安全な海や湖が欠かせません。高度成長期に汚れた東京の海は、環境規制の強化と下水処理施設の整備によって、蘇りつつあります。大会の開催には、地域方々のご理解とご協力が必要ですし、警察、海上保安部、消防署などの多くの方々の協力も欠かせません。トライアスロン大会の運営を通じて、私たちの生活環境について考える良い機会になります。

10年間の主な記録

平成19年：第24回大田区民スポーツまつり・第9回アクアスロン大会開催

平成21年：事務局を現在地に移転

平成22年：第1回東京・江戸前トライアスロン2010開催

平成23年：(東日本大震災)

平成24年：第2回東京・江戸前トライアスロン2012再開

平成25年：城南アクアスロンシリーズ実行委員会(大田区、渋谷区、目黒区、世田谷区)発足

今後の展望

観るスポーツ、やるスポーツ、支えるスポーツの三方面からトライアスロン普及に努めます。

観るスポーツ：東京オリンピック・パラリンピック、日本選手権、国体に協力します。

やるスポーツ：大田区区民スポーツまつり・アクアスロン大会の開催を継続します。ホームページを通じて、推奨大会や練習会などの紹介します。

支えるスポーツ：東京・江戸前トライアスロン大会を継続して運営します。審判員の育成し、TMTU主催大会を中心に、多くの大会へ、スタッフと審判員を派遣します。

年間行事予定表

4月：TMTU認定記録会

6月：大田区トライアスロン連合総会

10月：大田区民スポーツまつり・アクアスロン大会

10月：東京・江戸前トライアスロン大会

2月：審判講習会

大田区なぎなた連盟

団体概要

設立 昭和60年9月
 体協加盟 昭和60年12月
 会長 高瀬 三徳
 理事長 神澤 洋子
 事務局 〒145-0014
 品川区大井6-20-6-101
 神澤方
 TEL 03-6429-8039

登録団体数 一般の部 1団体
 少年の部 2団体

登録会員数 一般 25名
 少年 20名

10年間のあゆみ

昨年連盟の節目となる30周年を終え今年からは初心にもどり、武道の理念である「礼に始まり礼に終る」の精神の基、技と共に心を大切にしたいとします。小学校の1年生からなぎなたを始めた子供達が今年の大田区大会において中学生の部で、優勝、二位、三位を独占する成果を出す事が出来ました。

これからも修練を重ね心身共に成長出来る様に努力して行きたいと思っております。

10年間の主な記録

○東京都なぎなた大会

平成21年 演技競技 優勝 清水多佳子・蕪山知恵
 個人戦年齢別 二位 福本武子
 22年 個人戦年齢別 優勝 山上喜久子
 28年 個人戦小学生 優勝 鯨岡英恵
 29年 個人戦中学生 優勝 鯨岡英恵
 二位 新谷瑠理
 三位 宇治萌花

○都民大会

平成26年 団体戦 二位
 27年 団体戦 二位

○都民生涯スポーツ大会

平成28年 団体戦 二位

○東京都スポーツ少年団交流大会

平成22年 演技 二位 桜井みゆき・衛藤 葵
 24年 演技 三位 丸尾望月・宇治萌花
 25年 演技 三位 鯨岡英恵・堀池美佳

平成26年 演技 二位 宮崎真由香・鯨岡英恵
 個人戦小学生優勝 新谷瑠理
 三位 日高愛華

27年 演技 優勝 内田彩華・縄倉茉依
 二位 宮崎真由香・鯨岡英恵
 個人戦小学生三位 宮崎真由香
 個人戦中学生三位 新谷瑠理

28年 演技 優勝 内田彩華・縄倉茉依
 三位 高久花菜子・木原楓子
 優勝 宮崎真由香・鯨岡英恵
 個人戦中学生三位 宇治萌花

○全日本少年少女錬成大会

平成26年 演技 優勝 宮崎真由香・鯨岡英恵
 27年 演技 二位 宮崎真由香・鯨岡英恵
 28年 演技 優勝 内田彩華・縄倉茉依

今後の展望

青少年の育成を目標に競技力の強化を目指し合同練習等を開催すると共に一般会員の充実に力を入れ稽古の結果が大会に発揮出来る様目標に向って会員一同協力し精進して連盟の発展につくして行きたいと思っております。

年間行事予定

4月 競技力強化練習
 5月 東京都なぎなた大会
 都民大会
 6月 連盟総会
 7月 東京都スポーツ少年団なぎなた交流大会
 第25回全国中学生大会
 8月 全日本少年少女（なぎなた）錬成大会
 11月 大田区民大会・なぎなた大会
 2月 東京武道館杯
 9・3月 審査会
 9・11月 初心者教室開催



大田区軟式野球連盟

団体概要

設立 昭和22年11月

体協加盟 昭和23年3月

会長 松原 忠義

理事長 後埜上 克郎

事務局 〒144-0055

大田区仲六郷4-29-1

TEL 03-3736-5023

登録団体数 一般の部 413チーム

少年の部 65チーム

登録会員数 一般の部 6,938名

少年の部 1,029名

HP : <http://www.osbb.gr.jp>

10年間のあゆみ

天候の影響により大会が年内に終了できないことが多かったことを受け、平成14年から始まった土曜日開催でありましたが、この10年間で、平成23年に発生した東日本大震災で開幕を遅らせた時を含めて4回年内終了できませんでした。

この10年間で社会人の参加チーム数は激減しています。大田区内に工場のあった会社が工場を近郊に移転したため、あるいは野球人口そのものの減少などが主な原因と考えられます。

平成20年には酒井光司が、平成26年からは後埜上克郎が理事長に就任し、また平成25年には、現大田区長である松原忠義氏に連盟会長を、平成26年には衆議院議員平将明氏に連盟副会長を、株式会社くらしの友代表取締役社長伴良二氏に連盟後援会長をそれぞれお願いし、体制の強化を図りました。

最多時には30名を超える審判員も平成18年には23、4名に減少し、区民大会での3審制を維持することができなくなり、平成20年秋季大会から補助審判員制度を導入させていただきました。毎年2月下旬に実施している審判講習会の充実化を図り、審判員の確保に努力していきます。

平成22年にはJR高架下に駐車場を整備していたが、グラウンド周辺での車に関する各種のトラブルを無くすることができるようになりました。

大田区野球まつりは毎年8月9日に近い土・日曜日で開催しています。大田スタジアム開場以来毎年実施し、平成29年には23回目を迎えます。東京ガス硬式・軟式野球部には毎年少年を対象にした野球教

室をお願いしていましたが、平成26年には開場20周年を記念し、読売巨人軍による小学低学年を対象とする野球教室及び社会人野球在京6チームによる小学高学年と中学生を対象とする野球教室を行いました。以降は社会人チームによるオープン戦をはじめ、中学硬式・軟式、高校男子・女子硬式、高校OBマスターズ、小学軟式など2日間で計10試合を行うイベントとなっています。

10年間の主な記録

一般の部

平成21年・医療法人社団松和会が前年から4大会連覇達成

平成22年・レッドゾーンが都大会優勝
高松宮杯及び東日本大会に出場

平成24年・三光電気及びレッドゾーン
都大会1、2部優勝高松宮杯へ

・渡辺クラブ 渡辺洋一投手
完全試合達成

平成25年・三光電気 吉崎聡投手 完全試合達成

平成27年・三光電気 都1部で年間シード

・セブンスターズコンドル 源徳玄投手
完全試合達成

学童・少年の部

平成20年・大森ホワイトスネークスA
都大会、関東東北大会で優勝

平成21年・大森ホワイトスネークスA
都大会で優勝

平成27年・大森ホワイトスネークスA
都大会で優勝

平成28年・グランフレールA
都大会新人戦で優勝

今後の展望

異常気象の影響は今後ますます懸念される所であり、土曜開催は今後も続きます。

チーム数及び審判員の減少には歯止めがかけられるのか具体的な対応を早急に検討していかなければならないと考えています。

野球まつりは今後も各参加団体と、より充実したイベントとすべく努力していきます。

年間行事予定表

- 1月 連盟新年懇親会
- 2月 定時評議員会・春季大会主将会議
- 3月 春季大会・少年大会総合開会式
- 6月 少年大会新人戦開幕
- 7月 秋季大会抽選会
- 8月 大田区野球まつり
- 8月 秋季大会開幕

大田区馬術連盟

団体概要

設立 昭和42年4月
 体協加盟 昭和43年4月
 会長 野呂 恵子
 理事長 北嶋 守
 事務局 〒144-0051
 大田区西蒲田7-46-9-801
 北嶋 守
 TEL 03-3737-2591

登録団体数 3団体
 登録会員数 男子20名 女子32名

10年間のあゆみ

- 区民スポーツ大会 春 多摩川ガス橋緑地
 4月第4日曜日 在来馬3頭による大会
 9時～15時まで 延べ約100名の参加
 - スポーツまつり、体育の日 多摩川ガス橋緑地
 在来馬4頭により小学生以下の参加
 9時～15時まで 延べ約600名の参加
 - 区民スポーツ大会 秋 綾瀬乗馬クラブにて
 10月～11月の日曜日開催
 9時～15時まで 延べ約60名の参加
- 以上体育協会の委託事業として毎年開催
- 平成27年12月5日、大田区多摩川大橋緑地にて、
 地域振興の為、東京都からの補助金を受け、松原
 大田区長ご臨席のもと、武田流鎌倉派流鏑馬を執
 り行う。

10年間の主な記録

都民体育大会の成績

平成20年	8位
21年	6位
22年	6位
25年	4位
26年	8位
28年	5位
29年	3位

平成29年1月 北嶋 守理事長、社団法人 日本馬術連盟より功労者表彰を受ける。

今後の展望

平成18年度からスポーツまつり、春季区民大会では、多摩川ガス橋緑地で在来馬(木曾馬・北海道和種)



多摩川大橋緑地での流鏑馬

を使用した乗馬会を催してきました。在来馬は、危険性も少なく、体型もやや小型の馬であり、安心して引き馬及び各種の競技を行うことができました。今では、各地で日本馬の育成が奨励され、子どもの情操教育及び乗馬による医療活動等、日本馬が持つ温厚な性質を利用した乗馬活動が盛んとなっています。当連盟に於いても、馬術競技志向は残すものの、多くの区民の方々が近くで馬を楽しむ機会を設けるため、大田区内で馬場を持てればと思います。子どもさんだけでなく、ご年配の方も楽しめます。

年間行事予定表

- 4月 区民スポーツ大会 春 第4日曜日
- 5月 都民大会
- 7月 暑気払い
- 8月 夏季合宿 1泊2日
- 10月 区民スポーツまつり(体育の日)
- 11月 区民スポーツ大会 秋
 蓼科の遠乗会
- 12月 忘年会
- 1月 新年会
- 2月 総会

綾瀬乗馬クラブにて 各自練習可能(指導者付)



春季区民大会、スポーツまつり 多摩川ガス橋緑地

大田区バスケットボール連盟

団体概要

設 立 昭和22年11月
 体協加盟 昭和23年 3月
 会 長 白銀 正明
 理 事 長 小林 正明
 事 務 局 〒143-0024
 大田区中央8-29-7 白銀スポーツ内
 白銀 正明
 TEL 03-3754-8679

登録団体数 一般の部 33団体
 シニアの部 25団体

H P : <http://shirokane-sports.com/free/basket/>

10年間のあゆみ

この10年を振り返り、大きな影響があったのは2012年の大田区総合体育館のオープンになります。それまでは区民大会は大森スポーツセンター(2面)のみの使用でしたが総合体育館はサブを含め3面と一挙に2.5倍の会場が広がりました。

会場が増えたことで少年の部を開催することができるようになり、2001年より大森スポーツセンターを使用して体育協会で開催していたミニバスケットボール大会の時は、応援にいらっしゃるご家族が観客席に入りきれないほどで1試合ごとに入れ替えを行うなど競技運営以外の仕事もありましたが、総合体育館ではその心配もなく、運営に専念できるようになりました。

また、総合体育館ではプロバスケットボールチームによる試合も盛んに行われ、以前より運営協力をしてきた、東京羽田ヴィッキーズを初め、東京サンレーヴスや東京エクセレンスなどのチーム対応をしたり、ここ数年は大田区に本拠地を持つアースフレンズ東京Zの運営協力もしています。



一昨年より、支援学級でバスケットボールをしていた団体の練習などに協力し昨年春にはそのチームとして初めての試合を大森スポーツセンターで行うなど10年前は一般の部とシニアの部の二つのカテゴリーでしたが、一般・シニアに加え少年の部(小学生・中学生)、障がいを持たれる方も参加できる大会と幅広い対応をするようになりました。

10年間の主な記録

都民大会の記録

平成20年	女子準優勝
平成21年	女子3位入賞
平成22年	女子3位入賞
平成23年	男子5位入賞・女子5位入賞
平成24年	女子優勝
平成25年	男子準優勝・女子準優勝
平成26年	女子準優勝
平成27年	男子3位入賞・女子準優勝
平成28年	男子5位入賞・女子準優勝
平成29年	男子5位入賞・女子準優勝

都民生涯スポーツ大会(ママさん大会)

平成20年	第1位
平成21年	第3位
平成22年	第3位
平成23年	第1位
平成24年	第3位
平成28年	第4位
平成29年	第3位

青年大会東京都予選

平成27年	男子第1位
-------	-------

全国青年大会

平成27年	男子第3位
-------	-------

今後の展望

競技団体として都民大会等で勝てる強いバスケットボールを目指しつつ、生涯スポーツとしてのバスケットボールを考え子どもから高齢者まで、また障がいをもたれた方々と幅広い世代がいつまでも参加出来る大会の運営を考えています。

年間行事予定

4月	理事会(総会)
5月	都民体育大会参加
5月～7月	大田区春季スポーツ大会開催
5月・9月	審判講習会実施
9月	都民生涯スポーツ大会参加
9月～12月	大田区秋季スポーツ大会開催
2月～3月	大田区選手権大会(独自)開催
10月～3月	区内プロバスケットチーム支援

大田区バトン協会

団体概要

設立 平成20年4月
 体協加盟 平成21年4月
 会長 松原 茂登樹
 理事長 山口 圭子
 事務局 〒144-0043
 大田区羽田1-14-7-304
 浅沼 康子 TEL 03-3742-4937
 登録会員数 200名

10年間のあゆみ

大田区にバトンの輪を広げたい！バトントワーリングの魅力を沢山の方々に知っていただきたい！

2008年に東京都スポーツバトン協会の下部組織として、大田区スポーツバトン協会を設立し、今年で10年目を迎えます。

年齢も性別も問わず楽しめる生涯スポーツを目指し、大田区体育協会に2009年、47番目の団体として加盟をさせていただきました。

バトントワーリングは、20世紀初頭にアメリカで広まり、日本へ渡って来ておよそ60年になります。2013年には旧組織から発足した、一般社団法人日本バトン協会・日本バトン協会関東支部・東京都バトン協会に準じ、当協会も同年に大田区バトン協会と改名し活動を行っています。

地域の行事として、老人ホームや文化センター

まつりに参加させていただいており、9月の区民スポーツ大会開会式における演技披露、10月のスポーツまつりでのバトン体験など、年々バトンを知っていただく機会が増えて来ました。

個人戦では、8月に区民スポーツ大会の一環として全国共通規定演技のコンテストを行い、幼児から社会人までが練習した成果を発揮しています。大田区体育協会への加盟でより良い環境が整い、この3月においては、5名の選手が全日本選手権に出場を果たし、ペア種目でグランプリ杯獲得となりました。2015年より国際大会日本代表選手も生まれ、今年8月のクロアチアでのインターナショナルカップではペアにおいて金メダルを受賞いたしました。

団体戦では、東京都大会・関東大会へ出場し、2010年より毎年全国大会へと勝ち進んでおります。

以上の様に、この10年間は大田区バトン協会にとり大きな発展の年となりました。

10年間の主な記録

＜全国大会＞（内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞）

2010年度 4団体出場 金賞受賞

2012年度 3団体出場

ジャパンカップ全国大会Jr優勝

2014年度 3団体出場

2015年度 3団体出場

2016年度 5団体出場

＜全日本選手権大会＞

2014年 2名出場 ペア4位

2016年 2名出場 ペア3位

2017年 5名出場 ペアグランドチャンピオン

＜インターナショナルカップ＞

2015年 アーティスティックペア
4位(カナダ)

2017年 アーティスティックペア
1位(クロアチア)

秋山優子・吉田勇耶



区長に報告

今後の展望

日本のバトンのレベルは、世界1位であり、毎年沢山の金メダルを獲得しています。が、まだその認知度は低く、これからの大きな課題です。

2020年のオリンピック・パラリンピックにおいて、セレモニーやイベント、各種目のハーフタイムショーなどで、演技披露をさせていただきたいと願っております。

幼児からシルバー世代まで、指を使って脳細胞の活性化と五感の鍛錬をし、楽しく体力の向上や体幹の強化が出来るよう、繊細さとダイナミックさを兼ね備えた芸術性豊かな生涯スポーツとして、広く区民の皆様に広めて行けるように精進してまいります。

年間行事予定

- 4月 技能ライセンス講習会
- 6月 関東バトントワーリングコンテスト
- 7月 国際大会出場日本代表選手壮行講習会
- 8月 国際大会・区民スポーツ大会大田区大会
- 9月 区民スポーツ大会開会式
東京都大会・ジャパンカップ全国大会
- 10月 文化センターまつり・区民スポーツまつり
関東大会
- 12月 全国大会
シニアバトントワーリングフェスティバル
- 1月 東京都バトントワーリングコンテスト
- 2月 全日本選手権関東支部大会
- 3月 全日本選手権大会
ジュニアバトントワーリングフェスティバル

大田区バドミントン協会

団体概要

設 立 昭和27年 4月
 体協加盟 昭和27年 4月
 会 長 永井 敬臣
 副会長 渡司 みゆき
 理事長 厚川 勇
 事務局 〒144-0012
 大田区大森東4-19-20
 森谷満佳方
 TEL 080-9262-0684 (江川)
 登録団体数 一般52チーム、中学校17校
 登録会員数 一般594人、中学生385人

10年間のあゆみ

春季・秋季・総合(冬季)大会

1回戦を3チーム総当り戦にしたことにより、一般の参加が多くなり、中学男女に至っては、区内ほとんどの学校で参加、大盛況です。

都民大会・青年大会・生涯スポーツ大会

月2回の代表選手の練習で選抜選手にて必ず毎年参加

協会主催区民大会(混合ダブルス)

男女ペアで行う試合で大変人気があり、毎年継続して実施している

スポーツ祭り

以前は小学生・中学生初人者対象でしたが、今は誰れでも参加でき、希望があれば指導したり、親子で楽しんだり、試合したりで、会場に入りきれないほどの大盛況です。

ジュニア大会

以前は小学生大会でしたが、体育協会から運営をまかされてジュニア大会に名称変更、小学生ダブルス大会、指導と将来の子供達への育成として、行なわれています。

スポーツバイキング・体育館開放への協力など実施した。

10年間の主な記録

都民大会 平成22、23、28年度上位入賞

生涯スポーツ大会、毎年優秀・優良賞

支部対抗戦、各年齢別 優勝・準優勝・3位・上位入賞果たす

会員が全日本社会人、全日本シニア、全日本実業

団、関東シニア大会に参加、特に全日本シニア大会・関東シニア大会にては上位入賞を果たす。

今後の展望

総会で会員の意見を吸い上げて、理事会で検討、各大会への試合形式等創意工夫し、参加者を増やしたい、又、協会大会を増やしたい、ジュニア大会を充実させたいと思っています。

年間行事予定

- 4月 春季区民スポーツ大会 大森SC
大森第二中
(一般男女ダブルス・中学男女ダブルス)
- 5月 都民体育大会 稲城市総合
(男女団体戦)
- 6月 スポーツバイキング 大森SC
(小学生以上)
- 7月 区民大会(協会主催) 大田総合サブ
(混合ダブルス)
- 9月 都青年大会・生涯スポーツ大会
(男女混合団体戦) 港区総合SC
総合開会式 大田総合
秋季区民スポーツ大会 大田総合
(一般男女ダブルス・中学男女ダブルス)
- 10月 スポーツ祭り 大森第三小
- 11月 区民大会(団体戦) 大森SC
- 12月 ジュニア大会 大森SC
(小学生男女ダブルス)
- 1月 都支部対抗大会 葛飾総合SC
(男女混合団体戦)
- 2月 区総合大会 大森SC
(一般男女ダブルス・シングルス)
(中学男女ダブルス・シングルス)



大田区バレーボール協会

団体概要

設立 昭和22年3月
 体協加盟 昭和23年3月
 会長 摩壽意 眞郎
 理事長 田中 信男
 事務局 〒143-0012
 大田区大森東3-7-7
 田中 信男
 TEL 080-5494-1090
 登録団体数 男子 12チーム
 女子 11チーム
 登録会員数 男子 297名
 女子 195名

10年間のあゆみ

企業チームから地域クラブチームへ
当協会の現状を記述します。

ここ数年の間に組織の構成が大きく変わりました。企業名で加盟していたチームが無くなり、地域からのクラブチームのみの構成となりました。

協会自主事業として(区民大会は除く)年4回(春と秋の6人制及び9人制)実施しています。しかし、男子チームの場合9人制の大会参加が少ないため、6人制(秋のみ)に切り替えて実施しています。

試合会場については区内の中学、高校及び一部企業の体育館を借用して行っています。

また、都民大会代表チームの選考については、春季区民大会、春季9人制選手権大会、及び女子のみですが、ザ・バレーボールでの成績により代表チームを選出しています。

毎年3月に行う城南地区連盟大会(目黒、渋谷、品川、大田)には、男女の都民大会の代表チームが出場しています。また、この大会には大田区家庭婦人連盟の協力により2チームの家庭婦人チームが出場しています。尚、この大会の運営は各区持ち回りで行っており、再来年は大田区担当となっています。

次に中学生の大会については、大田区中体連の先生方の協力もあり、区内の私立中学も含めて行っており、年々出場チームも増えて、盛んになっています。

10年間の主な記録

東京都都民体育大会成績
(男子)

3位入賞 平成21年度、22年度、26年度
5位入賞 平成20年度、28年度

(女子)

準優勝 平成23年度
3位入賞 平成24年度、25年度、27年度、28年度

今後の展望

◎加盟チーム数を増やす

区民大会参加チームで加盟していないチームに加盟を呼びかける

◎協会内の活性化

現在運営役員は高齢化しており実担当者が不足しています。

今年度より各チーム1名の理事を選出してもらい、各部門(総務、競技、審判)に分けて運営に協力してもらい、活性化を図る。

◎ビーチバレーについて

大森東水辺スポーツ広場に国際大会も開催できるビーチバレーコートができたので、来年度からこの場所にて、区民スポーツ大会を開催できるよう検討する。

◎創立70周年について

本年度で創立70周年を迎えます。役員の方々と相談して、記憶に残る行事を行いたいと思います。

年間行事予定

◎大田区区民スポーツ大会

・春季スポーツ大会	
一般の部(9人制)	4月～5月
中学生の部(6人制)	5月～6月
・秋季スポーツ大会	
一般の部(6人制)	10月
中学生の部(6人制)	12月

◎協会主催大会

・春季9人制選手権大会	5月～7月
・春季6人制選手権大会	7月
・秋季6人制選手権大会	10月～12月
・ザ・バレーボール大会	2月～3月

◎その他大会

・城南地区連盟大会(各区持ち回り) 3月

大田区ハンドボール協会

団体概要

設立	昭和47年4月	
体協加盟	昭和47年4月	
会長	落合 光雄	
理事長	相原 一矢	
事務局	〒145-0071	
	大田区田園調布5-48-3	
	相原 りち江	
	TEL 03-3722-7333	
登録団体数	一般の部	12団体
	少年の部	3団体
登録会員数	一般の部	200名
	少年の部	90名

10年間のあゆみ

一進一退という言葉を使用したら、少々大袈裟になるが、まさにこの10年間の登録数の推移は、増えたり減ったりの繰り返しであった。いやむしろ減少傾向である。

底辺拡充したい中学生のハンドボール競技人口を見ても、東京都公立中学校は総数607校（平成29年度現在）あるが、残念ながら男女合わせても80校前後しか加盟していないのが現状である。

本区においても、中学校の加盟数は、昭和の全盛期でも5校しかなかったが、現在ではわずか1校しかない。それも指導教員の異動によっては今後どうなるか確信が持てない。

高校においては、私立日本荏原高校や東京高校、都立羽田工業高校（現在、つばさ総合高校）が盛んな時期があり、とりわけ私立日体荏原高校は、関東大会やインターハイの常連校であった。しかし、この10年間関東大会までは進出するものの、参加状態が今一である。

一般に関しては、本区では企業が中心となって活動しているチームはなく、高校のOB会やインターネット等で募集した同好会チームが参加してくれている。

ハンドボールは、競技コートの大きさや施設の関係から、昭和の時代は上位の大会以外はアウトドアーで行われていたが、本区では、幸いにも教育委員会や体育協会の計らいで、当初から梅屋敷の大田体育館で試合を行うことが出来、環境には恵まれていた。この近年は、平和島の大森スポーツセンター

で試合を開催することが出来、感謝している。

10年間の主な記録

現在都民体育大会には、男子は荏原クラブ、女子はつばさ総合高校のOGが中心となって参加している。ハンドボールはまだ公開種目なので、得点にはならず、大田区の優勝には貢献できませんが、27年度は女子3位入賞。男子は毎年善戦はしているものの、ベスト8、16位止まりである。

今後の展望

明るい展望を記載したいのですが、残念ながら、10年間の歩みの中でも記載したように、現在の状況下では、少年の部の登録会員数を増やすことが最善とは考えるが、中学校の生徒数の減少や、部活動数の減少で加盟団体数や登録会員数の増加は望めない。

しかし、諦めることなく地道な活動を通し、ハンドボール協会としては、区民スポーツ大会の参加規程の見直しや、魅力ある大会づくりをしながら、区民の方々とハンドボール愛好家の方々に、更なるPR活動を展開し、ハンドボール人口を1人でも2人でも増やしていくように、協会上げて邁進する覚悟である。

年間行事予定表

年間行事計画

- (1) 区民スポーツ大会の開催 年2回
春・秋大会
- (2) 都民体育大会への参加及び強化練習
- (3) 審判講習会 年間2回予定
- (4) 大田区行事参加
- (5) ハンドボール技術普及活動

以上。



大田区フォークダンス協会

団体概要

設立 昭和25年 5月
 体協加盟 昭和41年 4月
 会長 皆川 敏郎
 理事長 矢野 光子
 事務局 〒143-0023
 大田区山王 1-26-20-101
 矢野 光子
 TEL 03-3774-6220

登録団体数 7 団体
 登録会員数 男 6名
 女 110名

10年間のあゆみ

大田区民スポーツ大会のレク・フォークダンス大会を春季と秋季の2回開催。10月の体育の日に行われる区民スポーツまつりの「初めてのレク・フォークダンス」を主管。秋季スポーツ大会総合開会式では毎年公開演技を実施。全国大会や都大会等にも毎年参加し、演技発表。平成21年から始めた年6回の初心者体験教室は今年で9回目を迎え、普及と指導者の育成に取り組んでいます。

10年間の主な記録

平成20年 9月
 第62回全国レクリエーション大会 I N 岩手に参加、創作演技発表。

平成21年 9月
 第63回全国レクリエーション大会 I N 長崎参加。

平成21年10月
 協会創立60周年記念大会と祝賀会を開催。
 功労団体と功労者を表彰。池上会館。

平成22年11月
 第64回全国レクリエーション大会 I N 静岡にて創作演技発表。(公財)日本レクリエーション協会レク普及振興功労者表彰 皆川 敏郎

平成23年 5月
 第65回全国レクリエーション大会 I N 福岡にて創作演技発表。

平成24年 9月
 第66回全国レクリエーション大会 I N 福井にて創作演技発表。

平成25年 9月
 第68回国民体育大会 (スポーツ祭東京2013) にて

演技発表。12名大会役員派遣 町田市体育館。

平成25年10月
 第67回全国レクリエーション大会 I N 福岡参加。

平成26年 9月
 第68回全国レクリエーション大会 I N 福島参加。

平成27年 9月
 第69回全国レクリエーション大会 I N 長野にて創作演技発表。

平成28年 4月
 東京都フォークダンス連盟創立55周年記念大会レクダンス創作演技発表。東京体育館。
 祝賀会 新宿ワシントンホテル。

平成28年 5月
 都民体育大会合同開会式 東京体育館。(公財)
 東京都体育協会生涯スポーツ功労者表彰 矢野光子

平成28年 7月
 日本フォークダンス連盟60周年記念大会にて創作演技発表 神戸ポートアイランド

平成28年 9月
 第70回全国レクリエーション大会 I N 岐阜参加。

今後の展望

会員の高齢化により会員数の増加が望み薄ながらも、初心者体験教室や年間開催される様々な行事を通じて若い愛好者の入会を願って努力します。

年間行事予定表

5月 ◎区民春季スポーツ大会レク・フォークダンス大会開催。

6月 ◎初心者体験レク・フォークダンス教室開催 (6月～11月全6回)

9月 ◎区民スポーツ大会総合開会式参加、公開演技。
 ◎日本レクリエーション協会主催、全国レクリエーション大会 I N 函館参加。

10月 ◎第34回大田区民スポーツまつり
 「初めてのレク・フォークダンス」開催。
 ◎東京都フォークダンス連盟主催
 「第24回レクダンスフェスティバル」参加、創作演技発表。東京体育館。

11月 ◎東京都レクリエーション協会主催
 「都民スポーツふれあい大会」に参加。
 ◎区民秋季スポーツ大会
 「レク・フォークダンス大会」開催。



大田区武術太極拳連盟

団体概要

設 立 平成21年 6月
 体協加盟 平成23年 1月
 会 長 鈴木 章浩
 代 表 釈囲 秀明
 理 事 長 関根 等
 事 務 局 〒144-0046
 大田区東六郷3-19-20
 北村 信子
 TEL 03-3738-8049

登録団体数 11団体

登録会員数 198名

HP:

<http://otakubujutsutaikyokuken.web.fc2.com/>

10年間のあゆみ

「太極拳」は、老若男女、世代・性別を問わずに誰でもどこでも楽しむことができる「生涯スポーツ」として認知される一方、「競技スポーツ」として国際的にも広く普及しています。

当連盟は平成21年6月の設立以来、交流演武・競技大会や各種講習会の実施、東京都および全日本選手権大会への選手派遣、太極拳技能検定事業や公認指導員の育成などを通じて、大田区における武術太極拳の普及振興を進めて参りました。競技スポーツとしての技術レベル向上はもちろんのこと、高齢の太極拳愛好家を毎年表彰するなど、広く区民の皆様の健康増進と地域コミュニケーションの活性化、すなわち「元気の輪」と「地域の和」を拓けるべく活動しています。

10年間の主な記録

第68回国民体育大会（スポーツ祭東京2013）武術太極拳・集団演武の大規模部門および小規模部門の2部門でそれぞれ第3位入賞

東京都武術太極拳選手権大会における過去5年間の入賞者

平成24年度（第19回大会）	4名
平成25年度（第20回大会）	6名
平成26年度（第21回大会）	5名
平成27年度（第22回大会）	5名
平成28年度（第23回大会）	4名



第68回国民体育大会（東京国体）表彰式にて

今後の展望

平成31年度の茨城国体から武術太極拳が公開競技種目に格上げされます。大田区から未来の国体選手を多数送り出せるよう技術レベルの更なる向上を目指すと同時に、「太極拳でハッピーになる街～大田区・東京」をキャッチフレーズに、今後も区民の皆様に楽しんでいただけるよう取り組んで参ります。

年間行事予定表

- 1月 東京都武術太極拳交流大会
- 2月 太極拳技能検定2～5級・前期認定試験
- 3月 東京都武術太極拳選手権大会
定例理事会
- 4月 定例総会
- 6月 大田区民スポーツ大会・春季太極拳大会
- 7月 全日本武術太極拳選手権大会
- 8月 太極拳技能検定2～5級・後期認定試験
- 10月 大田区民スポーツまつり無料講習会
- 11月 大田区民スポーツ大会・秋季太極拳大会

その他、各種講習会の開催や近隣大会への参加も積極的に行っています。



当連盟のマスコット・キャラクター
日本で唯一の太極拳専門着ぐるみ
“ハッピータイチーおたくん”

大田区ボウリング連盟

団体概要

設立 昭和49年 9月
 体協加盟 昭和50年 4月
 会長 濱中 誠行
 理事長 浅田 秀則
 事務局 〒143-8532 大田区平和島1-1-1
 平和島スターボウル
 田坂 大輔
 TEL 03-3768-9151
 登録会員数 100名

10年間のあゆみ

大田区ボウリング連盟は、前々回の50周年記念誌の発刊に際し、「21世紀への展望」として、次の3点を課題として挙げてきた。

1. 区内在住の外国人に対して、区民大会への参加を積極的に呼びかけ、スポーツを通しての国際交流をと相互理解を深めてゆく。
2. 年齢、性別に関係なく、誰でも身近なところで楽しめるスポーツとして、ボウリングの普及に努め、特に、高齢者、青少年の参加を積極的に推進して、生涯スポーツの普及に努める。
3. 都民体育大会での上位入賞を目指して、代表チームの強化、育成を図る。

第1点目の区民大会への区内在住の外国人への参加、呼びかけについては、言語、参加費など様々な問題もあり、引き続き検討していくこととする。

第2点目の高齢者、若年層の参加推進については、区民のスポーツ、レジャー活動が多様化する中で、ボウリングの愛好者は、引き続き減少傾向にあり、区民大会への参加者をもみても顕著で、参加者の高齢化も進んでいる。

そこで、ボウリング連盟では、平成27年「第32回区民スポーツまつり」より、親子ふれあいボウリング大会（平和島スターボウル）を開催しています。

また、平成28年度から、ジュニアボウリング教室を、平成29年度からは、シニア健康ボウリング教室を平和島スターボウル（協力：田坂大輔プロ）に於いて開催しています。

第3点目の都民体育大会での上位入賞を目指した代表チームの強化策については、チームメンバー相互のチームワークを重点に練習を重ねた結果、男女とも優秀な成績を残しています。

10年間の主な記録

平成20年61回都民体育大会 男子4位、女子3位
 平成21年62回都民体育大会 女子6位
 平成22年63回都民体育大会 女子5位
 平成24年65回都民体育大会 男子5位
 平成25年66回都民体育大会 男子6位、女子2位
 平成26年67回都民体育大会 男子5位、女子2位
 平成27年68回都民体育大会 男子2位、女子6位
 健康ボウリング教室
 親子ふれあいボウリング大会
 平成28年69回都民体育大会 男子2位、女子2位
 健康ボウリング教室、ジュニアボウリング教室
 親子ふれあいボウリング大会
 平成29年70回都民体育大会 男子2位、女子優勝
 シニア健康ボウリング教室
 親子ふれあいボウリング大会
 （会場：平和島スターボウル、協力：田坂大輔プロ）



今後の展望

区民の高齢化と文化・スポーツ活動が多様化する中で、ボウリングは、年齢、性別に関係なく、誰でも身近なところで楽しめるスポーツであることが、大きな特徴です。そこで、日常生活の中で楽しめるスポーツとして、ボウリングの普及に努め、特に、若年層と女性に対し、区民大会への積極的な参加を呼びかけていく。

また、都民体育大会での上位入賞をめざし、チームの強化、育成を行っていく。

年間行事予定表

4月 春季区民スポーツ大会開催
 5月 都民体育大会代表チーム派遣
 健康ボウリング教室
 ジュニアボウリング教室
 10月 秋季区民スポーツ大会開催
 親子ふれあいボウリング大会

大田区ボクシング連盟

団体概要

設立 昭和32年（1957年）8月
 体協加盟 昭和32年（1957年）9月
 会長 松山 茂
 理事長 小林 豊
 事務局 〒230-0074
 横浜市鶴見区北寺尾2-1-32-208
 松山 茂 TEL 045-573-6243
 登録会員数 15名
 HP : <http://www.hi-ho.ne.jp/matsy/>
 (“大田区ボクシング”で検索ヒット)

10年間のあゆみ

設立が昭和32年（1957年）8月ですので、今年平成29年（2017年）8月で60年目（還暦）を迎えることができました。多くの方々に支えていただいた賜物と感謝申し上げます。

この「10年間の歩み」は、ボクシング大会とスポーツ祭りボクシング体験コーナーは毎年順調に続けることができましたが、平成13年から旧大田区体育館内で続けてきたボクシング教室を平成20年で休止せざるを得なくなったという状況でした。

理由は、旧大田区体育館が建て替えのため取り壊され、教室開催場所とサンドバッグ・グローブ・その他の保管場所の確保ができなくなったためです。

新築体育館では、旧体育館時代と同様の環境を得ることはできず、また、他の代替の場所も見つかりませんでした。

しかし、悪いことばかりではなく良いこともありました。それは、大田区生・育・在住のWBA世界ライトフライ級チャンピオン田口良一が誕生したことです。

チャンピオン誕生の経緯は下記の通りです。

- (1) スポーツ祭り・ボクシング体験コーナーで初めてボクシング体験（平成13年）
- (2) 本連盟主催ボクシング教室に入会し基礎技術習得→プロのジムで実戦練習
- (3) 大田区ボクシング大会において大田区連盟所属としてアマチュアデビュー戦TKO勝利
- (4) プロ転向→新人王→日本チャンピオン→世界チャンピオン（平成27年）

そして、平成29年3月12日に行われた「区制70周年記念式典」で、「区民栄誉賞」を授賞しました。

写真は田口チャンピオンが、松原忠義区長から「区民栄誉賞」を受賞した際の写真です。

10年間の主な記録

- (1) 大田区ボクシング大会主管
 本大会は、昭和48年12月16日に第1回大会を開催して以来、毎年秋に大田区立小学校の体育館や大田区体育館において、公式リング借用組立て、もしくは、民間施設常設のリングを借用して、公認審判員によるアマチュア公式試合として開催してきましたが、ここ10年は、大森駅前営業のゴールドジム常設リングを借用して大会を開催するスタイルが定着しつつあります。
- (2) スポーツまつり・ボクシング体験コーナー主管
 毎年体育の日に、大森スポーツセンターにて開催
- (3) ボクシング教室主催（平成18～20年）
 週1回旧大田区体育館その他で開催

今後の展望

下記目的達成のため、教室の開催場所確保とスタッフ増員が今後の課題です

- 1) 第2の田口良一誕生
- 2) ボクシング競技の正しい理解と普及
- 3) 区民の身体的・精神的・社会的健康増進維持

年間行事予定表

- 4～3月 東京都オープン戦等参加
 10月 スポーツ祭りボクシング体験コーナー主管
 11月 大田区ボクシング大会主管



大田区ミニテニス連盟

団体概要

ミニテニスは平成8年東京都体育指導員協議会において発表された老若男女誰にでも出来る室内でのテニス競技であります。特に高齢者の体力の維持、増進はもとより爽快感、達成感、連帯感等は人間の不可欠な要素としてこれからの高齢化社会に貢献できる最たるスポーツであります。

設立 平成9年4月

体協加盟 平成11年5月

会長 寺村 弘次

理事長 関口 あい子

事務局 〒145-0076

大田区田園調布南28-19

豆生田 克行

TEL 03-3758-3449

登録団体数 12団体

登録会員数 200名

10年間のあゆみ

設立浅い大田区ミニテニス連盟ではありますが、東京都においてはミニテニス発祥の地立川市に次ぐ多くの会員を誇っております。会員の情熱と努力により全国大会の影を追えるところまで上達してきました。高齢者の多くがコートで練習している様子は誠に圧巻であります。これからの高齢化社会を担う精神的、肉体的真髄はここから形成されるものと確信しております。

10年間の主な記録

(紙面の関係上 優勝のみといたします)

- 平成18年9月 第18回都民スポレクふれあい大会
(女子の部) 大坂涼子、吉野一二三
- 26年4月 立川スポレタフエスタ大会
(女子の部) 大坂涼子、吉野一二三
- 27年3月 立川オープンミニテニス大会
(女子の部) 大坂涼子、吉野一二三
- 27年9月 都民スポレクふれあい大会
(混合) 吉野武則、吉野一二三
- 22年7月 第3回マスターズリーグ戦
(女子の部) 湯山優子、今橋はる美
- 22年11月 第4回マスターズリーグ戦
(女子の部) 湯山優子、安田ひろみ

- 23年7月 第6回マスターズリーグ戦
(女子の部) 湯山優子、今橋はる美
- 26年3月 第13回マスターズリーグ戦
(女子の部) 湯山優子、今橋はる美
- 25年4月 立川スポレクふれあい大会
(混合の部) 杉木直哉、小林和美子
- 27年1月 立川スポレクふれあい大会
(団体戦) 大田区代表 6名
杉木直哉、瀬川信行、湯山優子、安田ひろみ、小林和美子、今橋はる美
- 28年9月 都民スポレクふれあい大会
(混合の部) 杉木直哉、湯山優子
- 28年9月 都民スポレクふれあい大会
(女子の部) 今野照子、奥山裕子

今後の展望

まだまだミニテニスというスポーツの知名度が低くその底上げをしなければならない。高齢化社会に向けた地域住民の健康、体力づくりは先ずは個人の体験を通し、自分のため、家族のため、そして人の為、社会のためであります。現在サマースクール、スポーツ開放、初心者教室等行政の応援を得ながら多様化するスポーツのニーズにどのように対応すべきか全会員一丸となって対策を考慮しております。

年間行事予定

- 大田区民春季スポーツ大会ミニテニス競技大会 5月
- 大田区民秋季スポーツ大会ミニテニス競技大会 11月
- 東京都民スポレクふれあい大会
- 都道府県対抗団体戦
- 全国ミニテニス交流大会(各都道府県持ち回り)
- 立川オープンミニテニスレディス大会
- 東京都各区市部ミニテニス交流大会 随時



大田区嶺町体育会

団体概要

設立 昭和23年4月

体協加盟 昭和23年4月

会長 森田 光一

理事長 森田 光一

事務局 〒146-0091

大田区鵜の木2-34-10

森田 光一

TEL 03-3757-0489

登録会員数 一般の部 26名

H P : <http://genki365.net/gnko05/mypage/index.php?gid=G0000600>

10年間のあゆみ

嶺町=鵜の木地区において、地域イベント、青少年対イベント、学校イベントなどをサポートすることが、これまでの主な活動でした。

平成25年8月、国土交通省の水辺の楽校プロジェクトに「うのき水辺の楽校」を登録しました。嶺町体育会は、この団体の母体として活動し運営協議会の中心となっております。多摩川流域では19番目、大田区では第1号の登録となりました。

うのき水辺の楽校は、大田区鵜の木地区の多摩川沿岸で活動している団体・町会・大田区の関係機関・国交省などの河川管理管理者が連携し、子供たちの自然体験や交流を通して、多摩川における良好な水辺環境づくりや自主的・主体的な環境教育を目的として自然科学学習とボートやカヌーなどのスポーツ体験学習の活動を行っております。

10年間の主な記録

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 平成25年8月 | 「うのき水辺の楽校」を国土交通省の水辺の楽校プロジェクトに登録 |
| 平成27年9月 | オリンピックを招いてのボート体験教室を開催。 |
| 平成25年11月 | オリンピックを招いてのカヌー教室を開催。 |
| 平成28年 | 多摩川に親水護岸階段を設置 |
| 平成28年度 | 大田区スタートアップ育成事業認定 |
| 平成29年度 | 大田区ステップアップ事業助成認定 |

多摩川での活動

夏場（5月～9月）は、多摩川に入っの「ガサガサ体験」嶺町小学校前で、干潮時にライフジャケットを着て、川に入ります。新たに整備された階段護岸で、川に入りやすくなりました。箱眼鏡で水中の様子を観察。川岸の草や川底の石などに隠れている魚・カニ・エビ・水生昆虫などを、タモ網を使って「ガサガサ」し、採集すること。採れた生物の種類の見分け方や、どのような生活（餌、活動場所）をしているかを学びます。

冬場は、多摩川に来る野鳥を観察します。日本野鳥の会から講師を招いて小さいお子様から年配の方まで幅広い層に好評を博しております。

そして、他の水辺の楽校にはあまりない「スポーツの場」をうのき水辺の楽校は目指しております。

幸いこの地域では、「多摩川でボートを楽しむ会」や「日本体育大学カヌー部」が日々練習を行っているところでありますから、子供たちをはじめ、地域の方々に体験会を行っております。



今後の展望

嶺町体育会は、当初の活動とは大きく方向は変わったかもしれませんが、地域に根付いた活動を行い、子供を中心としてお年寄りまで多くの方が自然豊かな多摩川をより安全に楽しく活動することにより、自然環境を大切にし、心と体をより豊かにしていく活動拠点となることを目指しております。

これからも、大田区の力をお借りして国土交通省と地域とのパイプ役となるよう努めます。

そして何よりも事故のない活動を行うことで、地域の防災（水害）にお役にたきたいと考えます。

年間行事予定表

オーちゃんネットに登録しておりますので、ご利用ください。

大田区民踊連盟

団体概要

設立 昭和33年4月
体協加盟 昭和38年9月
会長 金光 喜恵子
理事長 横堀 麻佐己
事務局 〒144-0056
大田区西六郷4-30-7-5B
横堀 麻佐己
TEL 080-5012-7310
登録団体数 30団体
登録会員数 680人

10年間のあゆみ

平成20年3月 大田区体育館閉館
セレモニー参加
平成22年8月 王貞治さんの世界の野球少年との国際交流、平和島ユースセンターにて参加
8月 羽田空港納涼祭参加
9月 羽田空港国際化記念イベント「羽田GLOBAL EXPO」参加
平成23年8月 平和都市宣言記念事業(平和の祭典)民踊参加
平成25年4月 民謡歌手及川清三50周年記念大会オープニングショー100名参加
平成26年10月17日～10月21日
大田倶楽部主催国際文化交流inハワイ2014参加

平成29年2月 おおた和の祭典(TAIKOの祭典)
大田区民ホールアプリコにて参加
4月 蒲田西口商店街(サンライズ蒲田)
パレード参加

今後の展望

昭和33年の結成大会以来、民踊の普及とリクリエーション活動に努力してまいりましたが、おかげさまで昨年の秋には60周年を迎えました。一年を通して春と秋の大会又、夏には地域の盆踊り又、各地区の老人会の指導等、各会互いに指導力を発揮し活躍しております。

これからも会員一同努力して、民踊普及と親睦を深める様努めたいと思います。

年間行事予定表

4月 大田区民踊連盟春季民踊大会
5月 大田区民踊連盟総会
7月 大田区民踊連盟民踊講習会
8月 大田区民踊連盟民踊講習会
9月 区民スポーツ大会総合開会式公開演技
10月 区民スポーツまつり民踊指導
国際都市おおたフェスティバルin「空の日」参加
11月 O T Aふれあいフェスタ(水のエリア)参加
大田区民踊連盟秋季大会
12月 役員反省会
1月 会員新年懇親会
2月 会員親睦旅行



大田区ライフル射撃協会

団体概要

設 立 昭和41年 5月
 体協加盟 昭和41年 6月
 会 長 松原 茂登樹
 理 事 長 原 治
 事 務 局 〒144-0034
 大田区西糞谷 1-24-9
 大橋 廣丈
 TEL 03-3741-3400
 登録会員数 男子 30名
 女子 1名

10年間のあゆみ

ライフル射撃競技は、身体を動かして行うスポーツと違って、メンタルな部分が大きく左右する競技であります。

集中力を必要とするスポーツ競技の中でも、1回1回の息遣いと心臓の鼓動が1点に影響するほど繊細なスポーツであります。本来であれば、緻密な日本人気質には向いているスポーツであると思いますが、銃器を簡単に所持できない日本国の事情や、さらに銃による事件や事故があると銃の所持に関する規制が厳しくなってきました。

最近の10年間では、銃の所持者に3年に一度技能講習という実地試験が行われるようになりました。試験に合格しなければ、銃所持の更新ができなくなる制度です。このように持続して所持し続けることにも規制が多くなってきました。

また、学連の優秀な選手や若年層の新規加入が難しく会員の年齢層が高くなってきており、都民大会団体戦の選手確保も困難な状況です。

このように、少数で活動しているライフル射撃協会ではありますが、大田区の成績向上に貢献できるようがんばりたいと思います。

10年間の主な記録

平成20年	都民体育大会団体戦	5位
平成21年	都民体育大会団体戦	4位
平成22年	都民体育大会団体戦	4位
平成26年	都民体育大会団体戦	4位

今後の展望

来る2020年には、東京オリンピックが開催されますが、昨今わが国ではパラリンピックでもメダルを獲得できる競技が多くなってきました。ライフル射撃においても、メダルを狙える優秀な選手がいます。

銃刀法で許可された者しかできないライフル射撃ですが、許可なく年齢を問わず小さいお子様でも気軽に銃にふれることができるのがビームライフル銃（光線銃）です。銃口からは光線が出るだけなのでゲーム感覚で安全に射撃体験をできる上に実際のライフル銃と同様の扱いと指導をしています。将来有望な選手発掘において、大いに役立つことと思います。

大田区ライフル射撃協会では、大田区区民スポーツまつりにおきまして、例年ビームライフル銃をレンタルし、体験射撃会をおこなっています。

他県や他区のライフル射撃協会では、ビームライフル射撃を奨励し、エアライフル射撃場にビーム射撃場を設置している所が増えてきました。やはり射撃場を所持している自治体は、会員数も増加しています。

私ども、大田区ライフル射撃協会も区内施設を持つことを永年の念願としてきましたが、ビームライフルの普及により射撃人口が増えていくことを期待しているところであります。今後ともご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

年間行事予定

4月 大田区春季区民スポーツ大会
 5月 都民体育大会団体戦
 9月 大田区秋季区民スポーツ大会
 10月 大田区区民スポーツまつり
 ～ビームライフル体験射撃会～
 11月 大田区ライフル射撃協会会長杯大会
 随時 記録会の開催（年5回）



大田区ラジオ体操連盟

団体概要

設立 昭和27年7月
 体協加盟 昭和53年4月
 会長 宮島 紀典
 理事長 野中 三男
 事務局 〒144-0031
 大田区東蒲田2-1-5
 宮島 紀典
 TEL 03-3738-8056
 登録団体数 51団体
 登録会員数 男子 6500名
 女子 6500名

10年間のあゆみ

平成20年、現在のラジオ体操は、放送開始80周年を迎えた。

昭和3年、天皇の即位を記念して始まったラジオ体操は、郵政省簡易保険局が制定したもので、その後、郵政公社の管轄となり、平成19年には民営化された為、現在は、かんぽ生命が引継ぎ、現在に至っている。

平成20年7月20日、夏期巡回ラジオ体操のみんなの体操会のスタートは、大田区平和の森公園から発信され、放送80周年を記念して、初めてテレビ放映され、又、ラジオ体操の唄は地元小学校の生徒さんの合唱で進められた。

平成21年11月23日、第1回のみんなの体操フェスティバルが行われ、大田区からも1チーム（5名）が参加しました。これは平成11年に制定された「みんなの体操」を普及させる一環として、1チーム5名（小学生2～3名を含む）として15チームで披露し、みんなの体操賞・チームワーク賞・テクニック賞・奨励賞を、それぞれ授与するものである。

以降、毎年実施し昨年は第8回目となりました。平成25年7月21日、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操大田区大会が、都立つばさ高校で開催された。当日は1600人程の参加者で盛会裡の内に終了。その後、今年度の受賞式も担当し、府県等賞・地方表彰等も行われ大田区でも1名の受賞者を生み出した。

今後の展望

ラジオ体操も、平成30年には90周年を迎える。1年365日、毎朝6時30分、NHKの電波に乗って、今や全世界に発信し「いつでも どこでも だれでも」気軽にすぐれた健康法として、又、人と人とのつながりにも、大いに貢献している。

2020年、東京オリンピックもあと3年、日本の文化とも言われているラジオ体操を、何らかの形で、参加したいと思っている。

ラジオ体操を活用した、大会への気運醸成の為、平成29年7月24日、東京都庁に於いてキックオフイベントを実施。

中高年者の運動不足解消の一環として、これを継続実践することにより健康のみならず、地域の明るい連帯の核になれると思う。

今後、益々、実践者が増える事を願っている。

年間行事予定

- 4月・監査会及び常任理事会
 - ・東京都ラジオ体操連盟主催、ラジオ体操指導者講習会（年10回）
- 5月・都民体育大会開会式に参加
 - ・定期総会
- 6月・ラジオ体操指導者特別研修会1回
- 7月・ラジオ体操指導者養成講習会3回
 - ・区内、夏期ラジオ体操会場へ指導者派遣
 - ・1千万人ラジオ体操
 - ・みんなの体操祭 中央大会に参加
- 8月・夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会に参加
- 9月・大田区秋季スポーツ大会開会式に参加
- 10月・区民スポーツまつりオープニングセレモニーに参加
- 3月・上野公園体操広場記念体操会へ参加



大田区陸上競技協会

団体概要

設立 昭和22年12月5日
 体協加盟 昭和23年3月
 会長 松原 忠義
 理事長 平塚 宜信
 事務局 〒144-0051
 大田区西蒲田3-19-6
 平塚 宜信方
 TEL 03-3755-4345

登録団体数 70団体
 登録会員数 700名

10年間のあゆみ

体育協会の歩みとともに当協会も70年になりました。

多くの先輩指導者の導きにより、当協会もここまで順調に経過してまいりました。

昨今のマラソンブームも相俟って陸上競技者人口の増加が顕著となっております。

さらに、2013年の東京国体に臨むにあたり、競技力向上を図りジュニア競技者の発掘、普及も順調に進めることができ、大田区では、区内に限らず他区競技者との交流も含め、切磋琢磨する大会が、東京都体育協会・区体育協会の支援により10年続けられてきました。その結果、東京国体にも代表選手を派遣することができるまでに至っています。その結果、東京国体は、男女総合、女子総合優勝を達成しました。2014年長崎国体で、2年連続完全優勝を飾り、2015年和歌山国体も男女総合準優勝、女子3位と常に上位を占め、他府県からも羨望の的となっております。少なからず貢献したものと思います

また、区民スポーツ大会でも、数々の好記録が生まれています。公益財団法人東京陸上競技協会での普及強化活動を推進しており、当協会も底辺の底上げに一致して協力体制を敷いているところであります。

陸上競技大会における公認審判員についても当協会が擁する数は年々増加を極め、100名を超える体制で編成ができるに至りました。もちろん、東京陸協の主催大会でも重要なポストで活躍しており、注目される場所となっております。今後も期待される場所です。



左：2016ジュニア記録会 右：69回秋季大会

東京都民体育大会結果 63回～70回まで

男子 2位：3回 3位：1回 入賞：4回
 女子 1位：1回 2位：1回 3位：1回
 入賞：5回

10年間の主な大会記録（春・秋併せて）

男子

100m 10"90 松島 直（一橋大）'15
 400m 51"62 松本 雄二郎（STAC）'13
 1500m 4'00"19 小野 智弘（大田区陸協）'14
 5000m 14'52"50 小野 智弘（大田区陸協）'14
 砲丸投 14m00 '08 柳澤 宏（WAVE）'08
 中学100m 11秒61 大崎 峻矢（南六郷中）'16
 中学200m 23"89 佐藤 大樹（南六郷中）'14
 中学走幅跳 6m37 井関 慶人（荏原一中）'11
 中学砲丸投 13m07 安藤 夢（東調布中）'11

女子

200m 25"61 深澤 みなみ（国学院高）'15
 1500m 4'36"30 須藤 直美（東京高）'09
 4×100m 49"65 東京高校 '09
 走高跳 1m73 （大森高教員）今城 瞳 '12
 やり投げ 43m07 佐藤 志保（東京高）'09

今後の展望

2020年には東京でオリンピック、パラリンピックが開催されます。開催まで3年ですが、競技者育成・普及強化及び審判派遣に注力し、各関係団体とも連携しなければなりません。

もちろん、そのために当協会の運営も強固な地盤づくりを、今後も続けていきたいと思っております。

年間行事予定表

4月 区民スポーツ春季陸上競技大会
 6月 都民体育大会陸上競技大会派遣
 8月 ジュニア陸上競技記録会
 9月 区民スポーツ秋季陸上競技選手権大会
 9月 都民生涯スポーツ陸上競技大会派遣
 12月 ロードレース大会
 12月 奥多摩溪谷駅伝大会派遣
 1月 周回駅伝大会
 3月 都民体育大会駅伝大会派遣

大田区ワンダーフォーゲル協会

団体概要

設立 昭和32年 3月
 体協加盟 昭和32年 4月
 会長 加藤 昌晴
 理事長 小山 英之
 事務局 〒145-0062
 大田区北千束 3-35-6
 加藤 昌晴
 TEL 03-3720-2854
 登録会員数 一般の部 160名

10年間のあゆみと主な記録

ワンダーフォーゲル運動は、大自然の中での簡素な旅によって、各地の風俗・文化・歴史への知識を深め、ワンデリングを通じての仲間たちとの友好の輪をひろげ、その生活の中から自由と規律の精神を学ぼうとするものです。

当会は発足の昭和32年から今年で60周年となります。競技成績を競うことのない活動は、野外活動という自然を跋涉する中から自己の健康と教養を身に

つけることを目的とした種目です。したがってその成果は、山行を含め計画の実行と会員の参加意欲が会の隆昌につながります。

下記の表は過去10年間の主な会の動態を記したものです。数の上では多少の隆替はあっても内容が年々充実しつつあることの方が重要と思います。

生涯学習の一環として野外活動の成果は、未知の世界に対する探究心の高揚へとつながり、一回当たり平均の行事参加者数の増加が物語っています。

今後の展望

高齢者世代が増加すると同時に会員の年齢別構成は70代が6割、その前後60代、80代が2割ずつとなりました。医療の進歩と共に元気な高齢者が増えましたが事故防止のためにも、十分な準備と余裕のある計画は勿論ですが、各人が目的意識をもって日頃から体力トレーニングを心掛けることも、忘れてはならないと思います。

年間行事予定表

創立60周年記念山行
 春・秋の区民ハイキング大会
 区民オリエンテーリング大会
 その他年間50～60回以上のワンデリング

	H 2 0 年	H 2 1 年	H 2 2 年	H 2 3 年	H 2 4 年	H 2 5 年	H 2 6 年	H 2 7 年	H 2 8 年
計画数	64	63	65	60	60	64	64	53	48
実施数	57	60	64	54	57	54	57	48	43
中止数	7	3	1	6	3	10	7	5	5
参加者数(人)	1,909	1,916	1,940	1,558	1,459	1,411	1,430	1,224	1,196
一回当たり平均(人)	33.5	31.9	30.3	28.8	25.6	26.1	25.1	25.5	27.8
登録会員数(人)	225	219	198	188	176	182	180	168	160
男性	104	101	94	86	85	84	86	79	78
女性	121	118	104	102	91	98	94	89	82
平均年齢(歳)	66.91	67.84	68.76	69.28	69.87	70.8	71.27	71.31	73.19
男性	68.59	69.46	70.16	70.67	70.62	72.62	73.05	72.31	73.94
女性	65.47	66.46	67.49	68.1	69.16	69.16	69.65	70.54	72.48

平成 28 年度登録会員数 160 人

内訳	大田区内在住者	142人(89%)
	大田区外在住者	18人(11%)

平成 28 年度登録会員の年齢別構成

	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	0	0	3	19	35	20	1	78
女性	0	0	3	19	55	5	0	82
計	0	0	6	38	90	25	1	160

表 彰

文 部 科 学 大 臣 表 彰

東 京 都 等 表 彰

大田区体育協会表彰【体 育 功 劳 者】

大田区体育協会表彰【体 育 優 良 団 体】

大田区体育協会表彰【永年勤続功労者】

大田区体育協会表彰【スポーツ功労者】

文部科学大臣表彰年度別一覧表

【個人表彰】	平成20年度	渡邊 和彦 伴 知子	【団体表彰】	平成20年度	柔 道 会
	平成24年度	高木 雄司		平成27年度	陸上競技協会
	平成26年度	加藤 昌晴			

東京都等表彰年度別一覧表

【個人表彰】		東京都知事表彰	東京都教育委員会表彰	東京都体育協会表彰
	平成19年度		摩壽意 眞郎	堀江 壽々枝
	平成20年度		尾崎 响	宮島 紀典
	平成21年度	高木 雄司	青山 吉延	中村 貞夫
	平成22年度	加藤 昌晴	奈良 繁夫	松本 やよひ
	平成23年度		稲岡 弘子	関口 あい子
	平成24年度	時任 宥幸	武藤 健男	植田 泰嗣 岡田 誠 北嶋 守
	平成25年度			高井 貞太郎
	平成26年度		宮島 紀典	久保 秀夫
	平成27年度		中村 貞夫	木村 憲弘
	平成28年度		松本 やよひ	矢野 光子
	平成29年度		岡田 誠	小林 正明

【団体表彰】		東京都知事表彰	東京都教育委員会表彰	東京都体育協会表彰
	平成19年度		ウエイトリフティング協会	トライアスロン連合
	平成20年度		ライフル射撃協会	インディアカ連盟
	平成21年度		馬 術 連 盟	少林寺拳法連盟
	平成22年度			卓 球 連 盟
	平成23年度	陸上競技協会	相 撲 連 盟	バレーボール協会
	平成24年度			剣 道 連 盟 馬 術 連 盟
	平成25年度		ス キ ー 連 盟	水 泳 協 会
	平成26年度		サイクリング連盟	ラジオ体操会連盟
	平成27年度	水 泳 協 会	ボクシング連盟	バ ト ン 協 会
	平成28年度	弓 道 連 盟		アマチュアレスリング協会
	平成29年度		フォークダンス協会	ワンダーフォーゲル協会

大田区体育協会表彰【体育功労者】年度別表彰一覧表

受賞年度	氏 名	所属団体名
平成20年度	前原 良啓 高井 貞太郎 鈴木 孝男 蛭川 和子 鈴木 利子 塩原 透	インディアカ連盟
	松本 やよひ	エアロビック連盟
	林 一夫	剣道連盟
	斉藤 勇二 済川 和子	サイクリング連盟
	半田 敏彦	柔道会
	島根 清幸 長村 康男	スポーツ少年団本部
	村岡 保利	ソフトテニス連盟
	一瀬 廣行 中村 誠	ソフトボール連盟
	赤池 邦広 太田 浩子	卓球連盟
	川嶋 毅	軟式野球連盟
	相原 一矢	ハンドボール協会
	寺村 弘次 関口 あい子	ミニテニス連盟
	平井 叶子 大山 清次	民踊連盟
	金子 芳男	ラジオ体操会連盟
平成21年度	後藤 学 永瀬 哲 永田 雄一	合気道連盟
	永田 良治 山口 忠重	弓道連盟
	角屋 久平 西山 きみ 橋見 久夫 森竹 資陽 山崎 信明 和田 徹也	ゲートボール協会
	川島 義人	ゴルフ連盟
	南 弘一 花澤 光太郎	サイクリング連盟
	田中 たか子	ソフトテニス連盟
	赤松 節子 植田 泰嗣 熊谷 善徳	ダンススポーツ連盟
	高橋 清子 東本 恵美子 松本 友子	フォークダンス協会
加藤 幸男	ラジオ体操会連盟	
平成22年度	稲川 徹 吉田 弘	弓道連盟
	河上 克夫 渡辺 良男	サイクリング連盟
	杉原 栄一	柔道会
	榎本 慎司	スポーツ少年団本部
	石坂 欣也	ソフトテニス連盟
	大谷 義通 大橋 正剛 鈴木 英明 橋本 邦治 村石 忠司	ソフトボール連盟
	白井 涼子 半沢 信宏 松本 晶子	卓球連盟
	渡部 総平	釣魚会連盟
	今野 忠男 立野 袈裟男 手塚 哲	軟式野球連盟
	平野 和則	バスケットボール連盟
	長洲 弘文	バドミントン協会
	中村 政彦	バレーボール協会
	内田 正行	ハンドボール協会
	醍醐 末子	フォークダンス協会
	尾川 好子 菊地 やす子 谷澤 節子 森山 とよ子	民踊連盟
	土方 保子	ラジオ体操会連盟
大窪 光子 谷 多喜子	ワンダーフォーゲル協会	

受賞年度	氏 名	所属団体名
平成23年度	石橋 裕之	ウエイトリフティング協会
	大森 恵美子	エアロビック連盟
	中村 槐二	剣道連盟
	西谷 昌信	硬式野球連盟
	田中 鉄夫 南館 光次	サイクリング連盟
	尾崎 高	柔道会
	工藤 諭	スキー連盟
	丹崎 健一	ソフトテニス連盟
	小林 睦雄 藤田 隆	ソフトボール連盟
	田島 繁子	卓球連盟
	肥後 照一	トライアスロン連合
	大日向 義和 土田 義雄 戸石 彰	軟式野球連盟
	植木 依久子 太田 美枝子	フォークダンス協会
	湯田 友一	ミニテニス連盟
	多辺田 トモ子 俵 久子 南須原 悦子 渡辺 千代	民踊連盟
	佐藤 静男	ラジオ体操会連盟
大野 雄二	陸上競技協会	
平成24年度	保井 俊一郎	ウエイトリフティング協会
	堅山 龍一	空手道連盟
	竹村 博夫	弓道連盟
	古岡 伸	ゴルフ連盟
	渋谷 金次	スポーツ少年団本部
	中村 光雄	ソフトテニス連盟
	安田 勝明	卓球連盟
	手塚 隆	軟式野球連盟
	鈴木 雅則 西ヶ谷 さやか	バレーボール協会
	飯田 良一 小野 久夫 北奥 英雄 鶴岡 徳幸	ライフル射撃協会
	藤谷 敏秋	
	金子 正恵	ラジオ体操会連盟
	和田 香 浜多 明	ワンダーフォーゲル協会
平成25年度	蜷川 和子	インディアカ連盟
	小松 紀子 小田 勝洋	スポーツ少年団本部
	高階 和子 中澤 とく子	テニス連盟
	井上 雪江	なぎなた連盟
	波田野 治之 榎本 慎司 小余塚 章義	軟式野球連盟
	藤沢 友子	ボクシング連盟
	大内 洋子 倉方 敏秋	ミニテニス連盟
	上野 久代	民踊連盟
平井 文男	ラジオ体操会連盟	

※団体名は、受賞時の名称。

「ラジオ体操会連盟」は、平成28年5月「ラジオ体操連盟」に名称変更。

受賞年度	氏 名	所属団体名
平成26年度	佐藤 元子 高橋 雄彦 乳井 廣美	居合斬道連盟
	佐藤 孝雄	インディアカ連盟
	湊 雄士 濱田 泰洋	空手道連盟
	小測 徹	ゴルフ連盟
	内田 健一 本多 諭	柔道会
	小松 義典 本田 雄	相撲連盟
	石井 正行	卓球連盟
	山崎 邦雄 安田 ひろみ	ミニテニス連盟
	横堀 麻佐己 佐々木 エツ子	民踊連盟
	原 節代	ラジオ体操会連盟
平成27年度	田村 弥生	エアロビック連盟
	田島 いづみ	弓道連盟
	草刈 春美 渡辺 耕治	サッカー協会
	玉川 恵一 小久保 光夫 浜田 恵美子 高橋 裕里子	スポーツ少年団本部
	坂井 信春	釣魚会連盟
	酒井 栄子 田村 静子	民踊連盟
	鈴木 ツネ子	ラジオ体操会連盟
	森 相子 山根 洋二 加藤 公子 中屋 錦江 天野 朝子	障がい者スポーツ指導者研究会
平成28年度	高木 雄司	ボクシング連盟
	湯谷 治	居合斬道連盟
	南 淳	少林寺拳法連盟
	橋本 宜子	スポーツ少年団本部
	小林 守正	ソフトテニス連盟
	宇田 和久 小山内 祥 新谷 洋一 刈屋 千江子 大霜 康法	卓球連盟
	河西 昭夫 高山 徳治	ダンススポーツ連盟
	森 豊 落合 佐紀子 秋本 朗	馬術連盟
	田中 由美子	ラジオ体操連盟
	小林 範明 高田 幸一 斉藤 忠義 佐藤 正和 山本 英三	ワンダーフォーゲル協会
	渡辺 尚美 鈴木 光枝 中島 勝 長谷川 剛	障がい者スポーツ指導者研究会
平成29年度	岸川 成美	弓道連盟
	川辺 基誉 長島 守明 武島 信幸	硬式野球連盟
	斎藤 峰暁	柔道会
	山浦 正博 塩田 照子 長谷川 朋子 野口 和弘 安藤 かつ	障がい者スポーツ指導者研究会
	南 卓	少林寺拳法連盟
	渡辺 和生	ソフトテニス連盟
	関口 貴光	相撲連盟
	国吉 祐介	バスケットボール連盟
	半田 幸雄	ラジオ体操連盟

大田区体育協会表彰【体育優良団体】年度別表彰一覧表

受賞年度	団 体 名
平成20年度	大田区ゲートボール協会 大田区バレーボール協会 大田区サッカー協会
平成21年度	大田区スキー連盟 大田区テニス連盟
平成22年度	大田区硬式野球連盟
平成23年度	大田区居合斬道連盟 大田区釣魚会連盟
平成24年度	大田区弓道連盟 大田区アーチェリー協会 大田区空手道連盟
平成25年度	大田区サイクリング連盟 大田区なぎなた連盟
平成26年度	大田区アマチュアレスリング協会 大田区バトン協会
平成27年度	大田区合気道連盟
平成28年度	(該当団体なし)
平成29年度	大田区ソフトボール連盟 大田区ダンススポーツ連盟 大田区武術太極拳連盟 NPO法人 大田区障がい者スポーツ指導者研究会

大田区体育協会表彰【永年勤続功労者】年度別表彰一覧表

受賞年度	氏名
平成20年度	岡田 誠 神原 泰久 平林 元康 細谷 宏 山口 高司 和田 徹也
平成21年度	戸嶋 福三郎 福本 武子
平成22年度	伊東 義高 内田 正行 大圖 満 佐藤 龍男 渋谷 綾子 関口 あい子 高井 貞太郎
平成23年度	山本 直子 済川 和子
平成24年度	井上 雪江 今浦 量平 大内 邦彦 川島 義人 河津 章夫 迫口 ひで子 高野 広行 平塚 宜信 和田 芳明
平成25年度	(該当者なし)
平成26年度	里見 徹 川田 守 高階 和子 松山 茂 野中 三男 室中 道雄
平成27年度	(該当者なし)
平成28年度	板倉 幹夫
平成29年度	(該当者なし)

大田区体育協会表彰【スポーツ功労者】年度別表彰一覧表

受賞年度	氏名
平成20年度	(該当者なし)
平成21年度	澤 晴美 久保田 秀敏 矢澤 英雄
平成22年度	久保田 秀敏
平成23年度	久保田 秀敏 落合 やよい
平成24年度	(該当者なし)
平成25年度	久保田 秀敏 保井 俊一郎
平成26年度	(該当者なし)
平成27年度	(該当者なし)
平成28年度	(該当者なし)
平成29年度	(該当者なし)

体育協会創立70周年記念

式 次 第

表 彰 者 名 簿

体育協会特別功労賞（個人）

体育協会特別功労賞（団体）

永年勤続特別功労者（個人）

スポーツ特別功労賞（団体）

実 行 委 員 会

体育協会創立70周年記念式次第

第1部	式典	
	開会	
	挨拶	実行委員長（理事長）
	来賓紹介	
	表彰	体育協会特別功労賞（個人）
		体育協会特別功労賞（団体）
		永年勤続特別功労者（個人）
		スポーツ特別功労賞（団体）
	来賓祝辞	大田区長
		大田区議会議長
		（公財）東京都体育協会理事長
		大田区教育長
	受賞者代表挨拶	
閉会		
第2部	祝賀・新年会	
	開会	
	挨拶	実行委員長（理事長）
	来賓祝辞	大田区長
		大田区議会議長
		（公財）東京都体育協会理事長
		大田区教育長
	来賓紹介	
	鏡開き	実行委員長（理事長）
		大田区長（名誉会長）
		大田区議会議長
		（公財）東京都体育協会理事長
		大田区教育長
		名誉顧問
	乾杯	名誉顧問
懇談		
万歳三唱		
閉会	副実行委員長	

体育協会特別功労賞

本協会の事業遂行にあたり、長年にわたり財政的援助等を行うなど支援・協力を続けている個人又は団体に対して感謝の意を表す。

個人

(五十音順)

荒 秀子	江口初枝	河西昭夫	金光喜恵子	日下部 弘
熊谷善徳	倉澤隆司	小西笑子	高橋弘樹	高山徳治
谷澤節子	田村 亘	俵 久子	南須原悦子	新倉浩子
平井叶子	堀口健男	室中道雄	横堀麻佐己	横山富子
渡辺秋江				

団体

(五十音順)

有限会社 稲岡商事	有限会社 ウメザワ商事	大田区商店街連合会
大田建設協会	一般社団法人 大森医師会	一般社団法人 蒲田医師会
京急開発株式会社 平和島競艇運営協議会	一般社団法人 田園調布医師会	東京ガス株式会社 中央支店
東京商工会議所 大田支部	公益社団法人 東京都柔道整復師会 大田支部	

永年勤続特別功労者

本協会の加盟団体に属し、本協会の役員等で、永年にわたりスポーツの振興に尽力し、功績顕著な者で引き続き10年以上の活動歴を有し、現在も活動中の者

(五十音順)

石坂欣也	井上雪江	今浦量平	宇野二郎	榎畑広義
尾崎 响	木村 熹弘	久保秀夫	熊谷善徳	小林正明
小山英之	佐藤孝雄	佐藤元子	里見 徹	高井貞太郎
中村貞夫	奈良繁夫	福永憲和	古田健一	摩壽意 眞郎
松澤卓男	松本やよひ	松山 茂	南 卓	宮島紀典
室中道雄	森田光一	矢野光子	吉田幹夫	

スポーツ特別功労賞

本協会の加盟団体で、10年間の都民体育大会における入賞得点を加算し、上位8位までの団体並びに男子のみ、女子のみ及び混合の競技は上位3位までの団体で、本協会の活動、発展に顕著な功績があったと認められる団体

(五十音順)

大田区弓道連盟	大田区クレール射撃連盟	大田区サッカー協会
大田区少林寺拳法連盟	大田区スキー連盟	大田区ソフトボール連盟
大田区ダンススポーツ連盟	大田区テニス連盟	大田区バスケットボール連盟
大田区バレーボール協会	大田区ボウリング連盟	大田区陸上競技協会

創立70周年記念事業実行委員会

委員長	野川春夫			
副委員長	池亀富士雄	小山英之	波田野治之	
総務小委員会	木村憲弘	矢野光子	今橋はる美	佐藤孝雄
事業小委員会	小林正明	古田健一	安田勝明	浅沼康子
	佐藤元子	山根洋二	郷右近浩成	
記念誌小委員会	福永憲和	中村光雄	川戸慎一	井上雪江
	北奥英雄	北村信子	小林豊	松澤卓男

編集後記

70周年記念誌は、60周年記念誌をベースにして、編集することに第1回小委員会で決定しました。その後、加盟団体の掲載記事や、スケジュール、レイアウトなど編集に関わる内容について、5回の小委員会を開催しました。なかでも「この10年間のあゆみ」の事業紹介については、どのように掲載するか苦労しました。

体育協会のこの10年のあゆみは、諸先輩が築いてきました60年の礎に支えられ、更に重ねてきたものであることが、編集をしていく過程で思い知らされました。

今後もスポーツ、レクリエーションに親しむ心、愛着をもつ心とともに関係者の方々のご理解とご協力の中で、公益財団法人 大田区体育協会のより一層の発展を祈念するものです。

創立70周年記念誌

平成30年1月23日発行

発行者 公益財団法人 大田区体育協会
〒143-0016 大田区大森北4-16-5
子ども家庭支援センター大森内
電話 03-5471-8787 FAX 03-5471-8789

編集者 公益財団法人 大田区体育協会
創立70周年記念事業実行委員会
記念誌小委員会

印刷所 有限会社 デジタル工房
〒143-0016 大田区大森北2-3-15
電話 03-3763-4700 FAX 03-3763-4711



公益財団法人 大田区体育協会